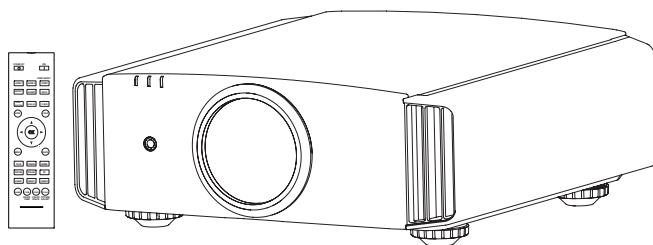


JVC

取扱説明書

D-ILA
ホームシアタープロジェクター

型名 **DLA-X90R**
DLA-X70R
DLA-X30



D-ILA®

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

THX®**3D**
D I S P L A Y

90 70

お買い上げありがとうございます

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(4~8ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
D-ILA®は株式会社JVCケンウッドの登録商標です。



ユーザー登録
のすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクター製品の情報や
イベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにも
ご協力をお願いいたします。

● 下記のホームページアドレスより、ご登録ください。
www3.jvckenwood.com/reg

はじめに

準備

操作

お手入れ

その他

もくじ

はじめに

もくじ	2
付属品・別売品	3
付属品を確認しましょう	3
別売品	3
安全上のご注意	4
THX認定 90 70	9
各部の名前とはたらき	11
本体-前面	11
本体-底面	11
本体-背面	12
本体-インジケーター表示について	13
本体-警告表示と確認・対応	14
本体-入力端子	15
リモコンへの電池の入れ方	17

準備

設置について	18
設置するときの注意	18
プロジェクターとスクリーンを設置する	19
設置角度	19
シフト	19
プロジェクターの固定	20
画面サイズと投写距離	21
リモコンの操作範囲	21
接続について	22
入力可能な信号の種類(PC対応)	23
機器との接続	24
電源コード(付属)の接続	30

操作

基本操作	31
基本操作の手順	32
よく使う便利な機能の操作	34
画面サイズを設定する	34
映像の周囲をマスクする	36
映像を一時的に消す	37
台形補正を調整する	37

メニューで行う調整と設定	38
メニューの階層と構成	38
メニュー操作のボタン	46
メニュー操作の手順	47
メニュー項目の解説	48
操作手引き(用語解説)	70

お手入れ

ランプ交換のしかた	74
ランプ交換の手順	74
ランプの時間リセット	76
フィルターの掃除と交換方法	78

その他

故障かな?と思ったら(トラブルシューティング)	80
こんなメッセージが表示されたら	82
保証とアフターサービス	83
保証書と補修用性能部品について	83
修理を依頼されるときは	83
お客様の個人情報のお取り扱いについて	84
サービス窓口のご案内	85
RS-232 インターフェース	86
RS-232仕様	86
TCP/IP接続	86
コマンドフォーマット	87
RS-232 通信例	89
著作権とご注意	90
商標と著作権について	90
使用上のご注意	90
主な仕様	91
外形寸法	93
索引	94



注意

本書で使用するマークについて

- 90** はDLA-X90Rのみ対応します
- 70** はDLA-X70Rのみ対応します
- 30** はDLA-X30のみ対応します

付属品・別売品

付属品を確認しましょう

レンズカバー ③⑩	1個
リモコン	1個
単4形乾電池(動作確認用)	2個
電源コード(約2m)	1本

- そのほかに取扱説明書(本書)、保証書、その他印刷物が入っています。

別売品

詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 交換ランプ : PK-L2210U
- 3Dメガネ : PK-AG1-B, PK-AG2-B
- 3Dシンクロエミッター : PK-EM1

安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

注意 「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと



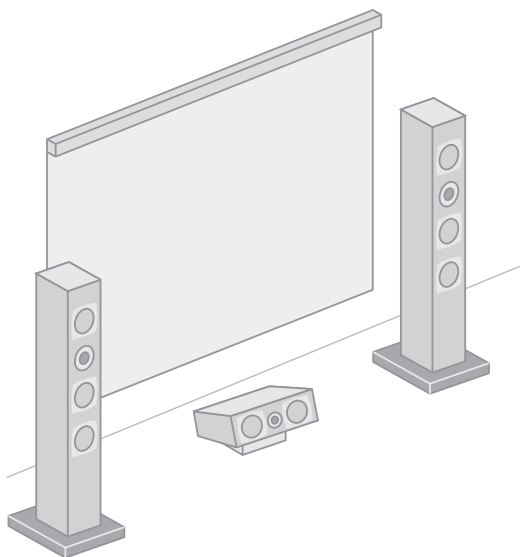
禁止されていること



実行して欲しいこと



警告 設置・使用



- 投写レンズをのぞかない**
 - 強い光が目にあたると、視力障害の原因となります。
- 途中でランプ使用時間をリセットしない**
 - 寿命を超えて使用すると、破裂して火災やけがの原因となります。
- 使用直後にランプを交換しない**
 - ランプが高温になっているため、やけどの原因となります。
1時間以上の冷却時間をおいてください。
- 通風口をふさがない**
 - じゅうたんや布団などの上やテーブルクロスなどをかけて使用すると、内部に熱がこもって、火災の原因となります。
 - ランプが冷却されず、破損して、けがの原因となります。
- 排気口にエアコンなどの風を直接あてない**
 - 内部に熱がこもって、火災の原因となります。

- 梱包に使用していたポリ袋などは、小さなお子様の手の届くところに置かない**
 - 頭からかぶると、窒息の原因となります。
- 不安定な場所や荷重に耐えられない場所に置かない**
 - ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃のある荷重に耐えられないところなどに置くと、落下、転倒などから、けがの原因となります。
 - 本機は、縦置きでの設置は不可です。

- 電源コードを傷つけない**
 - 痛んだまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 電源プラグはコードの部分を持って抜かない**
 - コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードは付属品を使用する**
 - 付属品以外のコードを使用すると、火災や感電の原因となります。
- 付属の電源コードを他の機器で使用しない**
 - 火災や感電の原因となります。

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物が入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ
- ランプが破裂した
- ファンが動かない



電源スイッチを切る 電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。



この機器の上に水の入ったものを置かない

- 禁止**
- 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



風呂場などの水のある場所で使わない

- 水場での使用禁止**
- 火災や感電の原因となります。



内部に物や可燃性のガスなどを入れない

- 禁止**
- 機器の内部に物や可燃性のガスなどが入ると、火災や感電の原因となります。



分解・改造をしない

- 分解禁止**
- 内部に高電圧の部分があり、火災や感電の原因となります。



引火・爆発のおそれがある場所で使わない

- 禁止**
- 引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。



電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む

- 一般的注意**
- ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。



電源プラグは、根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントには接続しない

- 禁止**
- 発熱して、火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ぬれ手禁止**
- 感電の原因となります。



電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

- 禁止**
- ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
半年に一度は、プラグを抜いて乾いた布で拭いてください。



電源プラグは、抜き差ししやすいコンセントに差し込む

- 一般的注意**
- 機器に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。



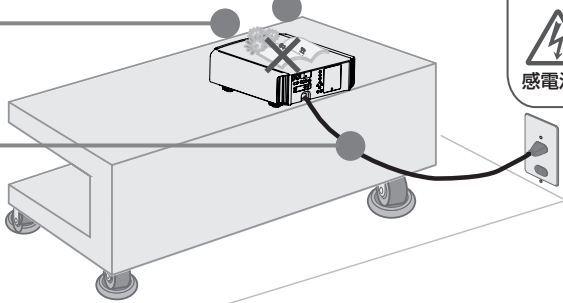
表示された電源電圧以外では使用しない

- 禁止**
- 火災や感電の原因となります。



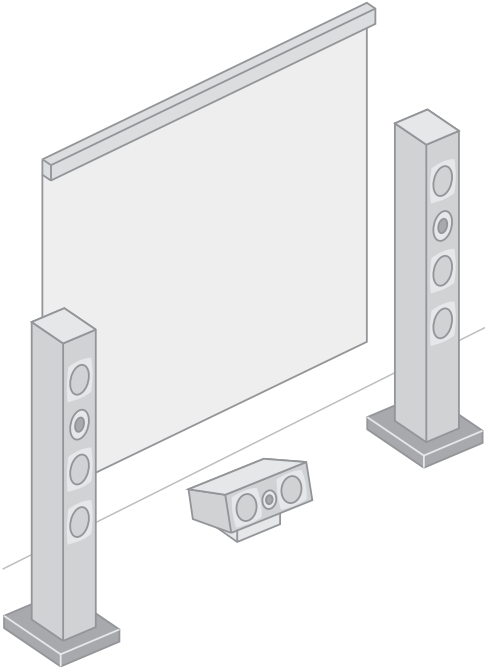
雷がなったら、電源プラグには触らない

- 感電注意**
- 感電の原因となります。



安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意 設置・使用



ランプに衝撃を加えたり、傷つけたりしない

禁止

• ランプが破裂して、けがをする原因となります。



新しいランプのガラス面に触らない

禁止

• ランプの寿命が短くなったり、ランプが破裂したりして、けがの原因となります。



湿気やほこり、湯気、油煙のあたる場所には置かない

禁止

• 油や水分、ほこりなどに電気が流れ、火災や感電の原因となります。



熱源の近くには置かない

禁止

• 機器の変形、劣化のほか、火災の原因となります。



一般的注意

キャスター付きの台に乗せるときは、キャスターを固定する

• 動いたり、倒れたりして、けがの原因となります。



一般的注意

健康のため、30~60分ごとに5~15分の休憩をとり、目を休めてください

• 特に、3D鑑賞中に疲労、不快感等、異常を感じたら、使用を中止してください。また、2重に映像が見えたら、表示機器やソフトを適切に調整してください。調整しても見えるようでしたら使用を中止してください。

3年に一度は内部点検をしてください

• 本機には、機能を維持するために交換が必要となる部品(冷却用ファンなど)が含まれています。部品交換の目安は、使用する頻度や環境によって大きく変わります。交換につきましては、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。



一般的注意



一般的注意

電源コードは、この機器につないでからコンセントにつなぐ

• 感電の原因となります。



アース線をつなぐ

アース線を接続する

• アース線を接続しないと感電の原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

• 電源が切ても機器に電気が流れています。安全、節電のために電源プラグを抜いてください。



電源プラグを抜く

ランプ交換やお手入れをするときは電源プラグを抜く

• 安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。



電源プラグを抜く

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす

• コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

**天吊りについての警告・注意**

禁止

専門の知識や技術のないかたは設置工事をしない

- 専門の知識や技術が必要です。設置工事は必ず販売店にご依頼ください。専門の知識や技術のないかたが行うと、けがや感電の原因となります。



禁止

振動する場所への天吊り設置はしない

- 振動により取付部分が破損し、落ちたりして、けがをする原因となります。



禁止

ぶらさがったり、ゆすったり、物を引っかけたりしない

- 過度の荷重がかかると、落ちたりして、けがをする原因となります。



一般的注意

本機を天井に固定するときは

- 当社以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天井に吊り下げて使用するとき、本機周辺の温度に気をつけてください。暖房を使用した場合、天井付近は予想以上に高温になります。

**電波障害についての注意**

一般的注意

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。



高温注意

高温部には触れない

- 投写中は排気口やその周辺部には触れないでください。やけどの原因となります。



禁止

この機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしない

- けがの原因や、変形して火災や感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき)



固定するときの注意



一般的注意

- 地震など、非常時の安全確保と事故防止のため、転倒・落下防止の処置をしてください。



一般的注意

- 本機を台や天井に固定するときは、底面のフット4個をはずし、それらのネジ穴(M5ネジ)4か所すべてを使用して固定してください。



一般的注意

- ネジ穴の深さ(ネジの長さ)は、23mmです。取り付け部分のネジは、長さ 23mm以下、13mm以上のネジをお使いください。指定以外のネジを使用した場合は、故障や本機の落下などの原因になります。



一般的注意

- 台に固定する場合、吸気口をふさがないように吸気口周辺に十分なスペース(フットの高さ10mm以上)を確保してください。



一般的注意

- 本機を左右±5°以上傾けてお使いになることは避けてください。



3D観賞についての警告・注意



一般的注意

「3D方式の解説」(ページ71~73)もお読みください。



一般的注意

- 投写映像サイズの高さの3倍の距離から観賞してください。



一般的注意

- 光過敏の既往症のある人や、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dメガネを使用しないでください。



一般的注意

- 3D映像を視聴中、体調不良が引き起こされることがあります。体調に変化を感じた場合はすぐに視聴を中止し、必要に応じて医師に相談ください。



一般的注意

- 3D映像を視聴中は、定期的に休憩をとることを推奨します。休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。



一般的注意

- お子様が3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様が視聴の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいので、急に体調が悪くなる場合がありますので、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。特に6歳未満のお子様は3D映像については視覚が発達段階にあるため、必要に応じて医師に相談ください。



一般的注意

- 3Dの機能を使うと機器側での画像変換によりオリジナルの映像と見え方に差が出ます。ご留意の上、お使いください。



使用上のご注意



一般的注意

素子に画像が焼き付くことがあります

- 主にビデオゲームやコンピュータープログラム画面など高輝度・高コントラスト画面を持つ静止映像などを長い時間映さないでください。通常のビデオ再生映像などの動画では問題ありません。



一般的注意

長時間使用しないと、機能に支障をきたすことがあります

- ときどき電源を入れて動作させてください。



一般的注意

たばこを吸う部屋での使用は避けてください

- 光学系部品にヤニの汚れが付くと、取り除く事はできません。性能劣化の原因となります。



乾電池の使い方に注意する



禁止

- プラス(+)とマイナス(-)のまちがいがい
- 違う種類や一度使用した電池を混ぜる
- 電極のショート
- 加熱、分解および水中もしくは火中へ入れる
- 充電する

誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけが、火災の原因となります。

長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。万一、液漏れしたら、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってください。

液が身体、衣服などに付いたときは、水でよく洗い流してください。

電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従ってください。

THX認定 90 70



THX認定

THX社は、映画館の視聴環境やホームエンターテインメントに品質基準を設けることで、映画製作者の意図した映像・音響を充実に再現できるようにという意図のもと、映画製作者のジョージ・ルーカス氏によって創立されました。

このたび当社は、25年以上にわたって培ってきた映画製作・映画館内の視聴環境設計・映像および音声の編集作業などのノウハウを、業界最高のホームシアター用プロジェクターの開発に生かすべく、株式会社JVCケンウッドと提携いたしました。

THX認定は、プロジェクターの映像クオリティと信号処理能力に焦点を置いています。JVCのプロジェクターDLA-X90R、DLA-X70Rは、このTHXモードを装備しています。大画面での映画鑑賞の際には、このTHXモードがプロジェクターの持つ能力を最大限に引き出すことでしょう。

THX社が定める『THX 3Dディスプレイ規格』(*)1を取得しました。

この規格は、2Dのみならず3D再生時においても、“映画監督の意図する映像を家庭で忠実に再現する”ことを目的に制定されており、正確な色再現性、クロストーク、視野角やビデオ処理など400以上の厳しい画質テストをクリアした「高品位、高画質の証」です。



注意

3D映像を楽しむためには、

- ・別売の「3Dメガネ」と「3Dシンクロエミッター」が必要です。
- ・「安全上のご注意」(参考ページ:8)、「操作手引き(用語解説)」の「3D方式の解説」(参考ページ:71～73)の注意事項をお読みください。

(*)1: 推奨スクリーンサイズは90型(16:9)です。フロント投写の場合のみです。

THX[®] 3D

DISPLAY

推奨用途

全てのホームシアターまたはリビングルーム

THX認定の特徴

THX映画モード:

- 正確なガンマ値と色温度
- オーバースキャン/スケーリングなし
- HD規格に則った正確な色再現

THXの性能

業界最高のパラメータ:

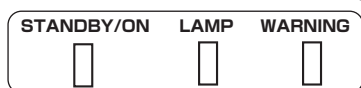
- ネイティブコントラスト
- 輝度と色合いの均一性
- グレースケールによるカラートラッキング
- 最適な明るさ
- デインターレース性能
- ジャギーと輪郭

Visit www.thx.com for further technical details.

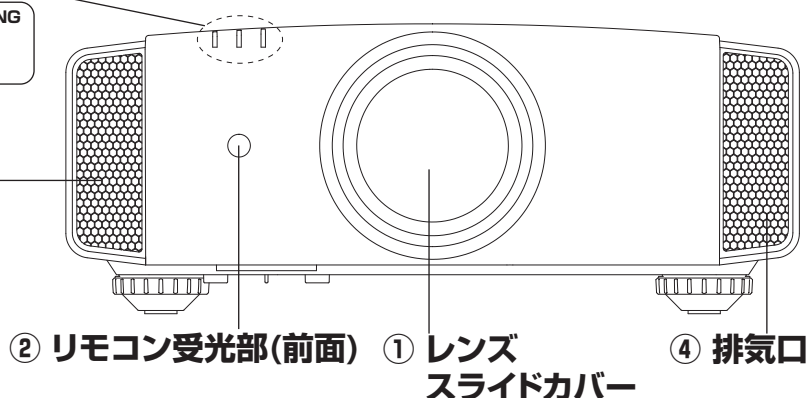
各部の名前とはたらき

本体—前面

③ インジケーター



④ 排気口



① レンズ

投写レンズです。投写中は覗き込まないで下さい。

スライドカバー

電源のオン/オフに連動して開閉します。
(参考ページ:62) **90 70**

② リモコン受光部(前面)

リモコンで操作するときは、リモコンをここに向けて操作します。
(*)受光部は背面にもあります。

③ インジケーター

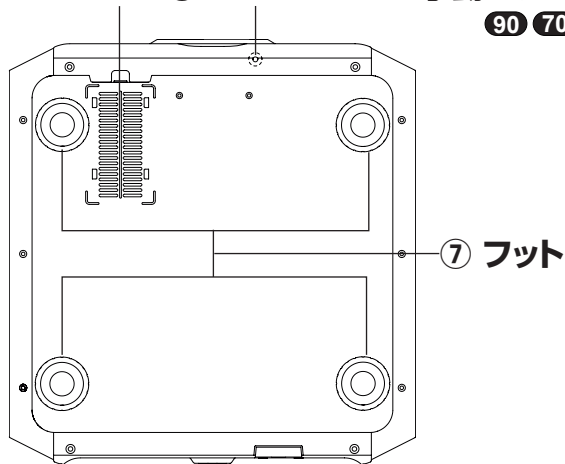
詳細は「インジケーター表示について」をご覧ください。
(参考ページ:13)

④ 排気口

セット内部を冷却する為に温風が出ています。
排気口は塞がないでください。

本体—底面

⑤ 吸気口 ⑥ スライドカバー手動ボタン **90 70**



⑤ 吸気口(底面・背面の3箇所)

内部を冷却する為の空気を取り込んでいます。
塞いだり、温風を吹き付けたりしないようにしてください。故障の原因になります。
(*)背面の左右に吸気口2箇所あります。
(参考ページ:12)

⑥ スライドカバー手動ボタン **90 70**

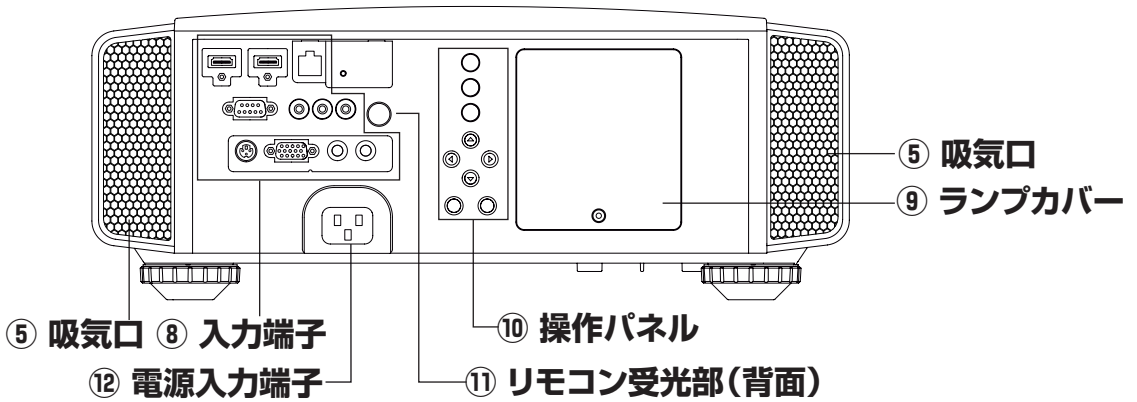
押した状態で、スライドカバーをあげる事ができます。メンテナンス用ですので普段での使用は必要ありません。

⑦ フット

回すと高さや傾斜を調整できます。
(0~5mm)
フットを取りさると、天吊り金具の取付穴になります。(参考ページ:20)

各部の名前とはたらき(つづき)

本体—背面



⑧ 入力端子

映像の入力端子以外に制御・オプション機器などの接続端子もあります。図は **90** **70** です。端子の詳細や **30** については「入力端子」をご覧ください。(参考ページ:15)

⑨ ランプカバー

光源ランプを交換する時は、このカバーを外します。(参考ページ:74)

⑩ 操作パネル

詳しくは下図「操作パネル」をご覧ください。

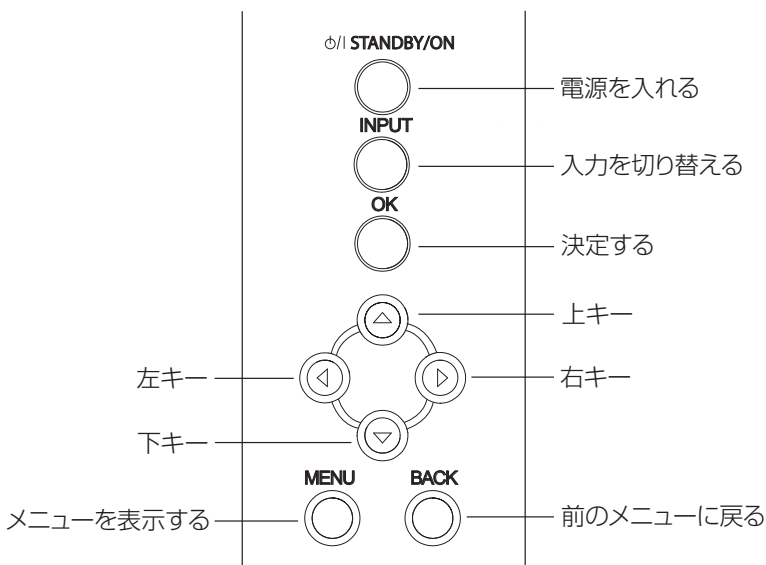
⑪ リモコン受光部(背面)

リモコンで操作するときは、リモコンをここにに向けて操作します。
(*受光部は前面にもあります。)

⑫ 電源入力端子

電源入力端子です。付属の電源コードを接続します。(参考ページ:30)

■ 操作パネル



各部の名前とはたらき(つづき)

本体-インジケータ表示について

本機の通常動作モード・ランプ交換の目安・警告を本機前面の[STAND BY/ON]、[LAMP]、[WARNING]インジケータで表示します。

発光の図の意味:



インジケータの点灯を表します。



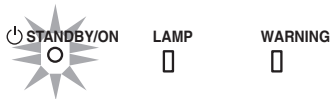
インジケータの点滅を表します。

動作モードの表示

[STAND BY/ON]インジケータの色と点灯・点滅で表示します。

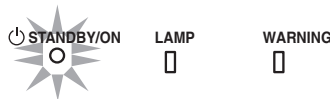
STAND BY点灯(赤)

スタンバイ状態のとき



STAND BY点灯(緑)

ランプ起動中のとき(約1分)



すべて消灯

映像投写のとき



STAND BY点滅(緑)

Hide オンのとき



STAND BY点滅(赤)

クールダウンモードのとき



ランプ交換の目安表示

[LAMP]インジケータの点灯・点滅で表示します。また、この時の本機の動作モードを示す[STAND BY/ON]インジケータも前述のように表示します。(参考ページ:91)

LAMP点灯(橙)

ランプ交換が近くになったとき(ランプ使用時間が2900時間を超えたとき)

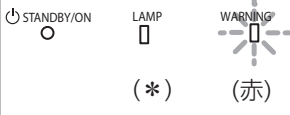
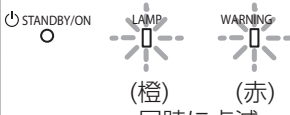
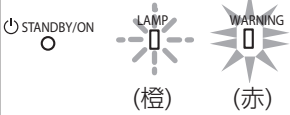


各部の名前とはたらき(つづき)

本体-警告表示と確認・対応

警告表示

[WARNING]と[LAMP]インジケータの表示動作(繰り返されます)で警告の内容がわかります。また、本機の動作モードを示す[STAND BY/ON]インジケータも前述のように同時に表示します。表示すると同時に警告モードになり、自動的に投写を中断して約60秒間冷却ファンを回します。冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、下記の確認と対応を行なってください。

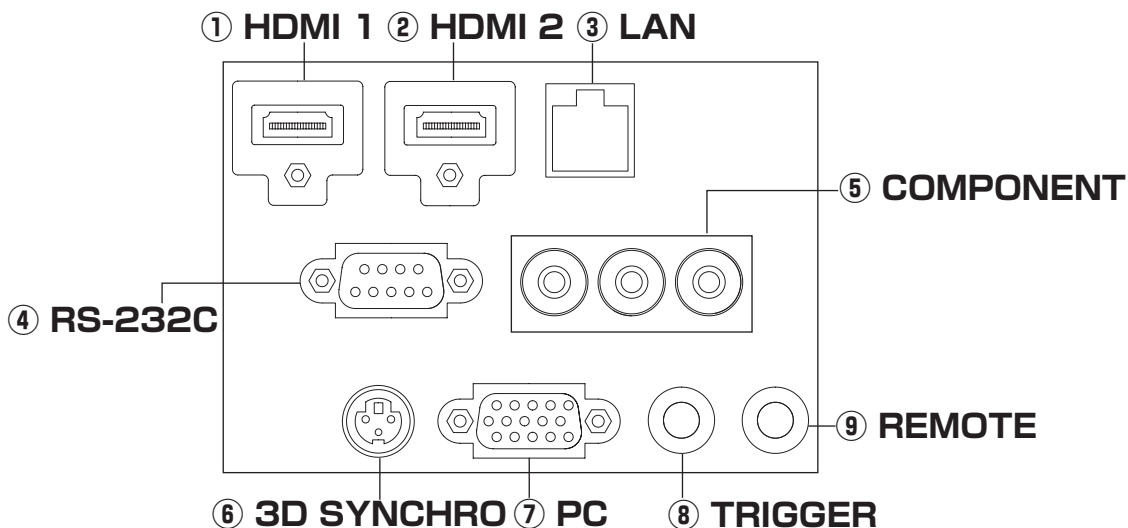
点灯点滅の状態図	点滅回数	内容	確認と対応
 モードの表示	1回	電源に異常があるとき	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口をふさぐようなものがないか確認してください。 ● 外部の温度が正常か確認してください。 <p>対応 本機をしばらくそのまま冷やしてください。その後、電源を入れてください。</p>
	2回	冷却ファンが異常停止したとき	
	3回	内部の温度が異常に高いとき	
	4回	外部の温度が高いとき	
 モードの表示	1回	回路動作に異常があるとき	<ul style="list-style-type: none"> ● 動作中に衝撃を受けることがないか確認してください。 ● ランプユニット、ランプカバーが正しく取り付けられているか確認してください。 ● 自動スライドカバーに異物がないか確認してください。 <p>対応 再度、電源を入れてください。</p>
	2回		
	3回		
	4回	自動スライドカバーに異常があるとき	
 モードの表示	1回	ランプが点灯せずに投写できなかったとき	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプユニット、ランプカバーが正しく取り付けられているか確認してください。 ● 自動スライドカバーに異物がないか確認してください。 <p>対応 再度、電源を入れてください。</p>
	2回	投写中にランプが消えたとき	
	3回	ランプカバーがはずれているとき	

再度、警告モードになるときは、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口に修理を依頼してください。

(*)ランプ交換の目安時間を越えている場合は点灯になる事があります。

各部の名前とはたらき(つづき)

本体—入力端子



① HDMI 1 端子

② HDMI 2 端子

HDMI 出力を持つ機器などを接続できます。M3のロック穴付きです。ネジ穴深さ3mm。(参考ページ:25)

③ LAN 端子「RJ-45」

LAN 端子です。外部にパーソナルコンピューターを接続して、制御コマンドを送出することで本機をコントロールすることができます。(参考ページ:29)

④ RS-232C 端子(D-Sub 9 ピンオス)

RS-232Cインターフェース規格の端子です。外部にパーソナルコンピューターを接続して、本機をコントロールすることができます。(参考ページ:28)

⑤ COMPONENT端子「RCAx3」

アナログRGB(G on Sync)信号、コンポーネント(Y,Cb,Cr)信号、DTVフォーマット(Y,Pb,Pr)信号の入力端子としても使用です。コンポーネント信号出力を持つ機器などを接続できます。(参照ページ: 26)

⑥ 3D SYNCHRO 端子

3Dシンクロエミッター:PK-EM1(別売り)を接続して3D映像を鑑賞する時に使用します。(参考ページ:27)

⑦ PC 端子「D-Sub 15 ピン」

パーソナルコンピューター(パソコン)信号専用(RGBの映像信号と同期信号)の入力端子です。パソコンのディスプレイ出力端子などを接続します。(参考ページ:27) **90 70**

⑧ TRIGGER 端子(⊖ ⊕)

DC12V, 100mAのDC電源出力端子で、SCREEN TRIGGER対応の昇降式スクリーンなどを制御するための出力信号です。接続を誤りますと機器の破損の原因となりますのでご注意ください。(Tip=DC +12 V, Sleeve=GND)(参考ページ:28,68)

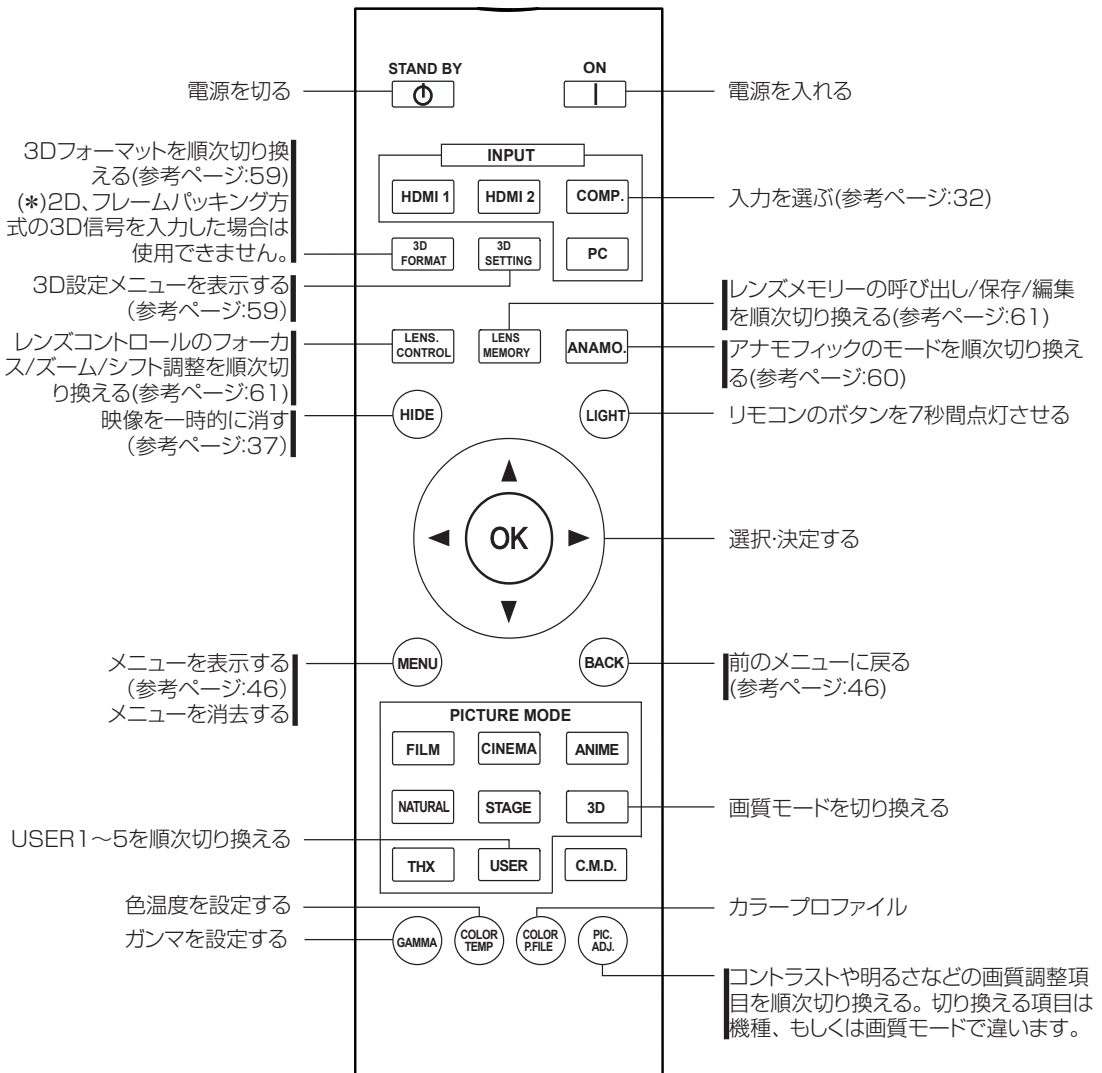
⑨ REMOTE 端子「ステレオミニジャック」

専用BOXやリア投射による本体の設置などで、リモコンが使用できない場合に、外部受光部を設け、その外部受光部と本体を接続する時に使用します。外部受光部は商品としてはありません、販売店にご相談ください。(参考ページ:29)

各部の名前とはたらき(つづき)

■ リモコン

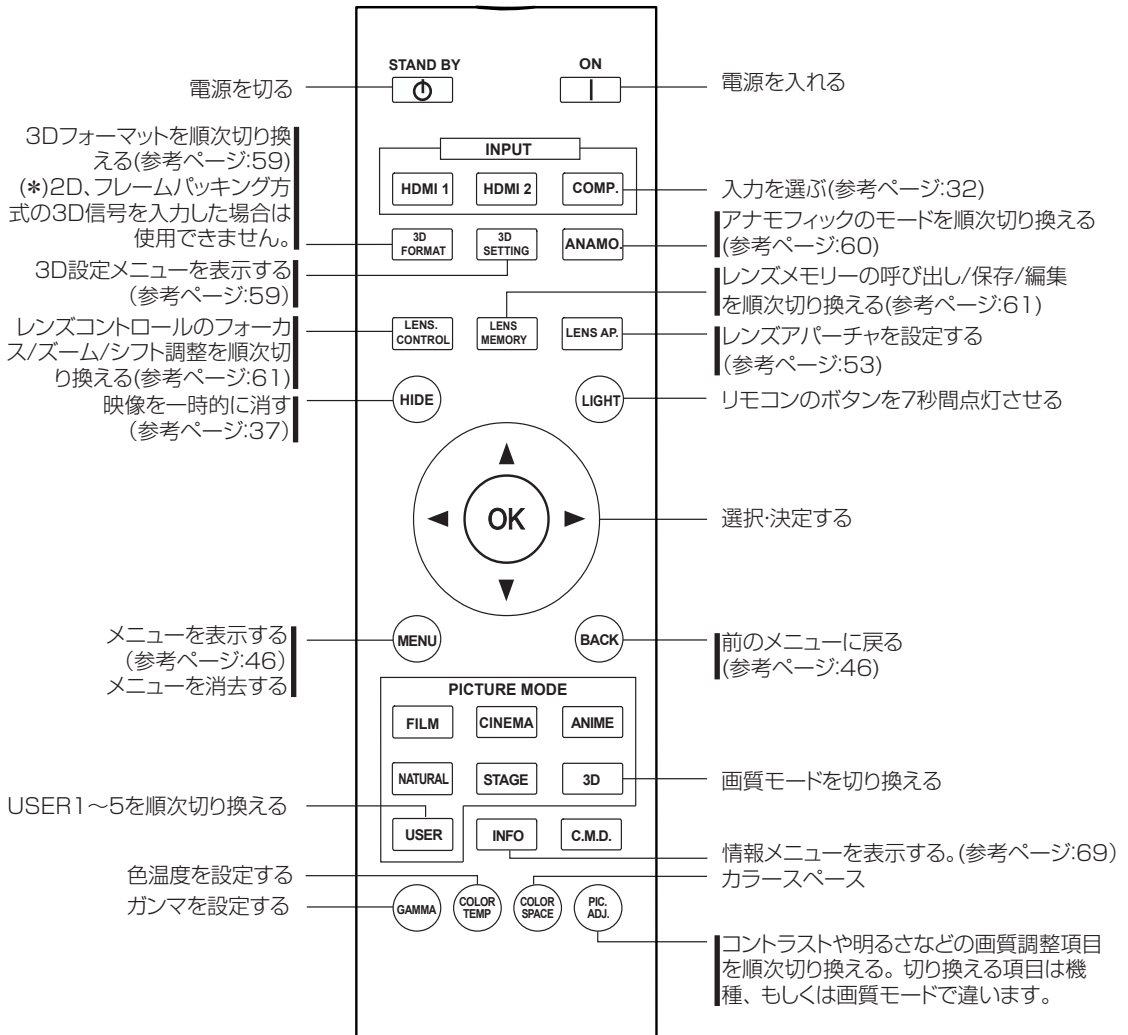
90 70



各部の名前とはたらき(つづき)

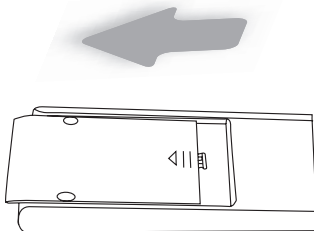
■ リモコン

30

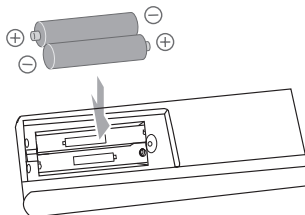


リモコンへの電池の入れ方

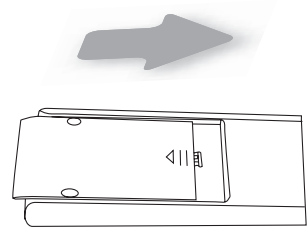
①



②



③



- リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。⊕ ⊖ の向きを表示どおり正しく入れてください。
- 乾電池を入れるときは ⊖ 側から入れてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を取り出し、5分ぐらいたってからもう一度乾電池を入れて操作してください。

設置について

設置するときの注意

本機を設置するときには、次のことをよくお読みになって設置してください。



設置する環境

注意

本機は精密機器ですので、次のような場所での設置や使用はおやめください。火災や故障の原因となることがあります。

- ・水や湿気、ほこりの多いところ
- ・油煙やたばこの煙のあたるところ
- ・じゅうたんや布団などの柔らかいものの上
- ・直射日光があたって高温になるところ
- ・高温・低温のところ

許容動作温度範囲: +5℃ ~ +35℃

許容動作相対湿度範囲: 20% ~ 80% (非結露)

許容保存温度範囲: -10℃ ~ +60℃

- ・煙草の煙や油気がある部屋に設置しない微量の煙や油気でも長い間に影響があります。本機は放熱のため大量の吸気により光学部の冷却を行っています。光路に汚れが付着し映像が暗くなったり、発色が悪化するなど故障の原因となります。光学部品に付着した汚れは除去することができません。



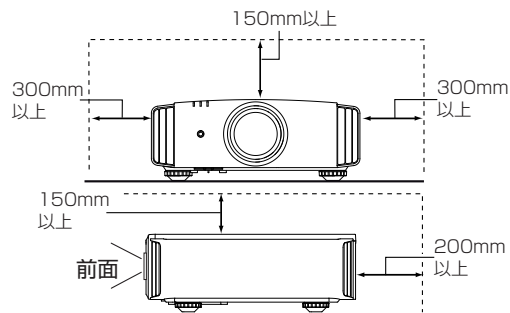
壁や他の機器と間隔をあけて設置する

注意

放熱をよくするため、周囲との間に下図の空間距離を保つようにしてください。

そして、前面は開放してください。前面に遮蔽物があると排気口からの熱風が逆流して本体を加熱したり、排気の熱い空気による影がスクリーン上に映る(陽炎現象)ことがあります。

また、下図のような寸法で囲うときは、囲った内部が外部と同じ温度になるよう空調を行なってください。高温となって、故障の原因となります。



お使いになるときの注意

注意

本機は投写中に高温になる光源ランプを使用しています。ご使用になるときには、次のような投写はおやめください。

火災や故障の原因となることがあります。

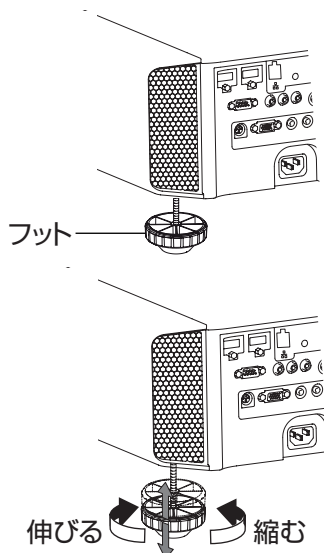
- ・横倒しでの投写
- ・むりな設置角度での投写
本機を±30°以上傾けてお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を損ねる原因となることがあります。
- ・吸気口、排気口をふさぐような場所での投写

スクリーンは生地が不均一のものをお選びください。格子縞のように均一なものと、D-ILA素子の画素配列との間で干渉縞を発生させることがあります。発生した干渉縞を低減するには画面の大きさを変えて、目立たないようにする方法があります。

本機での傾き調整

上下角の調整のしかた

フットを回すと本機の高さと傾斜(0~5 mm)を調整できます。本機を持ち上げて、4つのフットで調整します。



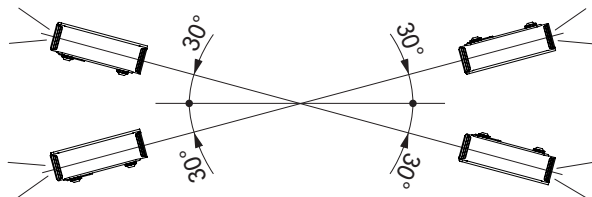
設置について(つづき)

プロジェクターとスクリーンを設置する

本機とスクリーンを設置します。本機とスクリーンを直角に設置してください。直角に設置しないと、映像が台形にひずみます。(参考ページ:37、60)

設置角度

本機は、 $\pm 30^\circ$ の設置ができます。

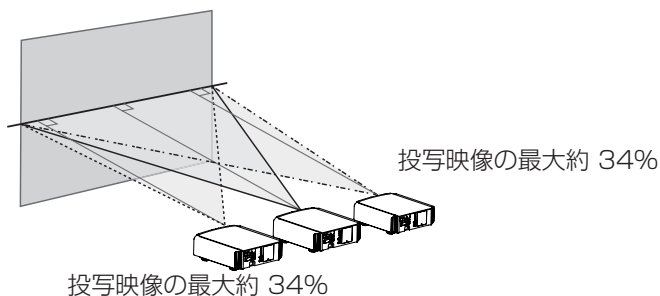


- 上記以外の角度の設置は故障の原因になります。

シフト

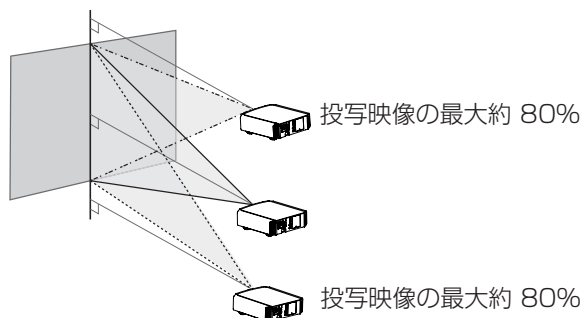
■ 左右の位置

(*)上下の位置は 0% (中央)



■ 上下の位置

(*)左右の位置は 0% (中央)

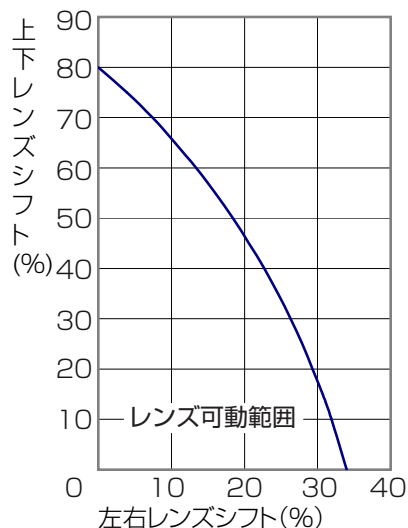


レンズシフトの相関表

左右シフト量 (%)	0%	10%	20%	30%	34%
上下シフト量 (%)	80%	66%	47%	18%	0%

- 左右のシフト量により上下の最大シフト量が変わります。また、逆に上下のシフト量で左右の最大シフト量が変わります。
- 表及びグラフ中の数値はあくまでも目安です。設置するときの参考としてご利用ください。

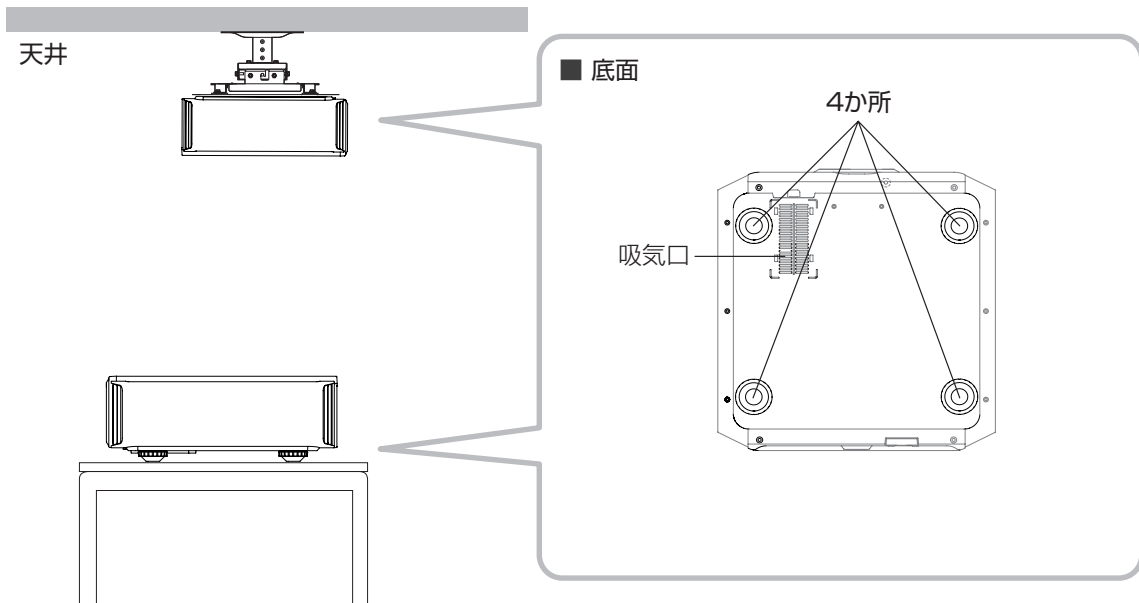
■ レンズシフトの移動範囲



設置について(つづき)

プロジェクターの固定

地震など、非常時の安全確保と事故防止のため、転倒・落下防止の処置をしてください。本機を台や天井に固定するときは、底面のフット4個をはずし、それらのネジ穴(M5 ネジ)4か所すべてを使用して固定してください。



固定するときの注意

- 設置工事は専門の知識や技術が必要です。設置工事は、必ず販売店または工事専門業者にご依頼ください。
- ネジ穴の深さ(ネジの長さ)は、23mmです。取り付け部分のネジは、長さ 23mm以下、13mm以上のネジをお使いください。
指定以外のネジを使用した場合は、故障や本機の落下などの原因になります。
- 台に固定する場合、吸気口をふさがないように吸気口周辺に十分なスペース(フットの高さ10mm以上)を確保してください。
- 本機を左右±5°以上傾けてお使いになることは避けてください。
- 当社以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天井に吊り下げて使用するときには、本機周辺の温度に気をつけてください。暖房を使用した場合、天井付近は予想以上に高温になります。

設置について(つづき)

画面サイズと投写距離

お好みの画面サイズになるように、レンズからスクリーンまでの距離を決めます。
本機の投写レンズは2.0倍電動ズームレンズです。

■ 投写画面サイズと投写距離

投写画面サイズ (高さ、幅) アスペクト比 16:9	およその投写距離 W(ワイド端) ~ T(テレ端)
60型 (約0.7、1.3m)	約1.78m ~ 約3.66m
70型 (約0.9、1.5m)	約2.09m ~ 約4.28m
80型 (約1.0、1.8m)	約2.40m ~ 約4.89m
90型 (約1.1、2.0m)	約2.70m ~ 約5.51m
100型 (約1.2、2.2m)	約3.01m ~ 約6.13m
110型 (約1.4、2.4m)	約3.31m ~ 約6.75m
120型 (約1.5、2.7m)	約3.62m ~ 約7.36m
130型 (約1.6、2.9m)	約3.92m ~ 約7.98m

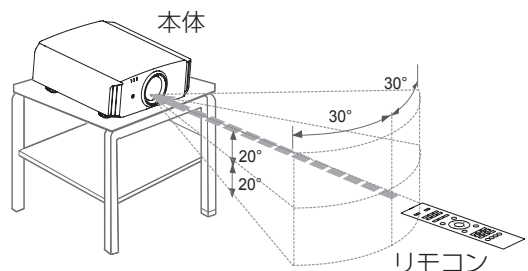
投写画面サイズ (高さ、幅) アスペクト比 16:9	およその投写距離 W(ワイド端) ~ T(テレ端)
140型 (約1.7、3.1m)	約4.23m ~ 約8.60m
150型 (約1.9、3.3m)	約4.53m ~ 約9.22m
160型 (約2.0、3.5m)	約4.84m ~ 約9.84m
170型 (約2.1、3.8m)	約5.14m ~ 約10.45m
180型 (約2.2、4.0m)	約5.45m ~ 約11.07m
190型 (約2.4、4.2m)	約5.75m ~ 約11.68m
200型 (約2.5、4.4m)	約6.06m ~ 約12.30m

準備

リモコンの操作範囲

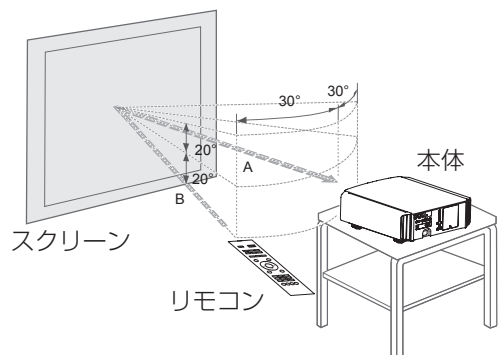
■ 直接本体に向けて使うときは

- リモコン受光部(前面・背面)に対して7m以内でお使いください。
- 操作できないときは、近づけてください。



■ スクリーンなどに反射させて使うときは

- 本体とスクリーンの距離Aとリモコンとスクリーンの距離Bの合計が7m以内になるようにしてください。
- ご使用になるスクリーンの種類によって、リモコン信号の反射する効率が異なるため、操作できる距離が短くなることがあります。



接続について

入力可能な信号の種類

アナログビデオ信号		480i, 480p, 576i, 576p, 720p/50Hz, 720p/60Hz, 1080i/50Hz, 1080i/60Hz
デジタルビデオ信号		480i, 480p, 576i, 576p, 720p/50Hz, 720p/60Hz, 1080i/50Hz, 1080i/60Hz, 1080p/24Hz, 1080p/50Hz, 1080p/60Hz
3D信号	フレームパッキング	720p/50Hz, 720p/60Hz, 1080p/24Hz, 1080i/50Hz, 1080i/60Hz
	サイドバイサイド	1080i/60Hz, 1080p/60Hz, 1080i/50Hz, 1080p/50Hz, 1080p/24Hz, 720p/50Hz, 720p/60Hz
	トップアンドボトム	720p/50Hz, 720p/60Hz, 1080p/24Hz

● PC信号(HDMI)

No.	名称	解像度	fh [kHz]	fv [Hz]	dot CLK [MHz]	総ドット数 [dot]	総ライン数 [line]	有効ドット数 [dot]	有効ライン数 [line]
1	VGA 60	640 X 480	31.500	60.000	25.200	800	525	640	480
2	VGA 59.94	640 X 480	31.469	59.940	25.175	800	525	640	480
3	SVGA 60	800 X 600	37.879	60.317	40.000	1,056	628	800	600
4	XGA 60	1024 X 768	48.363	60.004	65.000	1,344	806	1,024	768
5	WXGA 60	1280 X 768	47.760	60.000	79.998	1,675	796	1,280	768
6	WXGA +60	1440 X 900	55.919	59.999	106.470	1,904	932	1,440	900
7	SXGA 60	1280 X 1024	63.981	60.020	108.000	1,688	1,066	1,280	1,024
8	WSXGA +60	1680 X 1050	65.222	60.002	147.140	2,256	1,087	1,680	1,050
9	WUXGA 60	1920 X 1200	74.038	59.95	154.000	2,080	1,235	1,920	1,200

接続について

入力可能な信号の種類(PC 対応)

● PC信号(D-sub 3列15ピン) **90** **70**

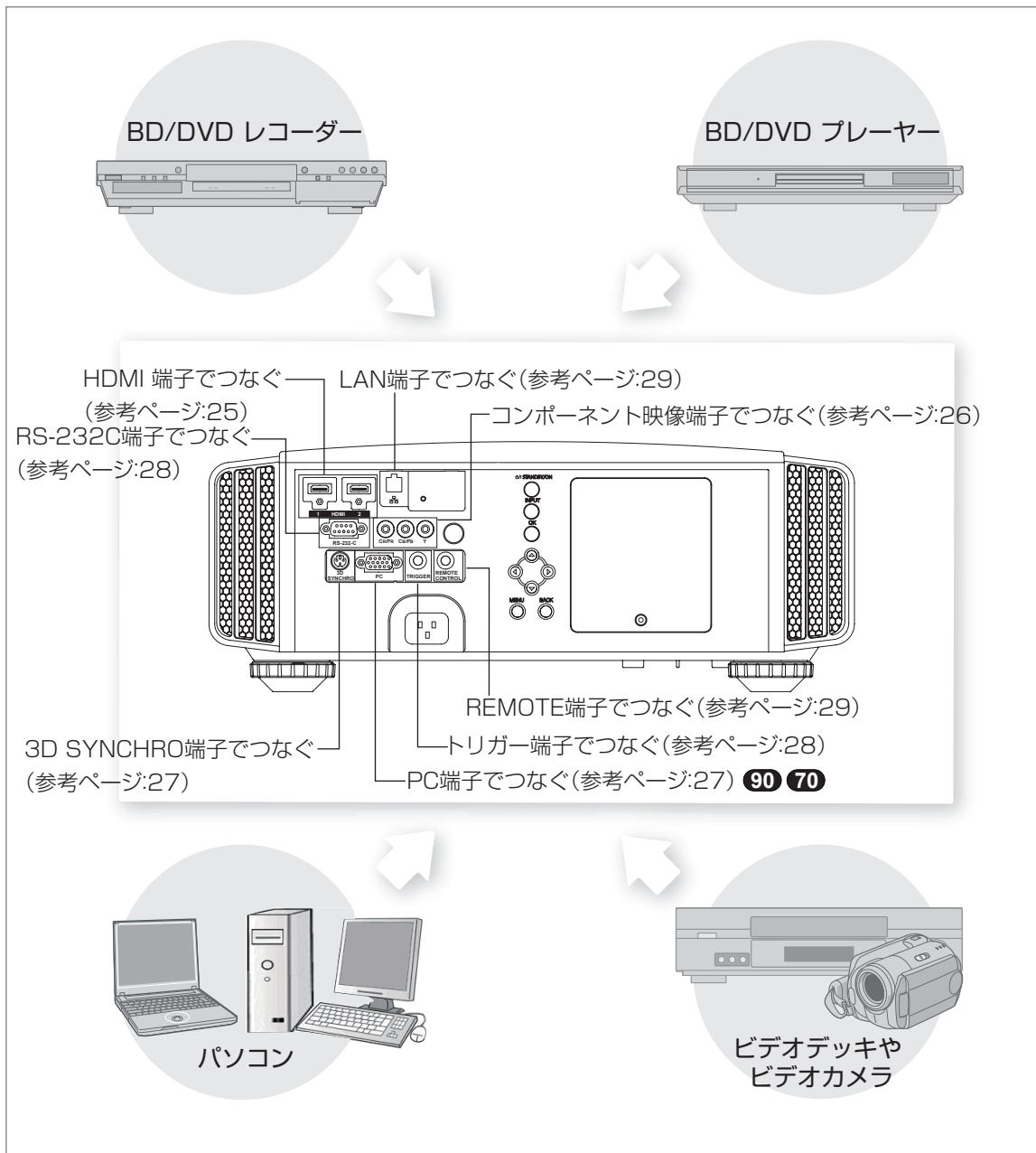
No.	名称	解像度	fh [kHz]	fv [Hz]	dot CLK [MHz]	総ドット数 [dot]	総ライン数 [line]	有効ドット数 [dot]	有効ライン数 [line]
1	VGA 60	640 X 480	31.500	60.000	25.175	800	525	640	480
2	VGA 72	640 X 480	37.900	72.000	31.500	832	520	640	480
3	VGA 75	640 X 480	37.500	75.000	31.500	840	500	640	480
4	VGA 85	640 X 480	43.300	85.000	36.000	832	509	640	480
5	SVGA 56	800 X 600	35.200	56.000	36.000	1024	625	800	600
6	SVGA 60	800 X 600	37.900	60.000	40.000	1056	628	800	600
7	SVGA 72	800 X 600	48.100	72.000	50.000	1040	666	800	600
8	SVGA 75	800 X 600	46.900	75.000	49.500	1056	625	800	600
9	SVGA 85	800 X 600	53.700	85.000	56.250	1048	631	800	600
10	XGA 60	1024 X 768	48.400	60.000	65.000	1344	806	1024	768
11	XGA 70	1024 X 768	56.500	70.000	75.000	1328	806	1024	768
12	XGA 75	1024 X 768	60.000	75.000	75.750	1312	800	1024	768
13	XGA 85	1024 X 768	68.700	85.000	94.500	1376	808	1024	768
14	WXGA 60	1280 X 768	47.760	60.000	79.998	1675	796	1280	768
15	WXGA+ 60	1440 X 900	55.919	59.999	106.470	1904	932	1440	900
16	SXGA 60	1280 X 1024	64.000	60.000	108.000	1688	1066	1280	1024
17	SXGA+ 60	1400 X 1050	63.981	60.020	108.000	1688	1066	1400	1050
18	WSXGA+ 60	1680 X 1050	65.222	60.002	147.140	2256	1087	1680	1050
19	1920x1080 60	1920 X 1080	67.500	60.00	148.500	2200	1125	1920	1080
20	MAC13"	640 X 480	35.000	66.667	30.240	864	525	640	480
21	MAC16"	832 X 624	49.107	75.087	55.000	1120	654	832	624
22	MAC19"	1024 X 768	60.241	74.927	80.000	1328	804	1024	768

準備

接続について (つづき)

機器との接続

- 接続が終わるまで、電源を入れないでください。
- ご使用の機器によって接続のしかたが異なります。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- 当機は映像を投写するものですので、接続する機器の音声出力は他のアンプやスピーカーなどの音声出力機器に接続してください。
- 接続する機器やケーブル、コードによっては、映像が表示されない場合があります。
HDMI ケーブル(別売)は、HDMI 規格を取得したものを使用してください。
- 接続するケーブル、コードの端子カバーサイズによっては、接続ができない場合があります。



接続について (つづき)

■ HDMI ケーブルでつなく

本機側

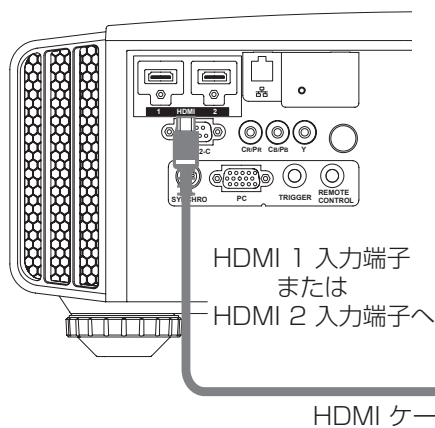
ノートパソコンなど



BD/DVD レコーダーなど



準備



HDMI ケーブル(別売品)

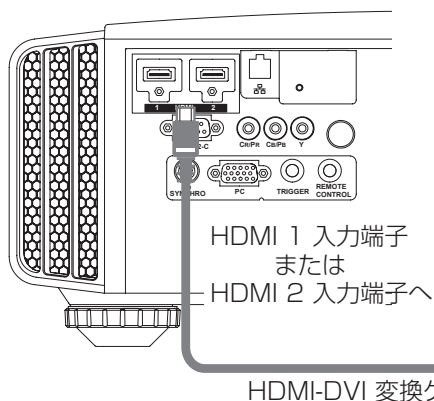
HDMI 出力端子

- ノイズが出る場合は、PC(ノートパソコンなど)を本機からはなしてください。
- HDMI規格を取得した転送帯域が340MHzのケーブルをお勧めします。転送帯域が75MHzのケーブルを使用の場合は送信側機器で1080i以下にする事をお勧めします。
- 映像が表示されない場合はケーブル長さを短くするか、映像の解像度を送信側機器で下げることをお勧めします。

■ HDMI-DVI 変換ケーブルでつなく

本機側

デスクトップパソコンなど



HDMI-DVI 変換ケーブル(別売品)

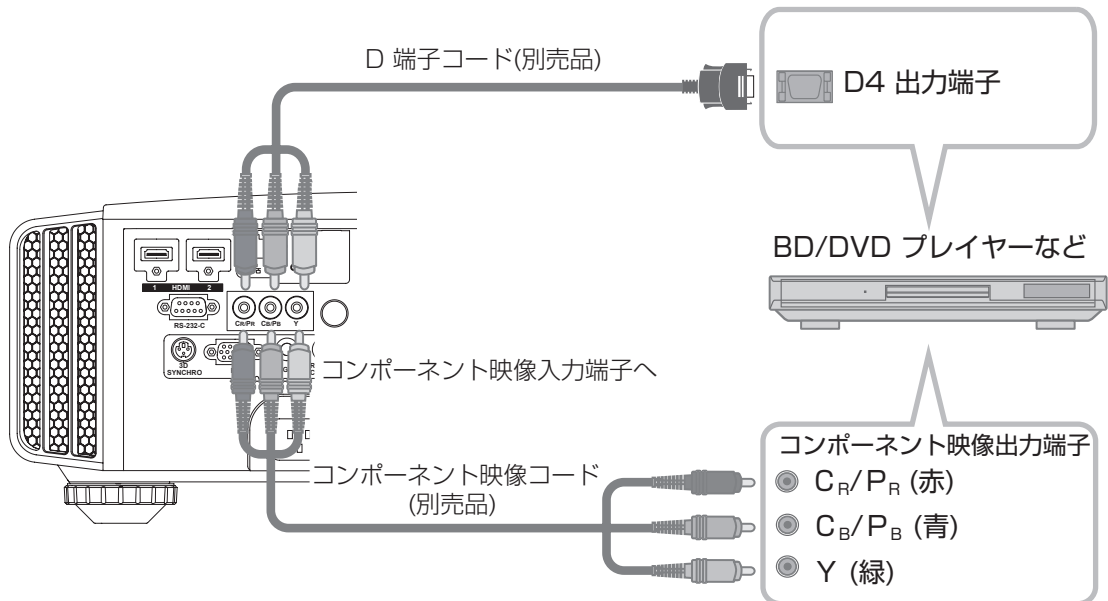
DVI 出力端子

- ノイズが出る場合は、PC(デスクトップパソコンなど)を本機からはなしてください。
- 映像が表示されない場合はケーブル長さを短くするか、映像の解像度を送信側機器で下げることをお勧めします。

接続について (つづき)

■ コンポーネント映像コードや D 端子コードでつなぐ

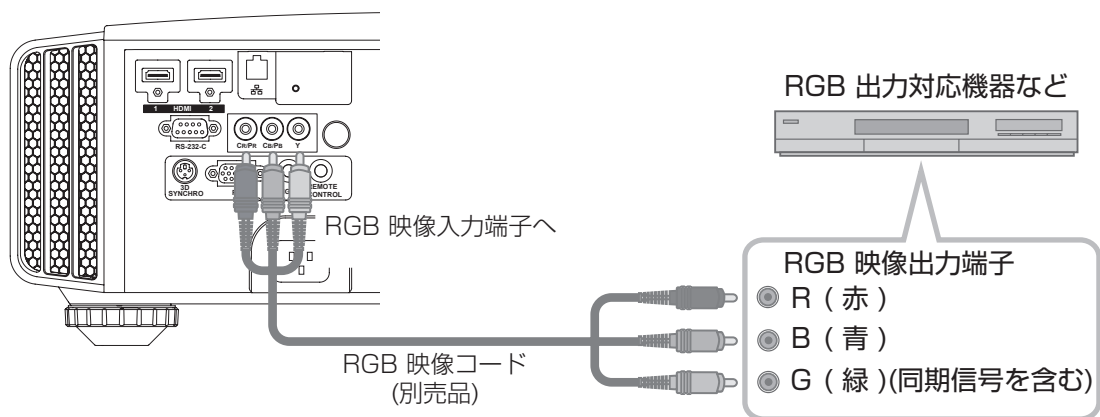
本機側



- 設定メニューの「COMP.」を「Y Pb/Cb Pr/Cr」にしてください。(参考ページ:56)

■ RGB映像コードでつなぐ

本機側

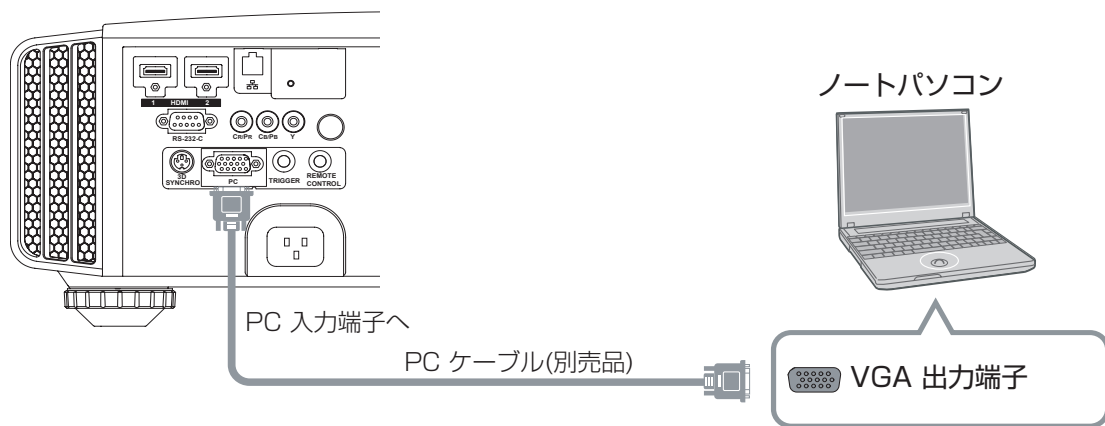


- 設定メニューの「COMP.」を「RGB」にしてください。(参考ページ:56)
- 対応入力信号については「主な仕様」をご覧ください。(参考ページ:91)

接続について (つづき)

■ PCケーブルでつなぐ 90 70

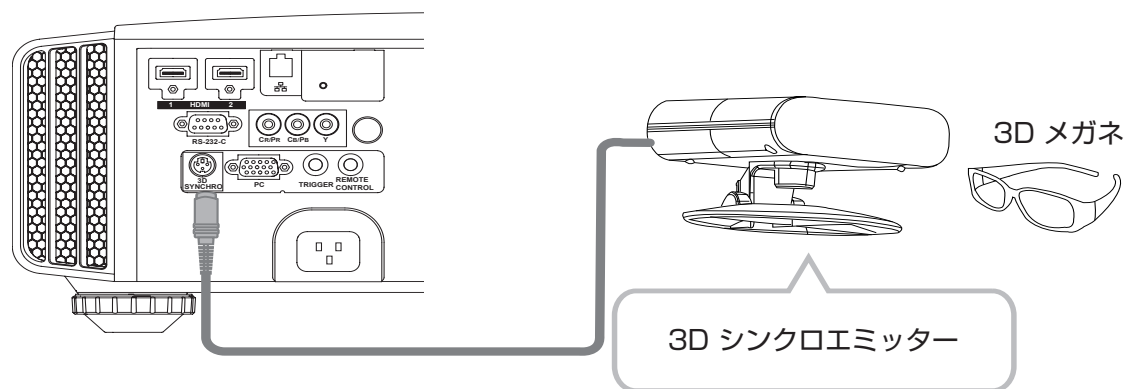
本機側



- 対応入力信号については「主な仕様」をご覧ください。(参考ページ:91)

■ 3D SYNCRO端子でつなぐ

本機側



- 3Dシンクロエミッター：PK-EM1(別売品)の専用端子です。
- PK-EM1の赤外線が他の赤外線通信機器に影響をおよぼす場合があります。
- 3Dメガネ(PK-AG1-B, PK-AG2-B)は別売品で、3Dシンクロエミッターに付属していません。



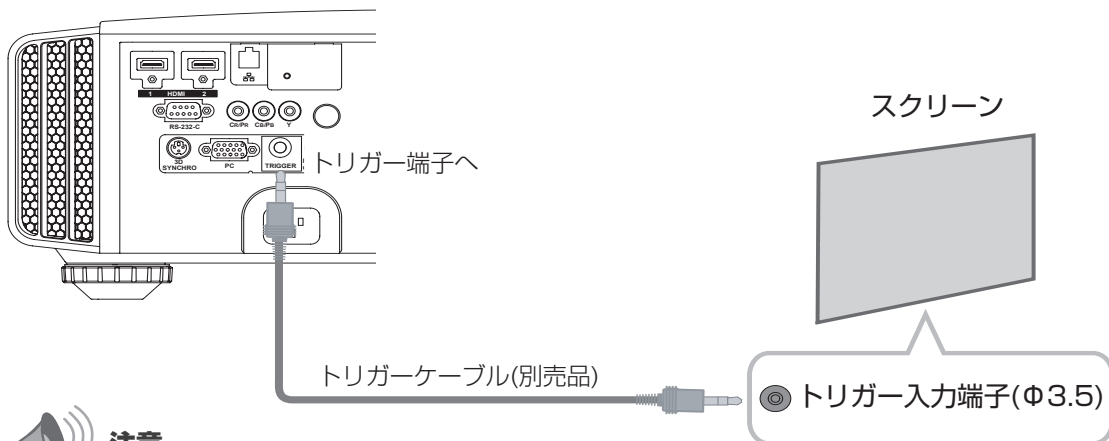
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、当機の3D機能を利用して2D映像を3Dに変換して表示すると、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがあります。
- 環境温度やランプ使用時間によって3D映像の見え方が変わることがあります。正常に投写されない場合は使用を控えてください。
- 3D映像観賞する前に「3D方式の解説」(参考ページ71～73)を読んで鑑賞してください。

準備

接続について (つづき)

■ トリガーケーブルでつなぐ

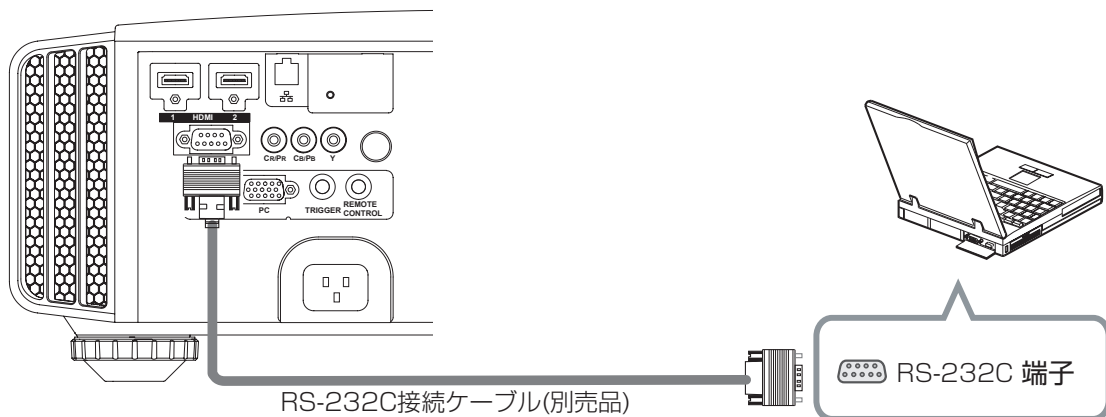
本機側



- 他の機器の電源などに使用しないでください。
- 他の機器の音声端子などに接続すると、他の機器の故障や傷害の原因になります。
- 定格を超えて使用すると、故障の原因になります。
- トリガー端子は、12Vの電圧を出力しているため、ショートには十分注意してください。
- 工場出荷時は「出力しない」設定になっています。メニューの[5]「機能」の「トリガー」項目(参照ページ:68)で設定してください。

■ RS-232C 接続ケーブルでつなぐ

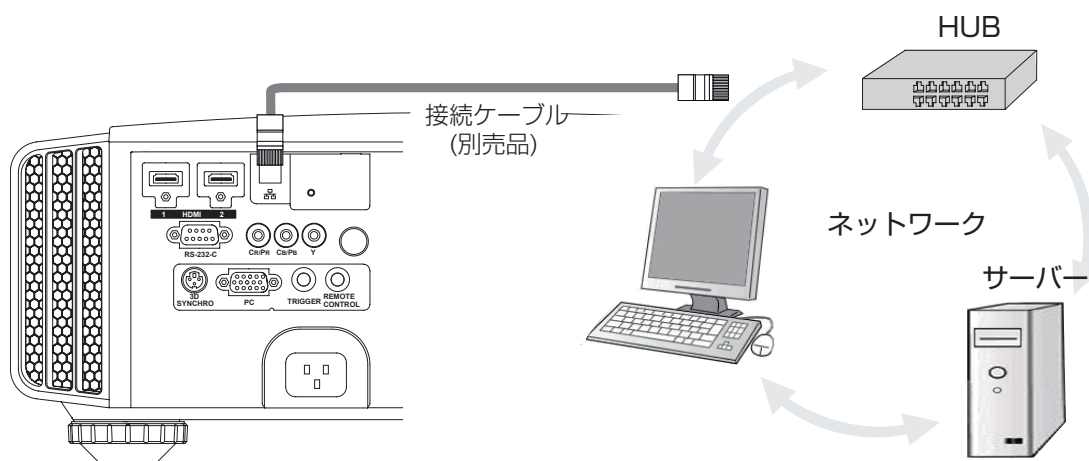
本機側



接続について（つづき）

■ LAN端子でつなぐ

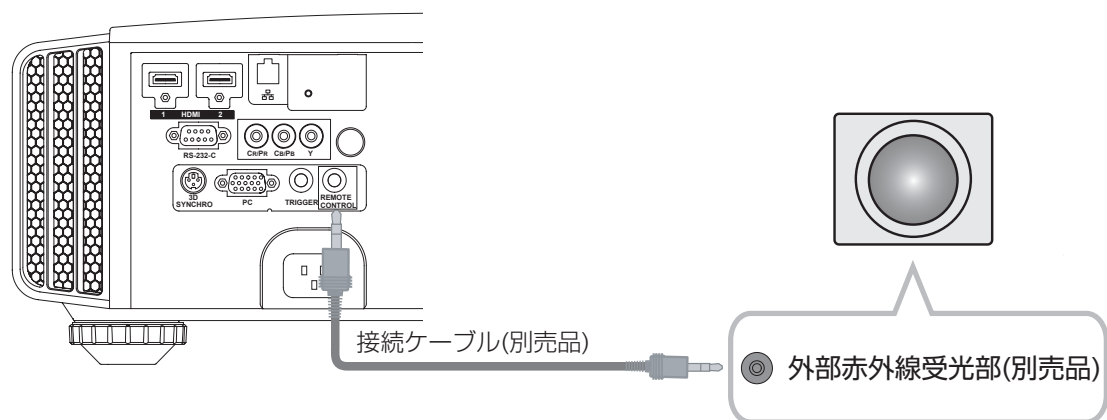
本機側



- ネットワークは本機の制御用に使います。映像信号の送受信をするものではありません。
- ネットワークへの接続はネットワーク管理者にご相談ください。

■ REMOTE 端子でつなぐ

本機側



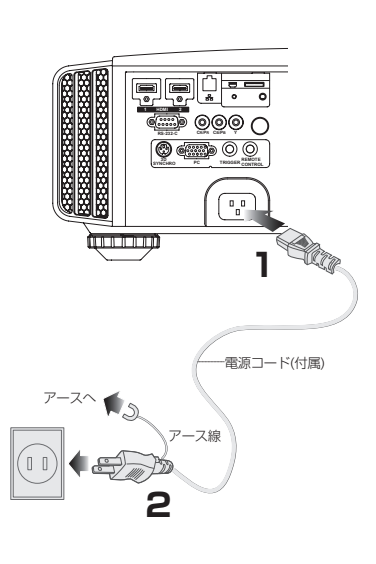
- 外部赤外線受光部および接続ケーブルに関しては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

準備

接続について (つづき)

電源コード(付属)の接続

機器の接続が済んだらプロジェクターの電源コードを接続します。



- 1 本体の電源入力端子に付属の電源コードを接続する
- 2 アース線を建物に備えられているアース端子に接続し、付属の電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込む

(*)アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから外して行ってください。

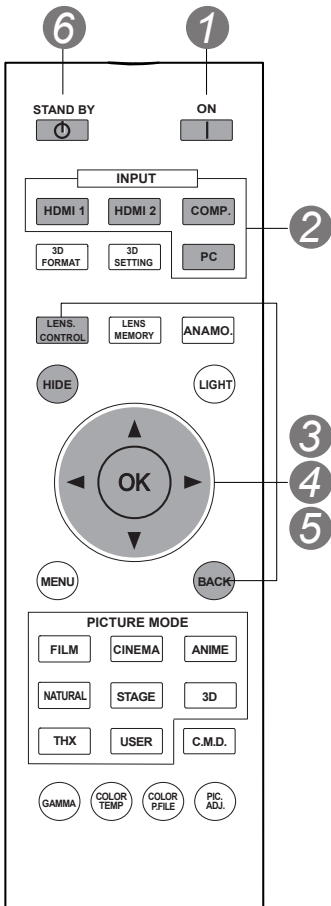
火災・感電防止の注意



- 本機は電源の容量が大きいので、壁のコンセントへ直接接続してください。
- 機器を使用しないときは、機器の電源コードをコンセントから抜いてください。
- 付属の電源コード以外で接続しないでください。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損します。
- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。

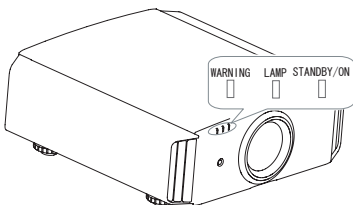
メモ

基本操作



90 70

30: この解説の操作で使用するボタン配置は同じです。



基本操作の手順

基本的な設定を一度してしまえば、通常は以下の操作だけで本機をお使いになります。

1 電源を入れる



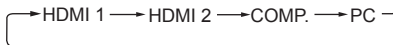
● 本体の **ON** ボタンを押しても電源が入ります。
(参考ページ:12)

● スライドカバーが開きます。 **90 70**
レンズカバーを外す。 **30**
(*ご使用の際は必ずレンズカバーを外してください。
レンズカバーを外さないで投写すると故障の原因になります。)

2 投写する映像を選ぶ

1 入力方式を選択します

● 本体の **INPUT** ボタンを押しても選べます。
(参考ページ:12)

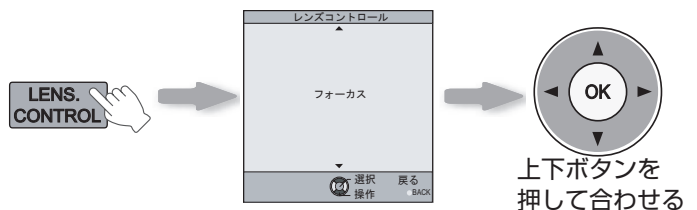


2 選んだ機器を再生します

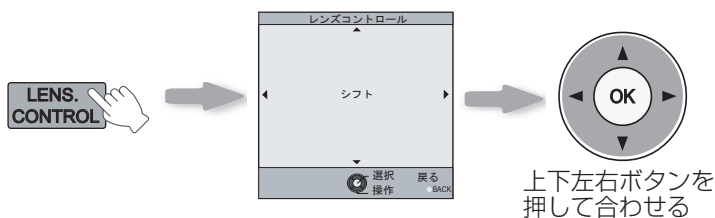
3 ズーム(画面サイズ)を調整する



4 フォーカス(焦点)を調整する



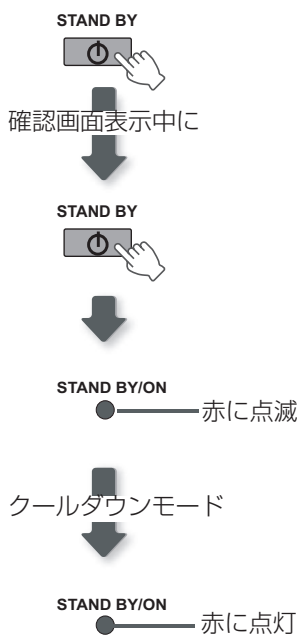
5 シフト(映像の位置)を調整する



- 映像位置を調整したあとに設定メニュー「設置」の「画素調整」が必要になる場合があります。(参考ページ:62~63)
- **LENS CONTROL** ボタンを押すごとに、「フォーカス」、「ズーム」、「シフト」が切り換わります。 **OK** ボタンでも切り替わります。

→フォーカス→ズーム→シフト→

6 電源を切る



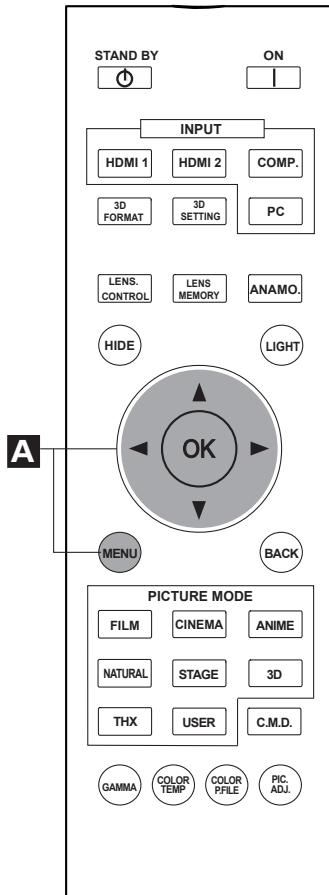
- 電源を切るときスライドカバーが閉まります。 **90** **70** レンズカバーを取り付ける。 **30**
- 本機の電源を入れて約90秒間は電源を切ることができません。90秒以上経過してから操作してください。
- 本体の **⏻/⏻** ボタンを押しても電源が切れます。(参考ページ:12)
- 長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

MEMO

クールダウンモードについて

- クールダウンモードとは、投写終了後に約60秒間ランプを冷却する機能です。この機能は過熱したランプの熱で本機内部の変形や破損を防いだり、ランプの破裂やランプの寿命が短くなることを防ぎます。
- クールダウンモード中は、[STANDBY/ON] インジケータが赤く点滅します。
- クールダウンモードが終了すると、自動的にスタンバイ状態になります。
- クールダウンモード中は、電源プラグを抜かないでください。ランプの寿命が短くなったり、故障の原因になります。
- メニュー[3設置]の[3-1レンズコントロール]の[スライドカバー]を[オープン]に設定していると、スライドカバーは閉まりません。(参考ページ:62)

基本操作(つづき)



90 70

30: この解説の操作で使用
するボタン配置は同じです。

よく使う便利な機能の操作

投写した映像の画面サイズを変更したり、外側部分の画質が劣化した映像の周りを隠すことができます。

- A 画面サイズを設定する
- B 映像の周囲をマスクする
- C 映像を一時的に消す
- D 台形補正を調整する

A 画面サイズを設定する

投写した映像を最適な画面サイズ(アスペクト比)に設定できます。

- PC信号を入力したときは、「アスペクト(PC)」の設定になります。
(参考ページ:56)

■ 画面サイズ設定による入力映像と投写映像について

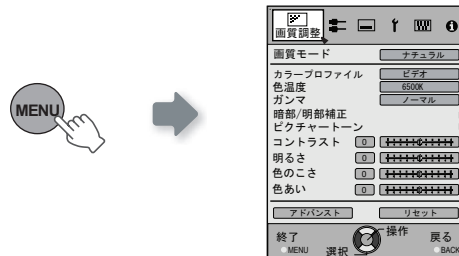
1 映像を投写します



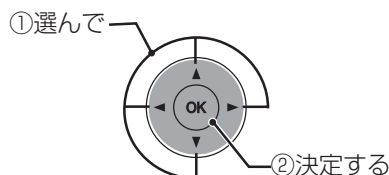
← 4 : 3の映像

2 映像をアスペクトします

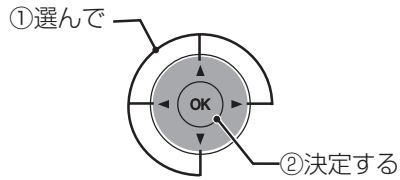
1 設定メニューを表示します



2 「入力信号」→「アスペクト (Video)」 を選びます



3 アスペクトの値を設定します



《例》

「アスペクト」の値を
「4:3」➡「16:9」に
変更した場合

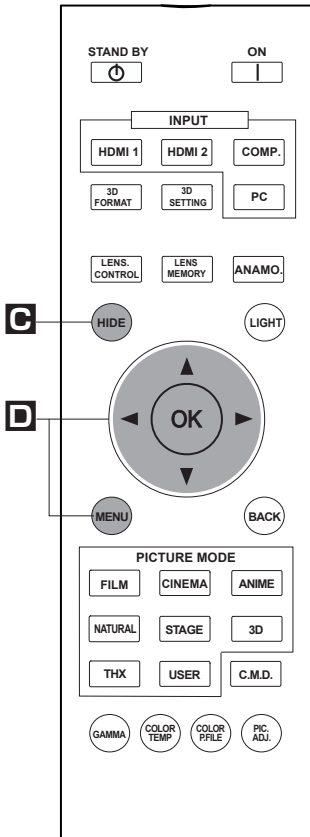


3 終了します



- 入力映像によっては、「4:3」で縦長映像となり、「16:9」に設定することで最適な画面サイズになる場合があります。
- 3D信号入力時には、「16:9」に固定となります。

基本操作(つづき)



90 70

30: この解説の操作で使用
するボタン配置は同じです。

- 3D信号入力時には、調整できません。また、台形補正を調整していても、3D信号入力時には台形補正が解除されます。

C 映像を一時的に消す

映像を一時的に消すことができます。

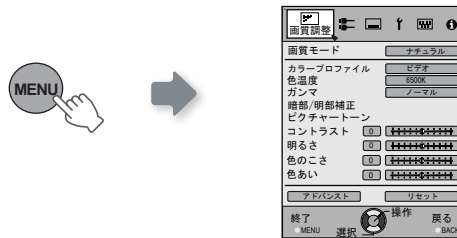


- もう一度 **HIDE** ボタンを押すと、映像が表示されます。
- 映像を一時的に消しているときは、電源を切ることができません。

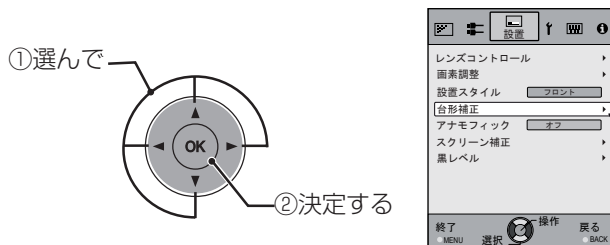
D 台形補正を調整する

投写面に対して、プロジェクターを斜めに設置した場合に発生する台形ひずみを補正します。

1 設定メニューを表示します



2 「設置」→「台形補正」を選びます



3 台形補正を調整します

台形補正モードでカーソル(上下左右矢印)を押して、台形ひずみを調整できます。

左右カーソルで横方向のひずみを調整する。



上下カーソルで縦方向のひずみを調整する。



4 終了します

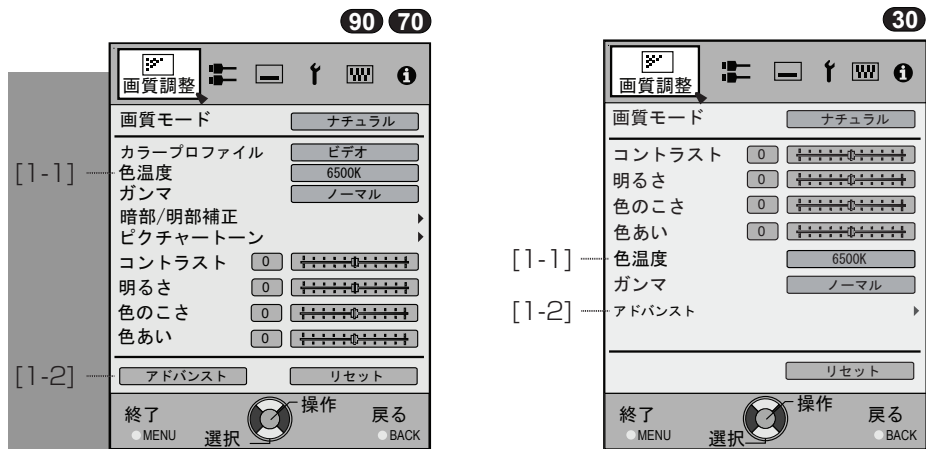


メニューで行う調整と設定

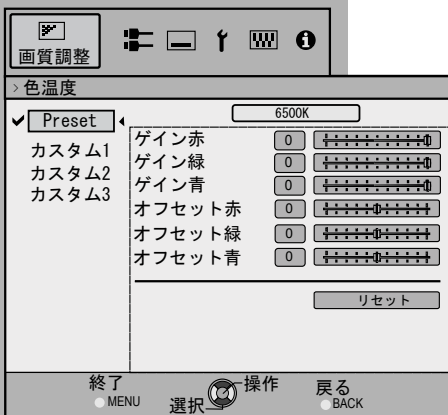
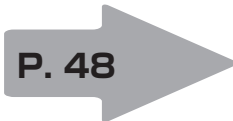
メニューの階層と構成

本機のメニューは次のような構成になっています。
 ここでは概略のガイドラインを記載しておりますので設定によっては表示されない項目も図中に記載されています。詳細は「メニュー項目の解説」(参考ページ:48以降)をお読みください。
 サブメニューの記載がない項目でも、調整用の子画面に移行します。

[1] 画質調整



[1-1] 色温度



次へ続く

メニューで行う調整と設定(つづき)

[1-2] アドバンスト

90 70

[1-2-1]

[1-2-2]

[1-2-3]



30

[1-2-1]

[1-2-2]



P. 52

[1-2-1] シャープネス



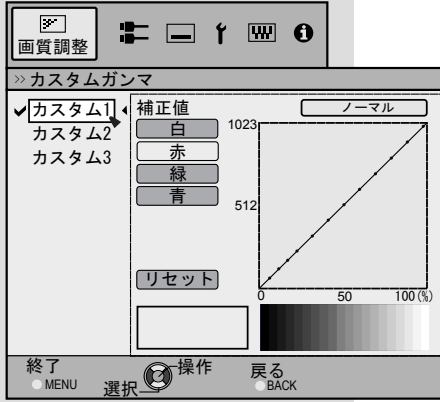
P. 54

次へ続く

操作

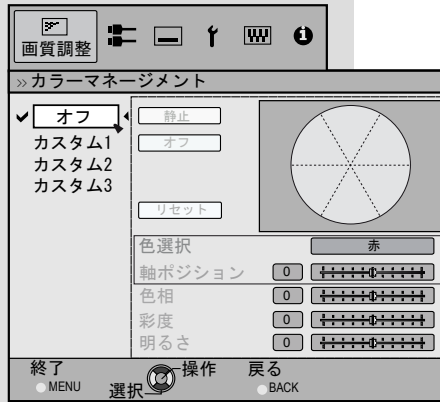
メニューで行う調整と設定(つづき)

[1-2-2] カスタムガンマ



[1-2-3] カラーマネージメント

90 70



メニューで行う調整と設定(つづき)

[2] 入力信号

2D信号入力時

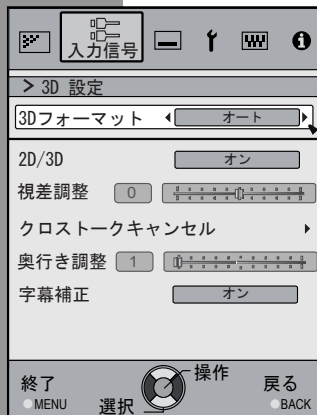
2D信号入力時



(*)PC信号入力する時に「アスペクト (PC)」が表示されます。

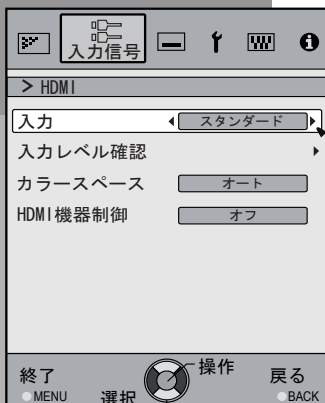
3D信号入力時の「入力信号」のメニュー表示は「[2-3] 3D 設定」と同じになります。

P. 56



P. 59

[2-1] HDMI



P. 57

次へ続く

操作

メニューで行う調整と設定(つづき)

[2-2] PC

90 70

入力信号

> PC

自動調整

トラッキング 880

フェーズ 16

表示位置

終了 MENU 選択 操作 戻る BACK

[2-3] 3D 設定

入力信号

> 3D 設定

3Dフォーマット オート

2D/3D オン

視差調整 0

クロストークキャンセル

奥行き調整 1

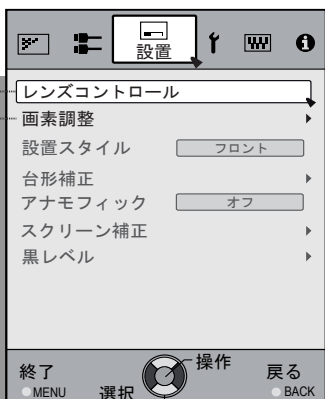
字幕補正 オン

終了 MENU 選択 操作 戻る BACK

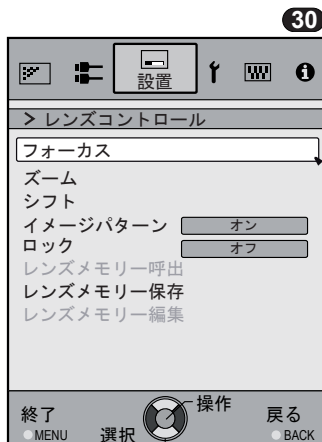
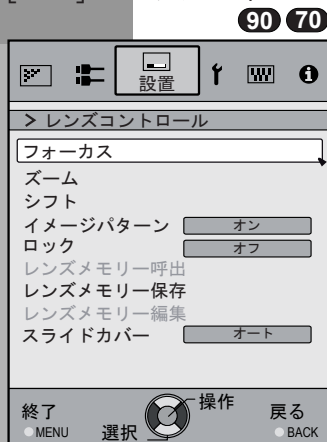


メニューで行う調整と設定(つづき)

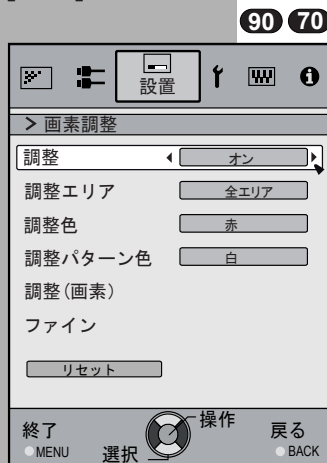
[3] 設置



[3-1] レンズコントロール



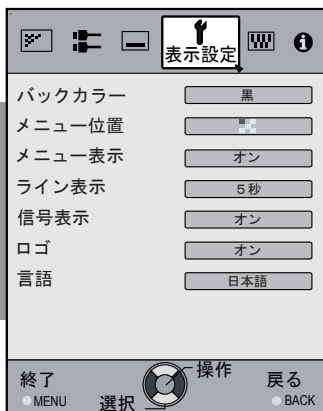
[3-2] 画素調整



操作

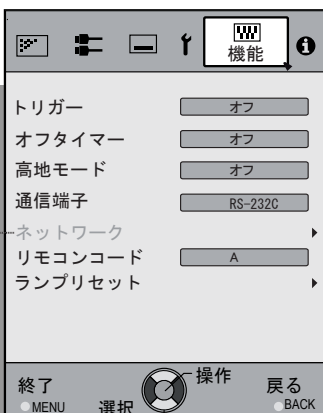
メニューで行う調整と設定(つづき)

[4] 表示設定



P. 67

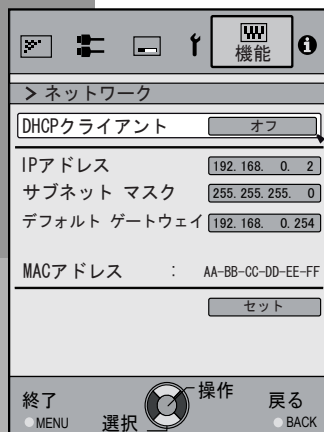
[5] 機能



[5-1]

P. 68

[5-1] ネットワーク



P. 69

メニューで行う調整と設定(つづき)

[6] 情報

HDMI入力の場合

入力	:	HDMI-2
ソース	:	1080p60
Deep Color	:	8bit
ランプ時間	:	160H
ソフトVer.	:	12.011

終了 MENU 選択 操作 戻る BACK

P. 69

PC入力の場合

90 70

入力	:	PC
解像度	:	1920X1080
水平周波数	:	67.50kHz
垂直周波数	:	60.0Hz
Deep Color	:	8bit
ランプ時間	:	160H
ソフトVer.	:	12.011

終了 MENU 選択 操作 戻る BACK

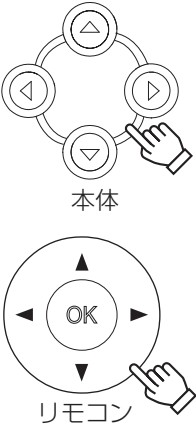
P. 69

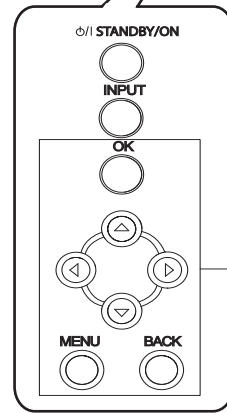
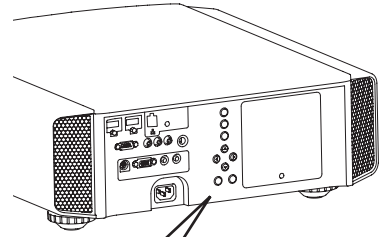
操作

メニューで行う調整と設定(つづき)

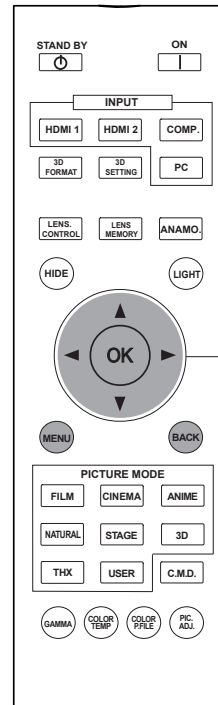
メニュー操作のボタン

メニューは本体またはリモコンの次のボタンを使って操作します。

ボタン		機能
本体	リモコン	
MENU	MENU	メニューを表示します。 ●メニュー表示中は、メニュー画面を消します。
OK	OK	「メインメニュー」(階層1)表示中は選択中の項目を確定し、「サブメニュー」(階層2)を表示します。サブメニュー表示では、OKキーを押して、表示されている選択中の項目を「設定画面」(階層3)に移行します。
BACK	BACK	ひとつ前のメニュー画面に戻る。メインメニュー画面表示中はメニュー画面を消します。
 <p>本体</p> <p>リモコン</p>		メインメニューとサブメニュー表示中は ◀▶: メニュー上の調整項目を選びます。 選んだ調整項目の設定値を設定します。調整した設定値は、すぐに映像に反映されます。 ▼▲: 表示されているサブメニューの項目を選びます。 メニュー上の項目を選びます。



メニュー操作ボタン

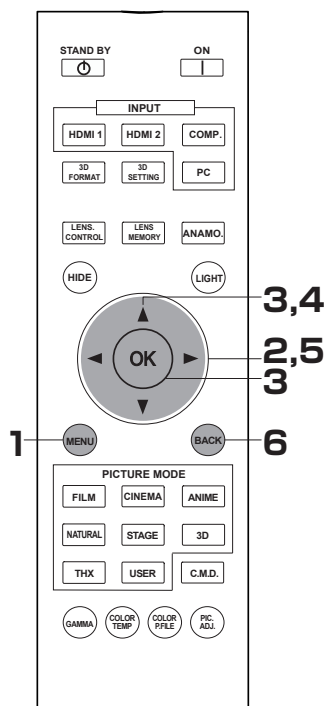
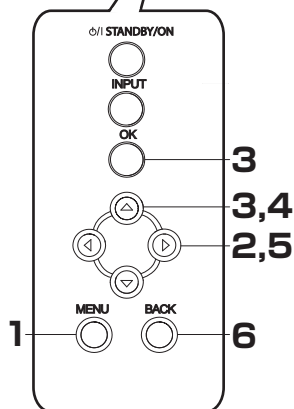
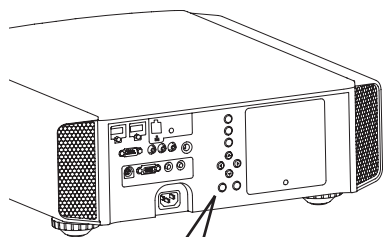


メニュー操作ボタン

90 70

30: この解説の操作で使用
するボタン配置は同じです。

メニューで行う調整と設定(つづき)



90 70

30: この解説の操作で使用するボタン配置は同じです。

メニュー操作の手順

1 MENUを押す

スクリーンにメインメニューが表示されます。

現在選択中のサブメニューの項目が表示されます。現在選択中のメニュー項目はハイライト表示されアイコンに橙色がつかます。

現在選択中のサブメニューの項目が表示されます。

リモコン操作ガイドが表示されます。

例:画質調整 **90 70**

2 カーソル(◀/▶)を押して、サブメニューを選ぶ

- サブメニュー(画質調整、入力信号、設置、表示設定、機能、情報)を選択します。
- 「情報」を選んだときは、メニュー下側に現在選択中の映像入力やパソコン入力の情報が表示されます。

3 OKまたはカーソル(▲/▼)を押す

- サブメニューの項目が表示されます。
- 入力信号と画質モードによってサブメニューの項目が異なります。詳しくは、次ページの「メニューの内容」をご覧ください。



例:PC信号以外入力する場合



例:PC信号入力する場合

4 カーソル(▲/▼)を押して、調整する項目を選ぶ

サブメニューの項目名が薄く表示されているものは選択できません。

5 カーソル(◀/▶)を押して、設定値を変更する

6 調整が終わったら、BACKを押す

押すたびに、ひとつ前のメニュー画面に戻ります。

7 手順2から6を繰り返して、他の項目も調整します

調整がすべて終わったら

MENUを押して、スクリーンからメニューが消えます。

メニューで行う調整と設定(つづき)

メニュー項目の解説

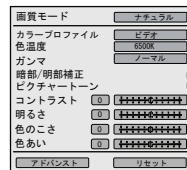
各項目の[]内の数値は、工場出荷時の設定(デフォルト値)です。

- メニュー表示中にOK・BACKまたはカーソル(上下左右矢印)を押してメニューを操作することができます。
- 入力信号の種類や無信号もしくはメニューで選択した項目によって表示項目が異なります。

[1] 画質調整

映像のコンテンツやプロジェクター投写環境に合わせた画質に、お好みに応じた色質やガンマ、明暗、などを調整します。

上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。



項目	解説・操作・注意点・設定値
画質モード	各モードの解説を参考にして、お好みのモードに合わせてお使いください。また、User 1~5でお好みの画質に調整する事もできます。 設定値:フィルム、シネマ、アニメーション、ナチュラル、ステージ、3D、THX、User 1~5 [ナチュラル]
フィルム シネマ	フィルムの質感に近い画質設定です。映画全般の鑑賞に適しています。 DCI規格を基に鮮やかな色彩を活かした画質設定です。アクション系や色彩の鮮やかな映画の鑑賞に適しています。 DCI:Digital Cinema Initiativesの略号です。
アニメーション ナチュラル ステージ 3D	アニメーション映画などの鑑賞に適した画質設定です。 自然な色彩・階調の画質設定です。ドラマなどビデオ素材の鑑賞に適しています。 ライブや舞台などの鑑賞に適した画質設定です。 3D映画の鑑賞に適した画質設定です。
THX 90 70	THX社が認定している画質設定です。
User 1 User 2 User 3 User 4 User 5	User 1~5は画質をお好みに応じて調整してください。調整最後の状態のデータが保存されます。ユーザー名は「[1-2]アドバンスト」の「ユーザー名編集」でお好みの名称に編集できます。
カラープロファイル 90 70	入力ソースに合わせてカラープロファイルを選択します。この設定値は「画質モード」によって設定できる項目が変わります。(表1参照) カラープロファイルは映像制作において選択されています。観賞映像のカラープロファイルに合わせることをおすすめします。 (*)[オフ]を選択するとアドバンストのレンズアパーチャーとランプパワー以外の色温度やガンマ・シャープネスなどの画質調整ができません。 設定値:フィルム1、フィルム2、シネマ1、シネマ2、スタンダード アニメ1、アニメ2、ビデオ、Vivid、Adobe、ステージ、3D、オフ、Custom 1~5 [画質モードによってデフォルト値が変わります。(表1参照)]
フィルム1	キセノン(Xenon)ランプをEastman Kodak Companyの映画用フィルムに透過させて出力される色空間に近似したプロファイルです。
フィルム2	キセノン(Xenon)ランプを富士フィルム株式会社の映画用フィルムに透過させて出力される色空間に近似したプロファイルです。
シネマ1 シネマ2 スタンダード	映画特有の色彩表現を更に豊かにしたプロファイルです。 DCI規格の色空間に近似したプロファイルです。 HDTVの色空間に近似したプロファイルです。 HDTV:High Definition Televisionの略号です。

メニューで行う調整と設定(つづき)

アニメ1	ハリウッド系アニメに多いCG系のアニメに適したプロファイルです。 明るい色彩の色を多用したアニメ向きです。
アニメ2	日本のアニメに多いセル画系のアニメに適したプロファイルです。 淡い色を多用したアニメ向きです。
ビデオ Vivid Adobe	TV/ドラマ/スポーツなどに適したプロファイルです。 色彩感豊かで、ゲームなどに適したプロファイルです。 Adobe RGBのカラープロファイルです。 (*)Adobeは、Adobe Systems Incorporatedの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
ステージ 3D オフ THX	音楽ライブ、オーケストラ、オペラ、舞台などに適したプロファイルです。 3Dメガネを使用した時に、最適となるプロファイルです。 カラーマネージメントを調整していないモードです。 90 THX社が認定しているプロファイルです。
Custom 1 Custom 2 Custom 3 Custom 4 Custom 5	当社から提供される、カラープロファイルをインストールすることができます。インストールすると、名称が変わります。 90

[表1] 画質モードにおけるカラープロファイル設定内容とデフォルト値

	画質モード							User 1,2,3,4,5
	フィルム	シネマ	アニメーション	ナチュラル	ステージ	3D	THX	
カラープロファイル	フィルム1	シネマ 1	アニメ1	ビデオ	ステージ	3D	THX	フィルム 1, 2, THX以外の全てを表示します。
	フィルム2	シネマ 2	アニメ2	Vivid	スタンダード	スタンダード		
		スタンダード	スタンダード	Adobe		Vivid		
				スタンダード				

画質モードによるデフォルト値です。

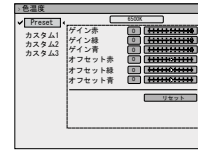
メニューで行う調整と設定(つづき)

色温度	色温度を設定できます。 サブメニューの「[1-1]色温度」へ	
ガンマ	ガンマ曲線を設定できます。お好みに合わせて設定してください。 設定値: ノーマル、A(3D)、B(3D)、フィルム1、フィルム2、フィルム3、 フィルム4、A、B、C、D、カスタム1、カスタム2、カスタム3	[ノーマル]
ノーマル	通常はこれに設定しておく事をお薦めします。 (*ノーマルは「画質モード」が「フィルム」・「3D」の時は設定できません。	
A(3D) B(3D)	A(3D)、B(3D)は「画質モード」が「3D」の時のみに設定できます。 3D用の標準ガンマ曲線です。 A(3D)より明るくなります。	
フィルム1	フィルム1、2、3、4は「画質モード」が「フィルム」の時のみに設定できます。 90 70 Eastman Kodak Companyの映画用フィルムの特性に近似した ガンマ曲線です。	
フィルム2 フィルム3 フィルム4	富士フィルム株式会社の映画用フィルムの特性に近似したガンマ曲線です。 フィルム1のガンマに対して、より階調を重視したガンマ曲線です。 フィルム2のガンマに対して、よりコントラストを強調したガンマ曲線です。	
A B C D	(*A、B、C、Dは「画質モード」が「フィルム」・「3D」の時は設定できません。 ノーマルのガンマに対して、階調を重視したガンマ曲線です。 フィルム特有のS字曲線のガンマ曲線です。 Bのガンマに対して、よりコントラスト感を強調したガンマ曲線です。 ノーマルに対して、中間階調が明るく見えるガンマ曲線です。	
カスタム1 カスタム2 カスタム3	カスタム1、2、3は3D信号入力時および「画質モード」が「3D」の時は設定でき ません。 サブメニュー「[1-2-2]カスタムガンマ」でお好みのガンマ曲線に変更し、 保存することができます。カスタム1、2、3の初期値は「ノーマル」と同じです。	
暗部/明部補正	暗部/明部の領域を補正します。 (*「画質モード」が「フィルム」以外のときに設定できます。	
暗部補正 明部補正	設定値:(暗部を暗くします) -7 ~ 7 (暗部を明るくします) 設定値:(明部を暗くします) -7 ~ 7 (明部を明るくします)	[0] [0]
ピクチャートーン	映像露光の強弱を再現することができます。 (*この機能は「画質モード」を「フィルム」で、「ガンマ」を「フィルム1~4」にしたと きに設定できます。 (*「画質モード」が「フィルム」以外の場合は「ビデオトーン」が表示されます。	
トーン白 トーン赤 トーン緑 トーン青	設定値:(露光アンダーで暗くします) -16 ~ 16 (露光オーバーで明るくします) [0] 設定値:(赤を露光アンダーにします) -16 ~ 16 (赤を露光オーバーにします) [0] 設定値:(緑を露光アンダーにします) -16 ~ 16 (緑を露光オーバーにします) [0] 設定値:(青を露光アンダーにします) -16 ~ 16 (青を露光オーバーにします) [0]	
コントラスト	映像のコントラストを調整します。 設定値:(黒っぽく) -50 ~ 50 (白っぽく)	
明るさ	映像の明るさを調整します。 設定値:(暗く) -50 ~ 50 (明るく)	
色のこさ	映像の色の濃さを調整します。 設定値:(薄く) -50 ~ 50 (濃く)	
色あい	映像の色合いを調整します。 設定値:(赤っぽく) -50 ~ 50 (緑っぽく)	
アドバンスト	輪郭の補正、カスタムガンマ、カラーマネジメントなどの機能が設定できます。 サブメニューの「[1-2]アドバンスト」へ	
リセット	設定値を工場出荷状態にします。	

メニューで行う調整と設定(つづき)

[1-1]色温度

映像の色温度を設定します。お好みに合わせて調整してください。
 (*)この設定値は「画質モード」によって設定できる項目が変わります。ただし、画質モードが「THX」のときは調整できません。
 上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。



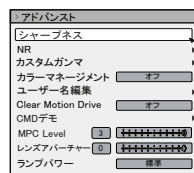
項目	解説・操作・注意点・設定値
Preset	映像の色温度を設定します。お好みに合わせて調整してください。 (*)この設定値は「画質モード」によって設定できる項目が変わります。「THX」のときは調整できません。 90 70 設定値:(プリセット値)、明るさ優先、Xenon1、Xenon2、Xenon3 [6500]
(プリセット値)	色温度を5500K (赤っぽい) から9500K (青っぽい) の間で、500Kごとに調整できます。 6500Kがバランスの良い映像と言われています。 (*)「画質モード」が「フィルム」の時は設定できません。
明るさ優先	明るさを優先した色温度にします。 (*)「画質モード」が「3D」時に選択できます。
Xenon1	映画館で使用されているキセノンランプの特性を再現する色温度にします。 90 70 (*)「画質モード」が「フィルム」・「シネマ」の時のみに設定できます。
Xenon2	フィルム映写機で出力される光源色
Xenon3	デジタルシネマ用プロジェクターで出力される光源色 Xenon2よりもクールに見える光源色
オフセット	映像の暗い部分を色ごとに調整ができます。
赤	設定値:(赤を弱く) -50 ~ 50 (赤を強く) [0]
緑	設定値:(緑を弱く) -50 ~ 50 (緑を強く) [0]
青	設定値:(青を弱く) -50 ~ 50 (青を強く) [0]
カスタム1	映像の色温度を調整してカスタム1, 2, 3のそれぞれに保存できます。お好みの調整値を保存してお楽しみください。
カスタム2	
カスタム3	
補正值	映像の色温度を設定します。 設定値:(プリセット値)、明るさ優先、Xenon1、Xenon2、Xenon3 90 70 設定値:(プリセット値) 30 [6500]
ゲイン	映像の明るい部分を色ごとに調整ができます。
赤	設定値:(赤を弱く) -255 ~ 0 (赤を強く) [0]
緑	設定値:(緑を弱く) -255 ~ 0 (緑を強く) [0]
青	設定値:(青を弱く) -255 ~ 0 (青を強く) [0]
オフセット	映像の暗い部分を色ごとに調整ができます。
赤	設定値:(赤を弱く) -50 ~ 50 (赤を強く) [0]
緑	設定値:(緑を弱く) -50 ~ 50 (緑を強く) [0]
青	設定値:(青を弱く) -50 ~ 50 (青を強く) [0]

操作

メニューで行う調整と設定(つづき)

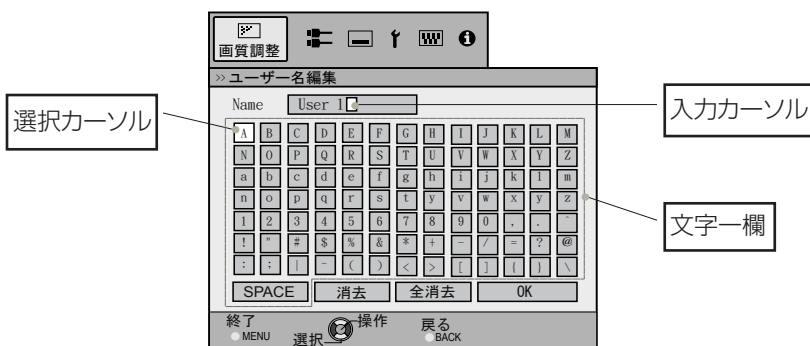
[1-2] アドバンス

映像の輪郭や全体の鮮明さ、ノイズ低減方式、動画の残像感を設定します。また、お好みに応じたガンマや色質を作ります。上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。



項目	解説・操作・注意点・設定値
シャープネス	シャープネスと高域強調の設定ができます。サブメニューの「[1-2-1]シャープネス」へ
NR	映像のノイズを低減します。お好みに合わせて調整してください。
RNR	映像のランダムノイズ除去の強さを調整します。 設定値:(弱い)0~16 (強い) [0]
MNR	映像のモスキートノイズ除去の強さを調整します。 (*)[画質モード]が「3D」の時は設定できません。また、HD信号入力時も設定できません。 設定値:(弱い)0~16 (強い) [0]
BNR	映像のブロックノイズを低減します。 (*)[画質モード]が「3D」の時は設定できません。また、HD信号入力時も設定できません。 設定値:オン、オフ [オフ]
カラースペース 30	プロジェクター出力の色空間表示を切換え出来ます。 設定値:スタンダード、ワイド1、ワイド2 [スタンダード]
スタンダード	HDTVの色空間と近似
ワイド1	DCI規格の色空間と近似
ワイド2	ワイド1より、さらに広い色空間
カスタムガンマ	ガンマ曲線を設定し、保存できます。お好みに合わせて調整してください。サブメニューの「[1-2-2]カスタムガンマ」へ
カラーマネージメント	画面の色を好みの色に設定し、保存できます。 90 70 サブメニューの「[1-2-3]カラーマネージメント」へ
ユーザー名編集	「画質モード」のUser 名称を編集できます。 (*)文字数は10字までです。 (*)使用できる文字は大文字小文字のアルファベット・数字・記号です。
User 1	編集したいUser名を選択します。
User 2	本体もしくはリモコンの「OK」キーを押して決定すると、編集モードに入ります。
User 3	(*) 本体もしくはリモコンの「BACK」キーを押すと、編集モードから抜けられます。
User 4	この時、編集内容の内容は消去されます。
User 5	
入力カーソル	文字を入力する場所を表示します。このカーソルは自動で移動します。左右に動かす事は出来ません。
選択カーソル	本体もしくはリモコンの上下左右のキーで動かせます。 入力する文字にあわせて本体もしくはリモコンの「OK」キーを押すとName欄の入力カーソル位置にその文字が入力されます。
消去	一文字を削除します。選択カーソルで合わせて本体もしくはリモコンの「OK」キーを押すと、Name欄の入力カーソルの左の文字が削除されます。
全消去	Name欄の全文字を削除します。選択カーソルで合わせて本体もしくはリモコンの「OK」キーを押すと、削除の確認メッセージが表示されます。
OK	名前を決定します。選択カーソルで合わせて本体もしくはリモコンの「OK」キーを押すと、保存の確認メッセージが表示されます。

メニューで行う調整と設定(つづき)



Clear Motion Drive 動きの速い映像を、残像感の少ないクリアな映像に改善します。PC信号・3D信号および「[2-3]2D/3D」の設定が「オン」の時は設定できません。また、シーンによっては映像の乱れや本来の画質にならなかったり、明暗の点滅が起こる場合があります。その場合は「オフ」を選ぶなどして、お好みの設定にしてください。
設定値: オフ、Mode 1、Mode 2、Mode 3、Mode 4、Film Motion

オフ	オフ
Mode 1	黒挿入弱
Mode 2	黒挿入強
Mode 3	補間弱
Mode 4	補間強
Film Motion	TV放送やDVDなどの60i/60pの信号で、元の映像が24コマの映画ソースなどを、24コマ表示に変換して表示します。 (*)24pは機能しません。

CMDデモ Clear Motion DriveのMode3とMode4の設定の効果を確認することができます。「OK」ボタンを押すごとに、中央で2分割された画面の左・右・上・下に表示されていきます。最後にオフになります。PC信号・3D信号および「[2-3]2D/3D」の設定が「オン」の時は設定できません。
設定値: 左、右、上、下、オフ [オフ]

左	左の画面にClear Motion Driveのデモ表示をします。
右	右の画面にClear Motion Driveのデモ表示をします。
上	上の画面にClear Motion Driveのデモ表示をします。
下	下の画面にClear Motion Driveのデモ表示をします。
オフ	Clear Motion Driveのデモ表示をオフにします。

MPC Level **90 70** 画像の表示解像度をあげる事で生じる解像度感の効果を調整します。画像によってはノイズっぽくなりますので、お好みに応じて調整してください。
(*)「画質モード」が「フィルム」と「THX」ではデフォルト値は「1」になります。
(*)入力信号が3Dや「2D/3D」が「オン」の場合は調整できません。
(*)「Clear Motion Drive」の設定が「Mode1」、「Mode2」の時は調整できません。
設定値: (効果なし) 0 ~ 3 (効果大) [2]

レンズアパーチャー 光学アイリスの絞り量を調整します。設定値0は全開状態です。
設定値: (暗く)-15 ~ 0(明るく) [0]

ランプパワー ランプの明るさを変えることができます。
(*)「高」で使用し続けると、ランプの暗くなる度合いが早くなります。
(*)発熱により、機器の内部温度を上昇させ、温度に対する余裕度が小さくなります。
(*)ランプ点灯後の約60秒間はランプを消灯できません。
(*)「画質モード」が「3D」の時は「高」となります。**90 70**
(*)「画質モード」が「3D」「フィルム」「シネマ」の時は「高」となります。**30**
設定値: 標準、高

標準	通常はこの設定にします。(160W駆動)	[標準]
高	部屋が明るくて、映像が見にくいときに設定します。(220W駆動)	

メニューで行う調整と設定(つづき)

[1-2-1] シャープネス

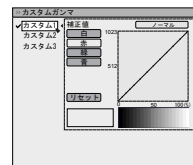
映像の輪郭や全体の鮮明さをお好みに応じて調整します。
上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。



項目	解説・操作・注意点・設定値
シャープネス	映像の輪郭を強調します。お好みに合わせて調整してください。 設定値:0~50(はっきり)
高域強調	映像の微細な部分をきわだたせます。お好みに合わせて調整してください。 設定値:0~50 (強い)

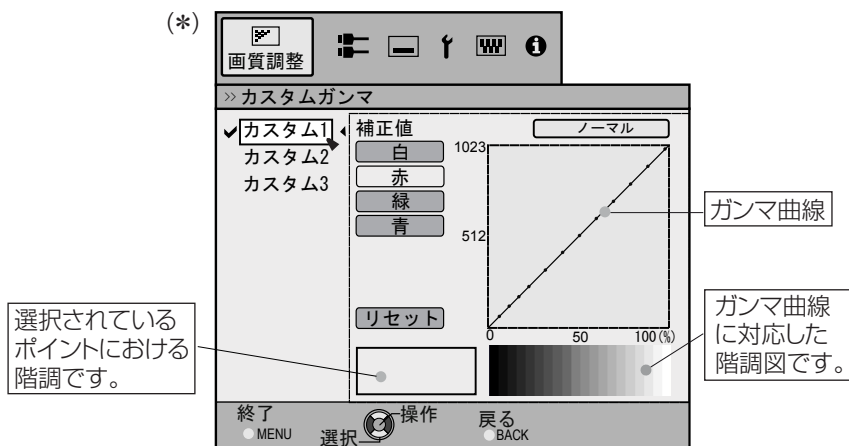
[1-2-2] カスタムガンマ

お好みのガンマ曲線を作ります。
上下キーでカスタム1,2,3を選択してOKキーを押して各項目を設定・調整をします。
BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。



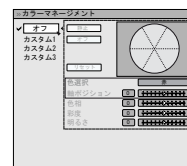
項目	解説・操作・注意点・設定値
カスタム1~3	[1]画質調整の「ガンマ」で選択できるカスタム1、2、3のガンマ曲線の調整をし、保存することができます。お好みに合わせて調整してください。 (*)カスタム1、2、3は3D信号入力時および「画質モード」が「3D」の時は設定できません。 (*)カスタム1、2、3の初期値は「ノーマル」と同じです。 (*)メニュー下部にある二つの枠内の図を参考に調整してください。 (*)調整のヒントとして「ガンマ曲線」(参考ページ:70)をお読みいただくことをお勧めします。
補正值	調整を加える基礎となるガンマ曲線が選択できます。 (*)どの設定値を選択しても、出荷状態では表示されるガンマ曲線は直線となります。 設定値:ノーマル、A、B、C、D (特に暗部~中間部を明るくします) 1.8~2.6 (特に暗部~中間部を暗くします) の範囲で0.1ごとの値 [ノーマル]
ガンマ調整	ガンマ曲線は「緑」を代表させて表示します。「白」「赤」「緑」「青」を選択すると、対応する色の曲線を表示します。 ガンマ曲線上の12個のポイントに左右ボタンでカーソルをあわせ、上下ボタンでポイントを上下に移動させます。
白	赤、緑、青を同時に調整できます。
赤	赤のガンマ曲線を調整できます。
緑	緑のガンマ曲線を調整できます。
青	青のガンマ曲線を調整できます。
リセット	「ノーマル」モードと同じデータにします。 (*)カスタムガンマ調整メニューから抜けるときに、調整値を保存してください。保存しなければ元のデータに戻す事ができます。

メニューで行う調整と設定(つづき)



[1-2-3]カラーマネージメント 90 70

お好みの色を作ります。
 上下キーでカスタム1,2,3を選択してOKキーを押して各項目を設定・調整をします。
 BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。

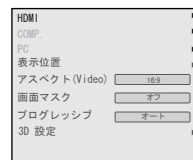


項目	解説・操作・注意点・設定値	
カスタム1~3	7軸(赤/オレンジ/黄/緑/シアン/青/マゼンタ)の色を好みの色に設定し、保存できます。例えばバラの花の赤い色のみを変えたいといったときなどです。お好みに合わせて調整してください。調整内容に従って、背景の入力映像も変化します。リモコンの「HIDE」ボタンを押すと調整前の画像が確認できます。	
静止	調整中の背景の入力映像を静止映像として表示させることができます。 設定値:オン、オフ	[オフ]
オン	入力映像を静止します。	
オフ	入力映像の静止をやめます。	
色選択	赤、オレンジ、黄、緑、シアン、青、マゼンタの7軸で、色の調整軸を微調整しての色相、彩度、明度を調整し、保存できます。お好みに合わせて調整してください。	
軸ポジション	選択した色の更に中心軸の位置を微調整します。 設定値: -30 ~ 30	[0]
色相	色相を調整します。 設定値: -30 ~ 30	[0]
彩度	彩度を調整します。 設定値:(くすんだ色) -30 ~ 30 (あざやかな色)	[0]
明るさ	明るさを調整します。 設定値:(暗い色) -30 ~ 30 (明るい色)	[0]

メニューで行う調整と設定(つづき)

[2] 入力信号

HDMI、COMP.、PCから入力される映像信号の仕様に適した設定をします。
アスペクト比や画面マスクの設定をします。
上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。
(*)3D信号入力時は「[2-3]3D 設定」となります。



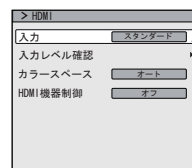
項目	解説・操作・注意点・設定値
HDMI	サブメニューの「[2-1]HDMI」へ HDMI端子を選択しているときに設定できます。
COMP.	(*)COMP.端子を選択しているときに設定できます。
PC 90 70	サブメニューの「[2-2]PC」へ PC端子を選択しているときに設定できます。
表示位置	水平・垂直の同期信号のタイミングにより画の端が少し欠けている現象が起きたときに調整してください。表示位置の値は、入力信号によって異なります。 (*)入力信号によっては映像がすべて表示されない場合があります。 (*)3D信号入力時には調整できません。
水平位置	水平方向の画の位置合わせをします。
垂直位置	垂直方向の画の位置合わせをします。
アスペクト (Video)	(*)Video信号入力時に表示されます。 (*)3D設定のときは16:9に固定されます。 設定値:4:3、16:9、ズーム [16:9]
4:3	映像の画面サイズを4:3にします。HD信号は左右が縮小されます。
16:9	映像の画面サイズを16:9にします。SD信号は左右が拡大されます。
ズーム	映像をズームします。(*)HD信号では選択できません。
アスペクト (PC)	PC信号入力時の映像の画面サイズを設定します。 (*)PC信号入力時に表示されます。 設定値:オート、1:1、フル [オート]
オート	映像画面を表示範囲の中央におき、画面いっぱいになるようにします。 映像の画面サイズによって、左右に黒帯が描画されます。
1:1	映像の画面サイズを、入力映像の大きさで表示します。入力映像によって画面が小さくなったり、画面外に入力映像の一部がはみ出すこととなります。
フル	映像の画面のアスペクト比を保持しないで画面いっぱいに表示します。

メニューで行う調整と設定(つづき)

画面マスク	画面の上下左右の端部を黒いマスクで覆い隠します。上下左右を個別に調整することもできます。お好みに合わせて調整してください。 (*)3D信号入力時には調整できません。 設定値: オフ、2.5%、5%、カスタム	[オフ]
オフ	マスクしません。	
2.5%	映像の周囲を元映像に対し約2.5%のマスクをします。	
5%	映像の周囲を元映像に対し約5%のマスクをします。	
カスタム		
左	映像の左部を元映像に対し約5%までマスクします。 設定値:0 ~ 5%	[0]
右	映像の右部を元映像に対し約5%までマスクします。 設定値:0 ~ 5%	[0]
上	映像の上部を元映像に対し約5%までマスクします。 設定値:0 ~ 5%	[0]
下	映像の下部を元映像に対し約5%までマスクします。 設定値:0 ~ 5%	[0]
プログレッシブ	インターレース信号(480i/576i/1080i)をプログレッシブ信号に変換します。インターレース信号の映像を周辺映像から補間します。お好みに合わせて設定してください。 設定値:オート、オフ	[オート]
オート	フィルム映画にみられる24p画像をインターレース変換した信号か、元からビデオ素材などのインターレース信号のものかを自動で判別して映像の補間をします。	
オフ	ビデオ素材などのインターレース信号として映像の補間をします。	
3D 設定	サブメニュー「[2-3]3D 設定」へ	

[2-1] HDMI

HDMI端子を使用するときに設定をします。
上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。
(*)HDMI端子を選択しているときに設定できます。



項目	解説・操作・注意点・設定値
入力	入力映像のダイナミックレンジ(階調)を設定します。レンジが合っていないと明るい部分や暗い部分が、明るくなったり暗くなったりします。入力信号のダイナミックレンジが不明の場合は「入力レベル確認」で確認してください。 設定値:スタンダード、エンハンス、Super White
スタンダード	入力映像の階調レベルのダイナミックレンジが16-235である場合に設定します。ビデオ信号の場合はこちらを設定してください。
エンハンス	入力映像の階調レベルのダイナミックレンジが0-255である場合に設定します。PC信号の場合はこちらを設定してください。
Super White	入力映像の階調レベルのダイナミックレンジが16-255である場合に設定します。Super Whiteに対応したDVD/BDなどを、Super White対応映像機器で出力される場合に設定してください。

メニューで行う調整と設定(つづき)

入力レベル確認

0	235
255	16

入力信号のダイナミックレンジの確認ができます。図のようなパターンが画面の4隅と中央に表示されます。入力信号のダイナミックレンジをこのパターン図と比較し、確認してください。

(*)図中内の数字は階調レベルです。図中の塗りつぶしによる階調表現は説明のために強調しています。実際の階調レベルと違います。

カラースペース

入力信号の色空間を設定します。

設定値:オート、YCbCr(4:4:4)、YCbCr(4:2:2)、RGB [オート]

オート	YCbCr(4:4:4)、YCbCr(4:2:2)、RGB信号を自動で判別し設定します。
YCbCr(4:4:4)	YCbCr(4:4:4)映像信号を入力するときに設定します。
YCbCr(4:2:2)	YCbCr(4:2:2)映像信号を入力するときに設定します。
RGB	RGB映像信号を入力するときに設定します。

HDMI機器制御

HDMI 機器制御の通信を設定します。

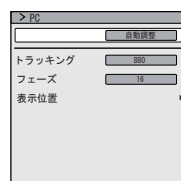
設定値:オン、オフ [オフ]

[2-2] PC 90 70

PC端子を使用するときに設定をします。

上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。

(*)PC端子を選択しているときに設定できます。



項目	解説・操作・注意点・設定値
----	---------------

自動調整	トラッキング、フェーズ、表示位置を自動調整します。
------	---------------------------

トラッキング	映像の横方向のサイズと表示領域を調整します。 (信号により異なりますが、通常は調整する必要はありません。)
--------	--

フェーズ	映像のちらつきやぼやけを調整します。 (信号により異なりますが、通常は調整する必要はありません。)
------	--

表示位置	映像の表示位置を調整します。
------	----------------

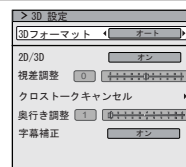
水平位置	映像の水平位置を調整します。
垂直位置	映像の垂直位置を調整します。

メニューで行う調整と設定(つづき)

[2-3] 3D 設定

3D信号の方式の選択、2D/3D変換のON/OFF及び3D画像の見え方の調整を行います。

上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。

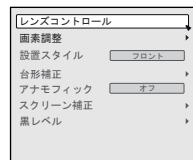


項目	解説・操作・注意点・設定値	
3Dフォーマット	3D入力信号のフォーマットを設定します。 左右キーで設定します。OKキーを押すと設定選択のリストが表示され、上下キーで選択できます。BACKキーで前の画面に戻ります。 (*)信号によっては、信号自体に3Dの情報が付いていないために、通常の2D信号として認識し、正常に投写されない場合があります。この場合は手動で設定してください。 (*)3D映像観賞前に「3Dについて」(参考ページ:71~73)を読むことをお勧めします。	
オート	自動で設定します。	[オート]
Side by Side	3Dの入力信号がサイドバイサイド方式の場合に選択します。	
Top and Bottom	3Dの入力信号がトップアンドボトム方式の場合に選択します。	
2D	2D信号として投写します。	
2D/3D	2D映像を擬似的に3D映像にします。 (*)映像によっては効果が現れない場合もあります。 (*)奥行きの前後が反転するなど3D映像が破綻する場合は「オフ」にしてください。	
	設定値:オン、オフ	[オフ]
オン	2D映像を3D映像にします。	
オフ	3D映像に変換しません。	
視差調整	3D映像の左右の映像のずれ量を調整します。お好みに合わせて調整してください。 左右キーで調整します。OKキーを押すと調整ゲージ窓が表示されます。BACKキーで前の画面に戻ります。	
	設定値:-15 ~ 15	[0]
クロストーク キャンセル	3D映像のクロストークを低減します。お好みに合わせて調整してください。 左右キーで調整します。OKキーを押すと調整ゲージ窓が表示されます。BACKキーで前の画面に戻ります。 (*)3D信号入力時に調整できます。「2D/3D」がON時に調整できません。	
白	設定値:-8 ~ 8	[0]
赤	設定値:-8 ~ 8	[0]
緑	設定値:-8 ~ 8	[0]
青	設定値:-8 ~ 8	[0]
奥行き調整	奥行き感を調整します。お好みに合わせて調整してください。 左右キーで調整します。OKキーを押すと調整ゲージ窓が表示されます。BACKキーで前の画面に戻ります。 (*)「2D/3D」がON時に調整できます。	
	設定値:1 ~ 5	[1]
字幕補正	字幕を自動判別して3D変換効果をオン、オフをします。お好みに合わせて設定してください。 (*)「2D/3D」がON時に調整できます。 (*)自動判別できない場合や、映像を字幕と判別する場合があります。 左右キーで設定します。OKキーを押すと設定選択のリストが表示され、上下キーで選択できます。BACKキーで前の画面に戻ります。	
	設定値:オフ、オン	[オフ]
オフ	字幕を2D映像にします。	
オン	字幕補正をオフにします。	

メニューで行う調整と設定(つづき)

[3]設置

設置の方法や投写環境に合わせた設定・調整をします。
上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。



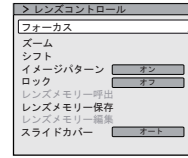
項目	解説・操作・注意点・設定値
レンズコントロール	サブメニューの「[3-1]レンズコントロール」へ
画素調整	サブメニューの「[3-2]画素調整」へ
設置スタイル	プロジェクターの投写状態に合わせて、上下左右の反転/正転を切り替えます。 設定値:フロント、天吊り(フ)、リア、天吊り(リ) [フロント]
フロント	正立・前面の投写モード
天吊り(フ)	天吊り・前面の投写モード
リア	正立・背面の投写モード
天吊り(リ)	天吊り・背面の投写モード
台形補正	投写面に対して、プロジェクターを斜めに設置した場合に発生する台形ひずみを補正します。 (*シフト調整が0%以外の位置では、台形補正したときに映像がスクリーンにきちんとおさまらない場合があります。 (*3D信号入力時には調整できません。
水平	水平台形ひずみを調整します。 設定値:-40 ~ 40 [0]
垂直	垂直台形ひずみを調整します。 設定値:-30 ~ 30 [0]
アナモフィック	映像をパネル解像度の高さ方向に引き伸ばして投写します。横方向に引き伸ばすアナモフィックレンズを使用する場合に設定します。 アナモフィックモードをA又はBに設定している時に3D信号が入ると、アナモフィックモードは自動的にOFFになります。 設定値:A、B、オフ [オフ]
A	2.35:1の映像をパネル解像度の高さ方向にのみ引き伸ばして投写します。
B	16:9の映像をパネル解像度の高さ方向を変えずに、横方向を圧縮して表示します。アナモフィックレンズを装着した状態で、2.35:1以外の映像を観賞する時に使用します。
オフ	2.35:1の映像のまま投写します。(上下左右に黒帯が表示されます)
スクリーン補正	投写するスクリーンの反射特性に合わせてホワイトバランスのズレを補正します。お好みに合わせて調整してください。
黒レベル	室内で使用する時の黒レベルを設定します。 設定値:0 ~ 10 [0]
	右図のように枠が中央に表示されます。(この図の諧調は強調して書いていますので実際とは違います。)本機の現状での黒が右枠に表示されます。左枠との境目が目立たなくなるように調整してください。 (*この調整では、黒側を落としますので、微妙に黒(暗い)側から白(明るい)側に影響を与えます。お好みに合わせて調整してください。



メニューで行う調整と設定(つづき)

[3-1] レンズコントロール

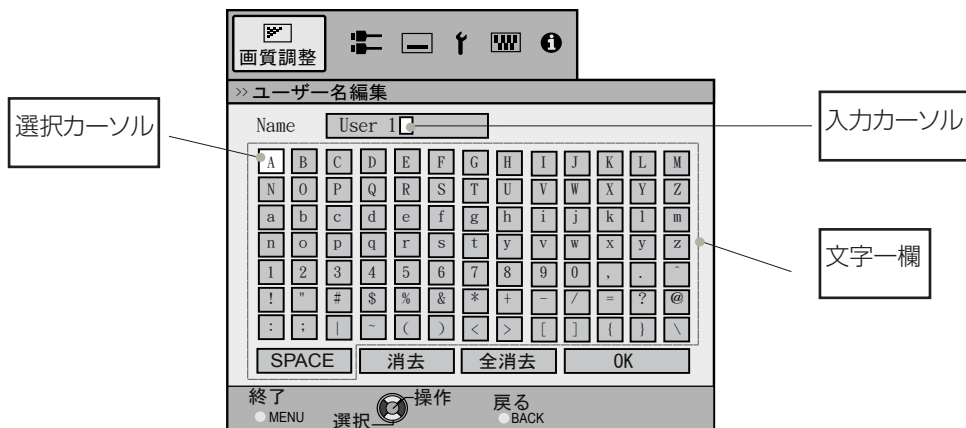
フォーカス・ズーム・シフトを調整します。調整時のイメージパターンの表示オン/オフ、レンズ位置の保存などでもできます。上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。



項目	解説・操作・注意点・設定値
	プロジェクターを設置するときにはレンズの各電動調整機能を制御します。
フォーカス	フォーカス調整用の機能です。
ズーム	ズーム調整用の機能です。
シフト	シフト調整用の機能です。
イメージパターン	フォーカス・ズーム・シフト調整中の投写画像を設定できます。 設定値: オン、オフ [オン]
オン	調整中はイメージパターンを表示します。上記設定項目に連動してイメージパターンを表示します。
オフ	イメージパターンを表示せず、外部入力信号を表示します。
ロック	レンズコントロールのオン、オフを設定します。 設定値: オン、オフ [オフ]
オン	上記設定項目は調整できません。リモコンの「LENS」ボタンが押された場合、警告メッセージが出ます。
オフ	レンズコントロールが機能します。
レンズメモリー呼出	保存したレンズの調整データを呼び出します。 設定するとレンズが自動的に保存された状態に合わされます。 (*)保存した状態に対して、若干のズレが生じる事があります。
レンズメモリー保存	レンズのフォーカス・ズーム・シフトを調整した後に選択すると、選択したときの調整データが保存できます。Memory 1、Memory 2、Memory 3をお好みに応じて選択してください。また、保存するときには名称を変更することも出来ます。
レンズメモリー編集	レンズメモリーの名称を編集できます。 (*)文字数は10字までです。 (*)使用できる文字は大文字小文字のアルファベット・数字・記号です。
Memory 1 Memory 2 Memory 3	編集したいレンズメモリー名を選択します。 本体もしくはリモコンの「OK」キーを押して決定すると、編集モードに入ります。 (*)保存されていない場合は、「-」が表示されます。 (*)本体もしくはリモコンの「BACK」キーを押すと、編集モードから抜けられます。この時、編集中の内容は消去されます。
入力カーソル	文字を入力する場所を表示します。このカーソルは自動で移動します。左右に動かす事は出来ません。
選択カーソル	本体もしくはリモコンの上下左右のキーで動かせます。 入力する文字にあわせて本体もしくはリモコンの「OK」キーを押すとName欄の入力カーソル位置にその文字が入力されます。

メニューで行う調整と設定(つづき)

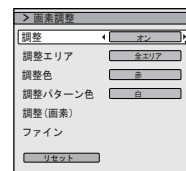
消去	一文字を削除します。選択カーソルで合わせて本体もしくはリモコンの「OK」キーを押すと、Name欄の入力カーソルの左の文字が削除されます。
全消去	Name欄の全文字を削除します。選択カーソルで合わせて本体もしくはリモコンの「OK」キーを押すと、削除の確認メッセージが表示されます。
OK	名前を決定します。選択カーソルで合わせて本体もしくはリモコンの「OK」キーを押すと、保存の確認メッセージが表示されます。



スライドカバー 90 70	レンズスライドカバーの機能を、電源に連動させて開閉するか、開けっ放しにするか設定する機能です。 設定値:オート、オープン	[オート]
オート オープン	電源のオン/オフに連動してレンズスライドカバーの開閉を行います。 電源のオン/オフに関係なく、レンズスライドカバーをオープンのままにします。	

[3-2]画素調整 90 70

映像の水平方向/垂直方向のわずかな色ずれを調整します。最初に[調整エリア]を[全エリア]にして[調整(画素)]で大枠をあわせ、[ファイン]でさらに調整します。その後[調整エリア]を[ゾーン]に設定して、部分的に調整することを推奨します。解説「画素調整の流れと操作」を参照ください。



上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。

(*)画面上の全ての画素を一致させる事はできません。機器によって多少のずれがあります。

画面上の位置によっても、色ずれに差があります。

(*)映像を左右反転、または上下反転したときは、水平方向、垂直方向が逆になります。

(*)調整するときは、輪郭のはっきりした静止映像で行なってください。

(*)ファインのため、映像によっては調整効果がわかりづらい場合があります。

項目	解説・操作・注意点・設定値	
調整	画素ずれの調整機能のオンおよびオフします。 設定値:オフ、オン	[オフ]
調整エリア	画素ずれの調整の範囲を設定します。 設定値:全エリア、ゾーン	[全エリア]
全エリア ゾーン	調整する範囲を画面全体として選択します。 画面の全エリアを縦11 X 横11分割にして調整できます。 (*)ゾーンの大きさは変えられません。	

メニューで行う調整と設定(つづき)

調整色	調整する画素色を設定します。 設定値:赤、青	[赤]
調整パターン色	調整目安の調整パターンの色を設定します。お好みに応じて設定してください。 設定値:白、緑+(調整色)	[白]
白 緑+(調整色)	調整パターンを白にします。 調整パターンを緑と[調整色]の項目で設定した色にします。	
調整(画素)	[調整色]の項目で選択した色の、画面全体の画素を垂直・水平方向に1ピクセルごとに動かします。 (*)[調整エリア]で[ゾーン]が設定されていると、使用できません。 H(水平) 設定値:-2~2 V(垂直) 設定値:-2~2	[0] [0]
ファイン	[調整色]の項目で選択した色の、画面全体の画素を垂直・水平方向に1/16ピクセルごとに動かします。 H(水平) 設定値:-31~31 V(垂直) 設定値:-31~31	[0] [0]
リセット	全ての画素調整データを工場出荷状態にします。	

[3-2]画素調整 30

- (映像の水平方向/垂直方向の色ずれを調整します。
上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。
(*)画面上の全ての画素を一致させる事はできません。機器によって多少のずれがあります。画面上の位置によっても、色ずれに差があります。
(*)映像を左右反転、または上下反転したときは、水平方向、垂直方向が逆になります。
(*)調整するときは、輪郭のはっきりした静止映像で行なってください。
(*)ファインのため、映像によっては調整効果がわかりづらい場合があります。



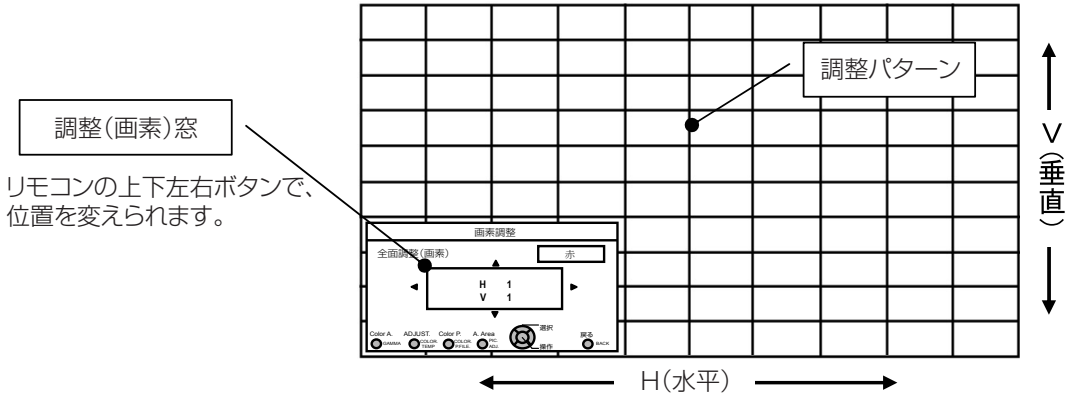
操作

項目	解説・操作・注意点・設定値	
水平 赤	(赤を左に移動) 1~5 (赤を右に移動)	[3]
水平 青	(青を左に移動) 1~5 (青を右に移動)	[3]
垂直 赤	(赤を下に移動) 1~5 (赤を上を移動)	[3]
垂直 青	(青を下に移動) 1~5 (青を上を移動)	[3]

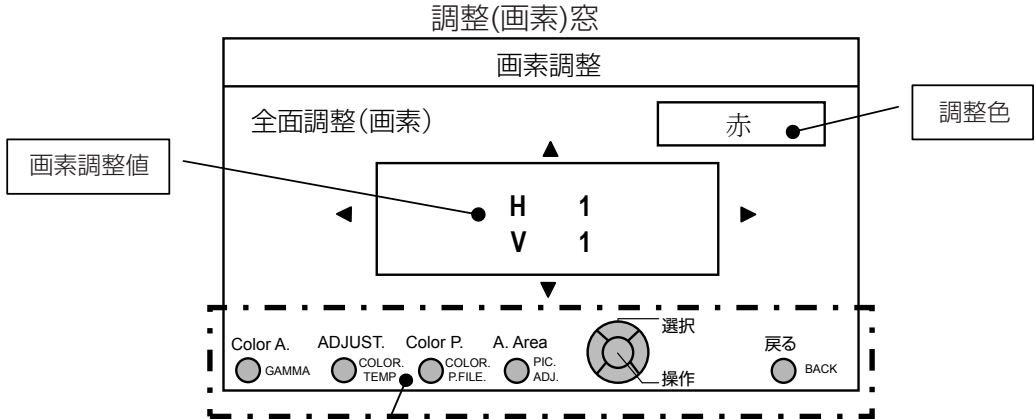
メニューで行う調整と設定(つづき)

解説 画素調整の流れと操作：調整(画素)

映像の水平方向/垂直方向のわずかな色ずれの大枠を調整します。
 [調整エリア]を[全エリア]にして[調整色]と[調整パターン]を選択します。
 [調整(画素)]にカーソルを合わせ、リモコンの[OK]ボタンを押します。
 画面上に選択された調整パターンと調整(画素)窓が表示されます。



[OK]ボタンを押して調整操作モードにします。上下左右ボタンで、画面全体の水平・垂直の画素を動かして調整します。その調整値が調整(画素)窓の中央に表示されます。[BACK]ボタンで調整操作モードは解除されます。



リモコン操作ガイド

リモコンの[GAMMA]ボタンで、[調整色]を変えます。
 リモコンの[PIC ADJ.]ボタンで、[調整エリア]を変え、ゾーン調整画面窓に変わります。あわせて、調整パターン上にゾーンカーソルが表示されます。
 リモコンの[COLOR P.FILE]ボタンで、[調整パターン]を変えます。
 リモコンの[COLOR TEMP]ボタンで、[調整(画素)]と[微調整]を変え、微調整窓に変わります。
 (*調整エリアが「ゾーン」の場合は[調整(画素)]となります。
 リモコンの[BACK]ボタンで、画素調整を止めることができます。調整操作モードであれば調整操作モードを解除されます。

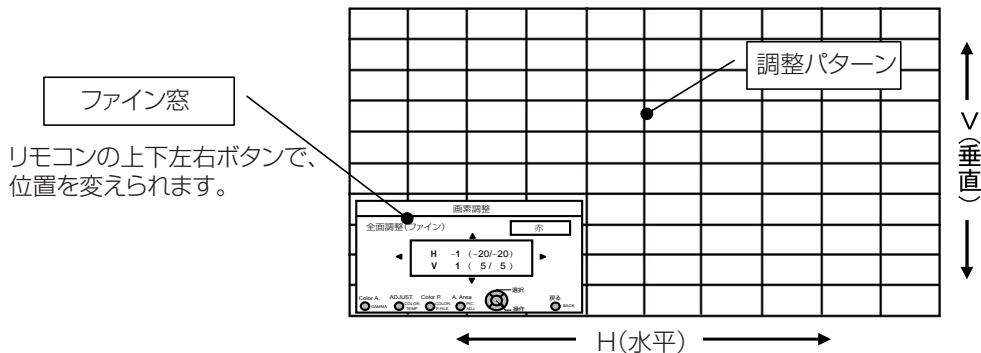
メニューで行う調整と設定(つづき)

解説 画素調整の流れと操作 : ファイン

画面全体のズレの大枠を調整した後、ファインをします。リモコンの[COLOR TEMP]ボタン
 おして[ファイン窓]を表示させます。

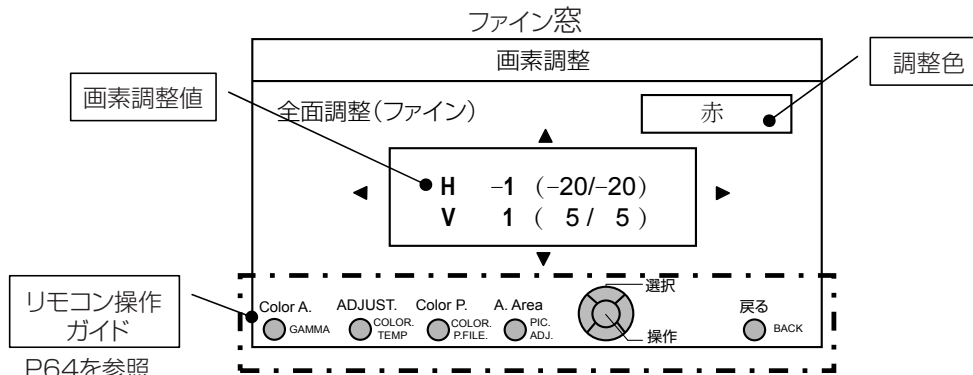
また、メインメニューで[調整エリア]を[全エリア]にして[調整色]と[調整パターン]を選択し、
 [ファイン]にカーソルを合わせて、リモコンの[OK]ボタンを押すと調整パターンとファインが
 表示されます。

(*)画面全体の調整量によっては調整の範囲が狭くなる場合があります。

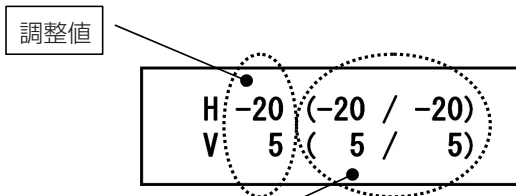


リモコンの上下左右ボタンで、
位置を変えられます。

[OK]ボタンを押して調整操作モードにします。上下左右ボタンで、画面全体の水平・垂直の画
 素を動かして調整します。その調整値がファイン窓の中央に表示されます。[BACK]ボタンで
 調整操作モードは解除されます。



P64を参照



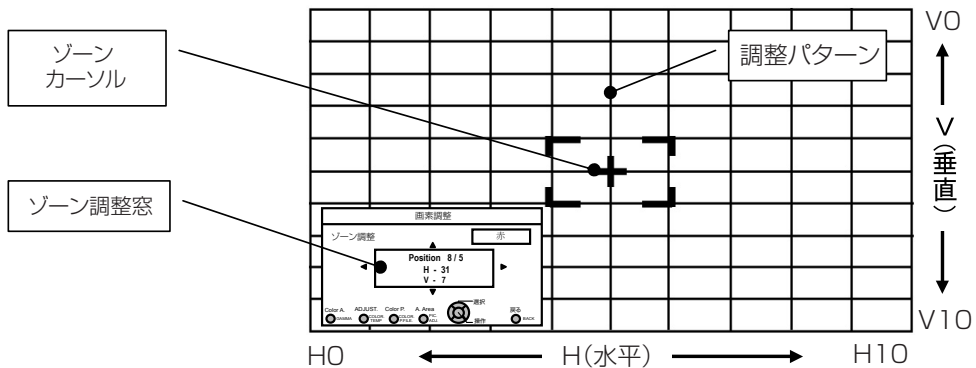
画面全体のずれの最大値と最小値です。
 (最大値)/(最小値)

H(水平方向)もV(垂直方向)も、それぞれの画面全体のずれの最大値が31の場合は、調整
 値がそれ以下であっても、表示されている調整値以上に調整できません。また、画面全体の
 ずれの最小値が-31の場合は、調整値がそれ以上であっても、表示されている調整値以下
 に調整できません。

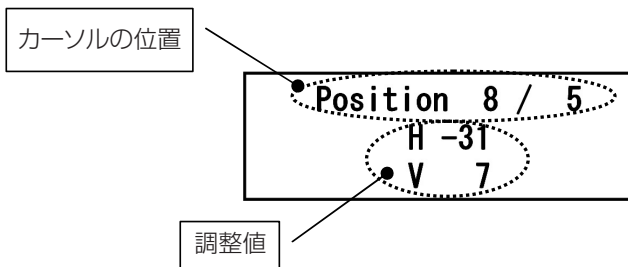
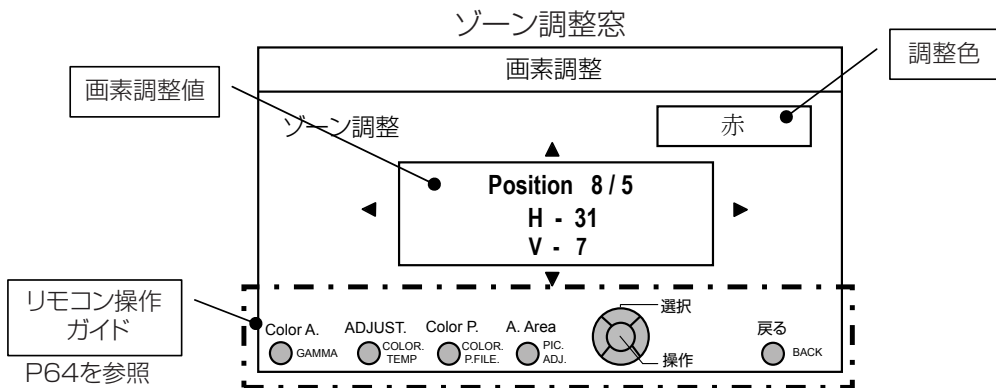
メニューで行う調整と設定(つづき)

解説 画素調整の流れと操作 : ゾーン調整(部分調整)

画面全体のずれを調整した後、画面のずれている部分のファインします。縦と横を10等分した位置で調整できます。リモコンの[PIC ADJ.]ボタンをおして[ゾーン調整窓]を表示させます。またはメインメニューで[調整エリア]を[ゾーン]にして[調整色]と[調整パターン]を選択します。[ファイン]にカーソルを合わせ、リモコンの[OK]ボタンを押すと調整パターンが表示されゾーン調整窓が表示されます。
 (*)画面全体の調整量によって、調整の範囲が狭くなる場合があります。



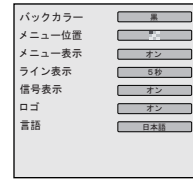
リモコンの上下左右ボタンで、カーソルを調整したい場所に移動させます。「OK」ボタンを押して調整操作モードにします。上下左右ボタンで、ゾーンカーソル内の水平・垂直の画素を動かして調整します。その調整値はゾーン調整窓の中央にカーソルの位置と共に表示されます。[BACK]ボタンで調整操作モードは解除されます。



メニューで行う調整と設定(つづき)

[4]表示設定

画面に表示される各種メッセージのオン/オフ設定や位置、無信号時のバックカラーの色などを設定します。
上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。

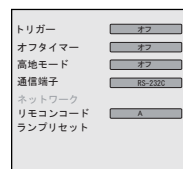


項目	解説・操作・注意点・設定値	
バックカラー	入力信号がないときに表示する背景の色を設定します。 設定値:青、黒	[青]
青	背景の色を青にします。	
黒	背景の色を黒にします。	
メニュー位置	メニューの表示位置を設定します。お好みの位置に設定してください。項目を選択した状態で左か右のキーを押すとメニューが移動します。また、[OK]を押すとメニューの位置のイメージ図が表示されます。左右キーで図中のハイライトされた位置が移動します。[OK]を押すとそのハイライトされた位置にメニューが移動します。メニューは右のキーを押すと左上->右上->中央->右下->左下の順で移動し、左上に戻ります。左のキーを押すと逆に移動します。	[左上]
メニュー表示	メニューを表示させたときの時間を設定します。 設定値:15秒、オン	[オン]
15秒	メニュー操作が15秒間ないと、メニュー表示を消します。	
オン	常に表示します。	
ライン表示	入力を切り換えたとき、入力表示をするかしないかを設定します。 設定値:5秒、オフ	[5秒]
5秒	5秒間、表示します。	
オフ	表示しません。	
信号表示	入力を切り換えたとき、信号を表示するかしないかを設定します。 設定値:オン、オフ	[オン]
オン	表示します。	
オフ	表示しません。	
ロゴ	起動するときに「D-ILA」ロゴを表示するかしないかを設定します。 設定値:オン、オフ	[オン]
オン	5 秒間表示します。	
オフ	表示しません。	

メニューで行う調整と設定(つづき)

[5] 機能

コマンド通信やリモコンコード、タイマーによるオフ機能などを設定します。
ランプ時間のリセットもできます。
上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。

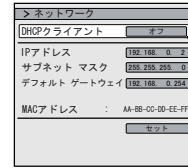


項目	解説・操作・注意点・設定値	
トリガー	トリガー機能のある外部スクリーンなどへ12V出力の設定をします。 設定値:オフ、オン(電源)、オン(アナモ)	[オフ]
オフ	出力しません。	
オン(電源)	オンした時に、トリガー端子からコントロール信号(12V)を出力します。 電源をオフにすると、コントロール信号の出力を止めます。 スタンバイ時に、「OK」ボタンを押したときに出力します。冷却後、スタンバイに戻るときに出力を止めます。	
オン(アナモ)	アナモフィックを[オフ]から「A」もしくは「B」に設定したときにコントロール信号(12V)を出力します。アナモフィックを「A」もしくは「B」に設定した状態での動作は「オン(電源)」と同じになります。	
オフタイマー	オフタイマー機能の設定とその時間を設定します。 (*)無操作の状態が続いた場合に、自動的パワーオフします。 (*)映像の投写中でも自動的にパワーオフします。 (*)パワーオフする60秒前に警告表示します。 この表示中に「OK」ボタンを押すと表示が消えます。 警告表示を出さない設定はできません。 設定値:オフ、1時間、2時間、3時間、4時間	[オフ]
オフ	電源を切りません。	
1時間	1時間後に自動パワーオフします。	
2時間	2時間後に自動パワーオフします。	
3時間	3時間後に自動パワーオフします。	
4時間	4時間後に自動パワーオフします。	
高地モード	気圧の低い場所(海拔900m以上)で使用するときを設定します。 設定値:オン、オフ	[オフ]
オン	設定します。	
オフ	設定しません。	
通信端子	使用する制御端子を設定します。同時には使用できません。 設定値:RS-232C、LAN	[RS-232C]
RS-232C	RS-232C端子に設定します。	
LAN	LAN端子に設定します。	
ネットワーク	サブメニューの「[5-1]ネットワーク」へ「通信端子」の設定が「LAN」の時に表示されます。	
リモコンコード	プロジェクターのリモコンコードを変更します。同じコードに設定したリモコンでのみ操作できます。 リモコン自体のコード変更は、「MENU」と「BACK」キーを同時に3秒以上押しします。リモコンの全ボタンが点滅します。2回点滅は「AからBへ変更」で、3回点滅は「BからAへ変更」の合図です。 設定値:A、B	[A]
A	プロジェクターのリモコンコードを「A」にします。	
B	プロジェクターのリモコンコードを「B」にします。	
ランプリセット	ランプ使用時間を「0」にリセットします。	

メニューで行う調整と設定(つづき)

[5-1] ネットワーク

コマンド通信に使用するネットワークの設定を設定します。上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。



項目	解説・操作・注意点・設定値
DHCPクライアント	DHCPクライアントの設定をします。 設定値:オン、オフ [オフ]
オン	接続するネットワーク内のDHCPサーバーよりIPアドレスなどを自動で取得します。(*)メニュー内の「セット」で自動取得が開始されます。
オフ	ネットワーク設定を手動で行います。
IPアドレス	IPアドレスを設定します。 [192.168.0.2]
サブネット マスク	サブネット マスクを設定します。 [255.255.255.0]
デフォルト ゲートウェイ	デフォルト ゲートウェイを設定します。 [192.168.0.254]
MACアドレス	本機のMACアドレスを表示します。
セット	[5-1]ネットワークの設定を反映します。

[6] 情報

入力信号の仕様の情報やランプ時間・ソフトのバージョンを表示します。
上下キーで項目を選びます。BACKキーを押すと、前の画面に戻ります。

入力	: HDMI-2	入力	: PC
ソース	: 1080p60	解像度	: 1920x1080
Deep Color	: 8bit	水平周波数	: 67.50kHz
ランプ時間	: 160h	垂直周波数	: 60.00Hz
ソフトVer.	: 12.011	Deep Color	: 8bit
		ランプ時間	: 160h
		ソフトVer.	: 12.011

HDMI/COMP.入力時に表示します

項目	解説・操作・注意点・設定値
入力	映像入力端子を表示します。
ソース	入力ソース名を表示します。
Deep Color	入力された映像信号について、色のビット深度を表示します。 (*)YCbCr (4:2:2)を入力したときは、表示しません。 (*)ソース機器からDeepColorの情報があったときに表示します。
ランプ時間	ランプ使用時間を表示します。
ソフトVer.	ファームウェアのバージョンを表示します。

PC入力時に表示します

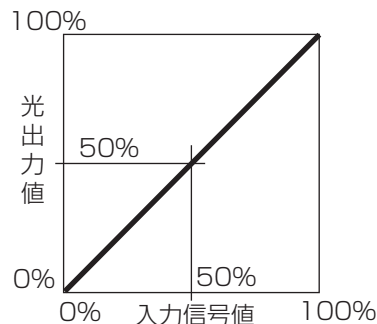
項目	解説・操作・注意点・設定値
入力	映像入力端子を表示します。
解像度	解像度を表示します。
水平周波数	水平周波数を表示します。
垂直周波数	垂直周波数を表示します。
Deep Color	入力された映像信号について、色のビット深度を表示します。 (*)YCbCr (4:2:2)を入力したときは、表示しません。 (*)ソース機器からDeepColorの情報があったときに表示します。
ランプ時間	ランプ使用時間を表示します。
ソフトVer.	ファームウェアのバージョンを表示します。

操作手引き(用語解説)

ガンマ曲線

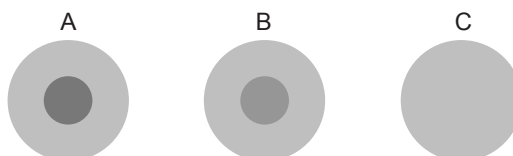
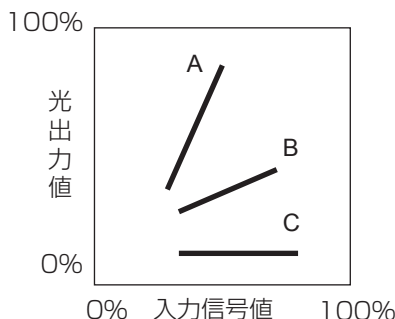
本機を前提にしたガンマ曲線の解説です。詳細な解説は専門書などをお読みください。

ガンマ曲線とはプロジェクターの入力映像信号値に対して、各色毎の光出力値を決める相対曲線です。入力映像信号値は明るさの最大入力信号値に、また、光出力値はプロジェクターの各色の最大光出力値に対する比率で、ともに単位を%で表現します。入力が50%の信号値に対し50%の光出力値で投写します。ただし、光出力値が0%は完全な黒もしくは無投写ではありません。プロジェクターが再現できる可能な限りの黒で、実際はほんの僅かに明るくなります。



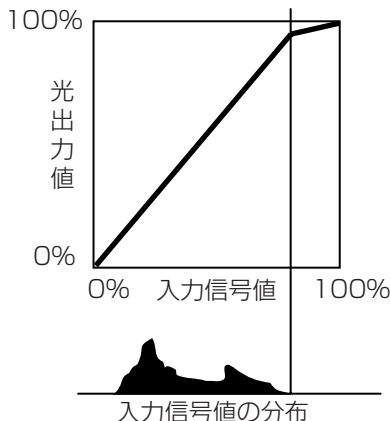
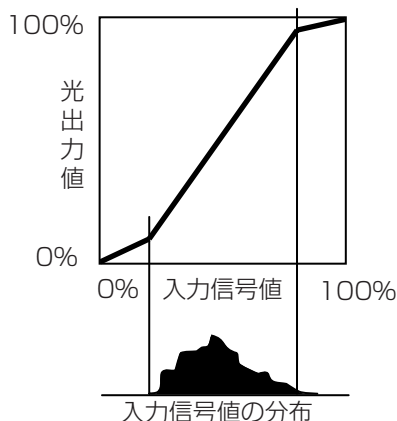
プロジェクターで設定できるガンマ曲線は入力映像信号値が0%から100%までの連続した1本の曲線になります。また、入力映像信号値に対し一つの光出力値しかとることは出来ません。ガンマ曲線は赤・緑・青の各色ごとに設定することができます。白を選択することで、3色を同時に調整することが出来ます。

ガンマ曲線の傾斜角を大きくすれば、その領域部分の光出力値の落差が大きくなって映像が判別しやすくなります。逆に傾斜角を小さくすれば、その領域部分の落差は少なくなり映像の判別が難しくなります。傾斜角をとらないで水平にするとその領域部分の落差がなくなり映像が判別できなくなります。



もし仮に、観賞する映像の入力映像信号値の傾向が分かっている場合、その領域部分の傾斜を大きくし、他の領域部分の傾斜を緩めるなどすると映像が判別しやすくなります。また、観賞する映像の入力映像信号値の傾向が分からない場合は調整する事は困難です。しかし、映像コンテンツの種類によってこの入力映像信号値の分布にはある程度の傾向があります。これら代表例を[ガンマ](参考ページ:50)にいくつか準備していますので、相当すると思われるものに設定して鑑賞する事をお勧めします。

いくつか、ガンマ曲線の調整方法について記載しておりますが、実際は赤・緑・青をそれぞれ調整するなど様々な調整方法が考えられます。お客様において、試行錯誤しながら独自の画作りをお楽しみください。

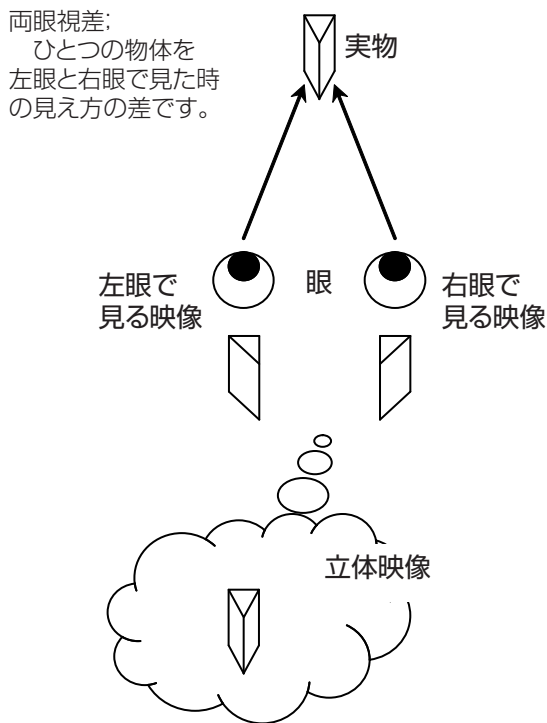


3D方式の解説

本機と、3Dメガネ(別売品:PK-AG1-B/PK-AG2-B)と3Dシンクロエミッター(別売品:PK-EM1)を使った3D方式の解説です。3D放送や3D対応ソフトの快適な視聴の目安にしてください。視聴にあたっては3D対応の再生機などが別途に必要です。

3Dの他の方式や詳細な解説は専門書などをお読みください。(解説の為に、誇張や簡略された絵を使用しています。)

本機の3D方式は両眼視差の原理を利用しており、別々に作られた右眼用と左眼用の映像を交互に投射するフレームシーケンシャル方式で投写しています。右眼、左眼に対応した映像のみがそれぞれの眼で見れるように、3Dメガネの左右の液晶シャッターの開閉をコントロールしています。その結果、立体映像として観賞できるようになっています。



両眼で見える映像の違いなどから脳が立体として総合判断しています。それぞれの眼で見える映像を人為的に制作し、その映像をそれぞれの眼で見せることで、脳で立体像として作り上げるように誘導しており、現実の物体でない、いわゆる虚像を利用しております。



注意

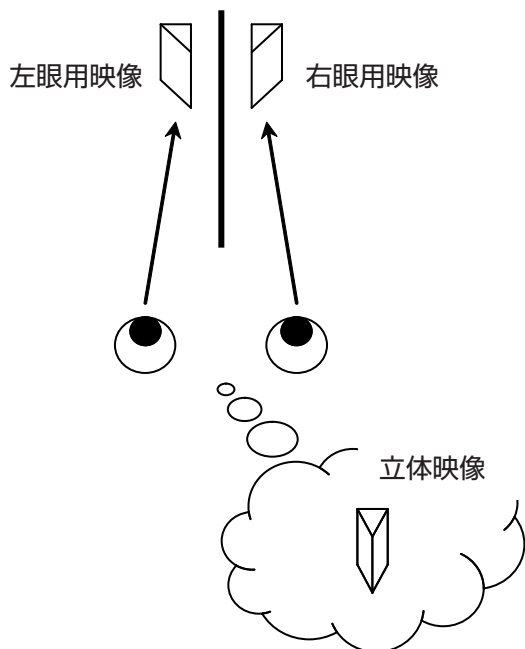
- ・体調不良を起こした場合はすぐに視聴を中止し、必要に応じて医師に相談ください。
- ・光過敏の既往症のある人や、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dメガネ方式である当機の3D映像を視聴しないでください。
- ・定期的に休憩をとることを推奨します。休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。




注意


- ・実物に手を伸ばして触ったり、見たりして実際の距離感も含めた総合的な立体感を判断する脳の働きは、人の成長と共に発達しますが、幼児期にはまだ未発達の状態です。個人差はありますが5歳未満のお子様はこの発達段階ですので、虚像である3D映像を頻繁に視聴させることは総合的な立体感の発達の障害になることもあります。
- ・低年齢のお子様の場合は3D酔いや体調不良などの症状を自覚しないまま見続け、急に体調が悪くなる場合があります。お子様が視聴中の場合は同伴し、お子様の体調や様子などに気を配ってください。

左眼と右眼で見える映像を別々に撮影、もしくは制作します。そして、左眼の映像は左眼に、右眼の映像は右眼にだけ見えるようにします。人の脳はその両方の映像情報を元に、立体映像として認識します。

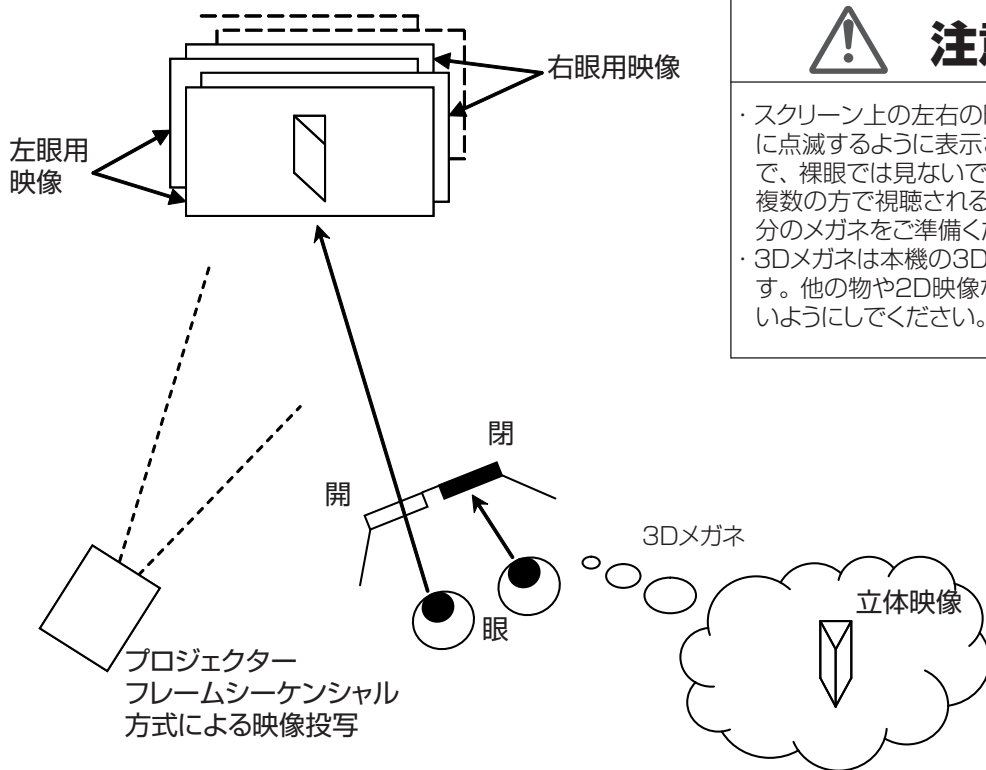


 注意
<p>ほとんどの場合、3D映像の撮影もしくは制作時にはそれぞれの映像が水平に配置されています。視聴時も左右の眼がこれら映像に対し水平でないと、脳は立体映像として認識できず、そのまま二重映像として認識してしまいます。この映像が3D酔いの発生する原因となりますので、3Dメガネを映像に対し傾けないでください。</p>

立体映像を近くで見ると、両眼視差が大きくなり映像の飛び出し量が大きくなります。一方、ピントはスクリーン面に合うため、飛び出した像とピントが大きく矛盾するために、視覚の疲労や不快感の原因となります。

 注意
<p>画面の高さ方向の3倍の距離を保って視聴してください。 例えば投写サイズ120型の場合は4.5m程度、80型で3m程度です。 ページ21に画面サイズと同時に画面の高さを記載した表がありますのでご参照ください。 推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因になることがあります。</p>

フレームシーケンシャル方式とは左右の映像を交互に表示する方法です。プロジェクターは左眼用と右眼用の映像をスクリーン上に交互に投写します。その左右の映像をそれぞれの眼でのみ見えるように、3Dメガネの左右の液晶シャッターを開閉します。その結果、左右の映像がそれぞれの眼に見え、3D映像となります。



注意

- ・スクリーン上の左右の映像が交互に点滅するように表示されますので、裸眼では見ないでください。複数の方で視聴される場合は人数分のメガネをご準備ください。
- ・3Dメガネは本機の3D映像専用です。他の物や2D映像などを見ないようにしてください。

両眼に左右それぞれの映像のみを見せる必要から、本体プロジェクターが映像を表示するタイミングと3Dメガネの液晶シャッターを開閉するタイミングを合わせるため、3Dシンクロエミッターから3Dメガネに赤外線を使ってこのタイミング情報を送信しています。



注意

- ・3Dエミッターは、赤外線が直接3Dメガネに届くように3Dメガネを使用する方向に向けてください。
- ・以下の場合、正しく動作しないことがあります。
 - ・赤外線通信機器や照明機器などが近くにある場合。
 - ・3Dメガネが、3Dシンクロエミッターの方向を向いていない場合。
- ・3Dエミッターを使用することにより、他の赤外線通信機器の動作に影響を与える場合があります。

ランプ交換のしかた

ランプは消耗品です。映像が暗くなったり、ランプが切れたときは、新しいランプユニットと交換してください。

- ランプ交換時間が近づくと画面上にメッセージが表示され、インジケーターでお知らせします。
(参考ページ:13~14, 82)



注意

- ランプ口に手を入れないでください。機器の著しい性能劣化、けがや感電の原因になります。
- 本機の使用直後には行わず、1時間以上の冷却時間をおいでください。ランプが高温になっているため、やけどの原因になります。
- ランプユニットに衝撃を与えないでください。ランプが破裂する原因になります。
- 可燃性のエアダスターなどで本機内部を清掃しないでください。火災の原因となります。



MEMO

ランプの使用可能時間について

- 「ランプパワー」を「標準」で使用した場合、本機に使用しているランプの使用可能時間は約3000時間です。これは平均的な使用可能時間であり、この時間を保証するものではありません。
- 使用条件によっては、3000時間に満たないで使用できなくなることがあります。
- ランプの使用可能時間が少なくなると、ランプは急激に劣化します。
- 映像が暗くなったり、色合いがおかしくなったり、映像が瞬くように明滅するようになった場合は、早めに新しいランプユニットと交換してください。

ランプユニットの購入は

お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

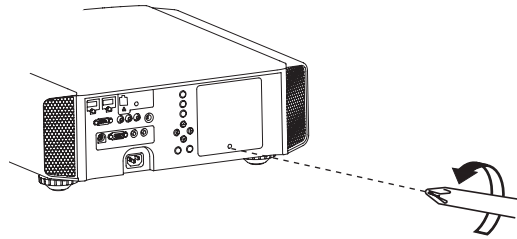
■ ランプユニット
品番:PK-L2210U

ランプ交換の手順

1 電源プラグをコンセントからはずします

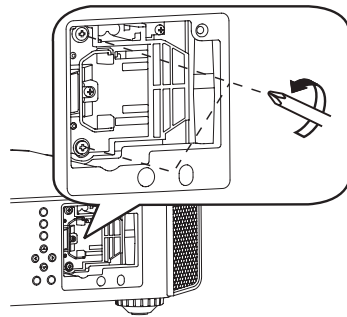
2 ランプカバーをはずします

- ネジを⊕ドライバーではずします。



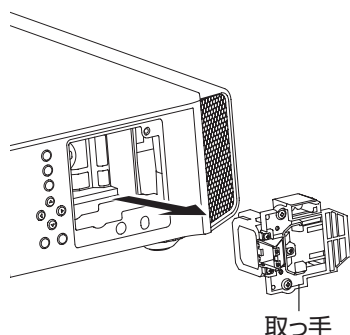
3 ランプユニットのネジをゆるめます

- ネジを⊕ドライバーでゆるめます。



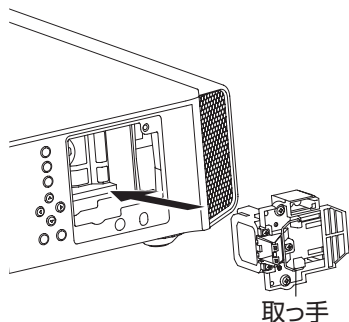
4 ランプユニットを取り出します

- 取っ手をつかんで取り出します。



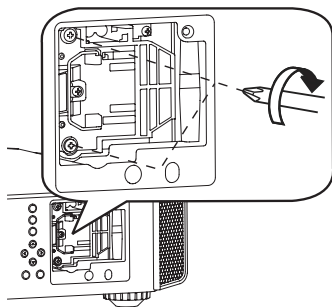
取っ手

5 新しいランプユニットを取り付けます



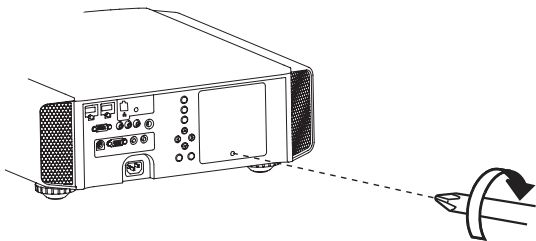
6 ランプユニットのネジを締めます

- ネジを⊕ドライバーで締めます。



7 ランプカバーを取り付けます

- ランプカバー上下2か所のツメを先に本体に差し込んでください。
- ネジを⊕ドライバーで締めます。



注意

- ランプユニットは純正品を使用してください。また、使用済みの古いランプユニットは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
- 新しいランプの表面に触らないでください。ランプの寿命が短くなったり、ランプが破裂する原因になります。

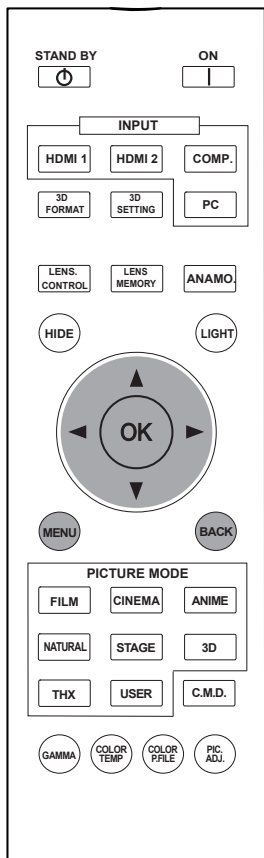


MEMO

ランプを交換したあとは

- 取りはずしたランプユニットを、お子様の手の届くところや燃えやすいものの近くに置かないでください。
- 使用済みのランプユニットは、蛍光灯と同じ扱いで廃棄してください。廃棄については、お住まいの自治体の指示に従ってください。

ランプ交換のしかた（つづき）



90 70

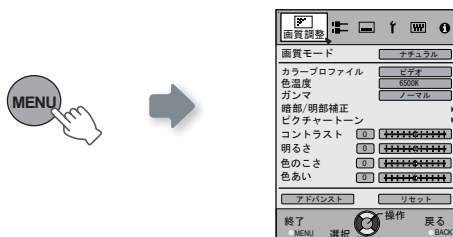
30: この解説の操作で使用するボタン配置は同じです。

ランプ時間のリセット

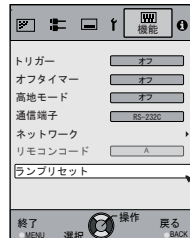
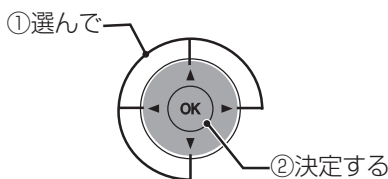
新しいランプユニットに交換したら、ランプ時間をリセットしてください。二つの方法を説明します。

メニュー画面からランプ時間をリセットします。

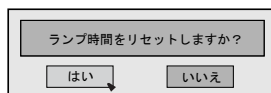
1 設定メニューを表示します



2 「機能」→「ランプリセット」を選びます



3 再確認します



- [[はい] を選択してから、ランプ時間がゼロになります。また、前のメニューに戻ります。

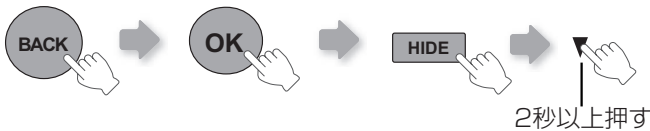
リモコンでランプ時間をリセットします。

1 電源プラグをコンセントに差し込みます

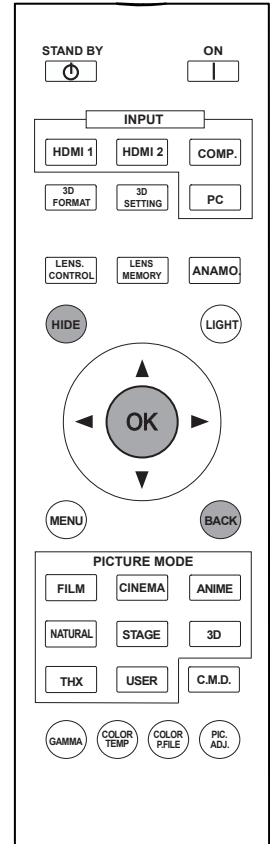
STANDBY/ON ●————赤に点灯

2 必ずスタンバイ状態で(電源プラグをコンセントに差し込んで、パワーオンしない状態で)リモコンを操作します

- 順番に押します。
- 各ボタンを押す間隔は2秒以内に押してください。最後のボタンは2秒以上押してください。

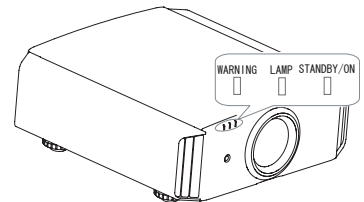


- [LAMP] インジケータと [STANDBY/ON] インジケータが交互に3秒間点滅します。その後、スタンバイ状態になります。



90 70

30: この解説の操作で使用するボタン配置は同じです。



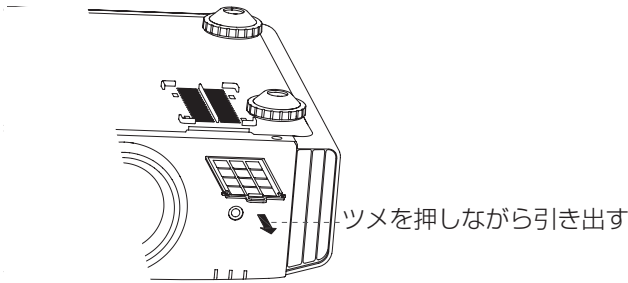
注意

- ランプ時間のリセットは、新しいランプに交換したときのみ行なってください。
- 途中でリセットは行わないでください。交換時間の目安が不明になり、ランプが破裂する原因になります。

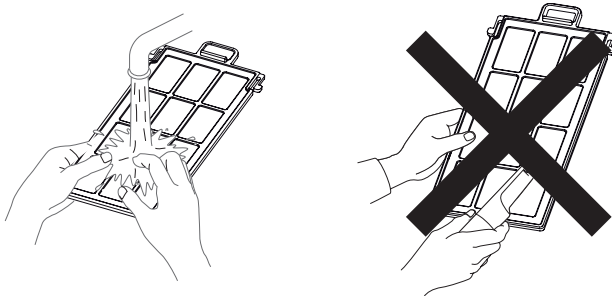
フィルターの掃除と交換方法

フィルターは定期的に掃除してください。汚れていると吸気効率が悪くなり、故障の原因になります。

① インナーフィルターをはずします

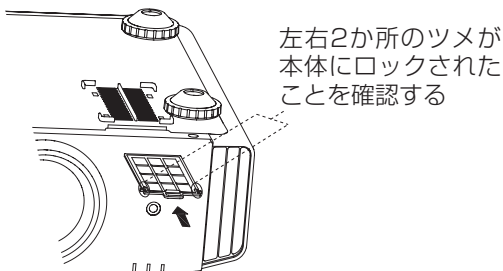


② フィルターを掃除します



- 水で洗い、日陰で乾かしてください。
- 汚れがひどいときは中性洗剤を使ってください。中性洗剤を使用するときは、ゴム手袋を着用してください。
- 水洗いしたときは、完全に乾かしてから取り付けてください。ぬれたまま取り付けると感電や故障の原因になります。
- フィルターを掃除機やエアダスターなどで掃除しないでください。フィルターは柔軟なため、損傷する原因になります。

③ インナーフィルターを取り付けます



注意

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を反対にして、床や机の上などに置く時は、柔らかい布などを敷いて、その上においてください。本体の傷などの原因になります。



MEMO

汚れがきれいにならないときや、損傷したときは

- 新しいフィルターと交換してください。そのまま使用すると本機内部にゴミが入り、映像に影が現れることがあります。
- フィルターの購入や内部にゴミが入った場合は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。
- インナーフィルター
- 交換フィルター：
品番：PC010661199

メモ

故障かな？と思ったら(トラブルシューティング)

修理を依頼される前に、次の点を確認してください。

こんなときは故障ではありません。

■ 下記のような場合でも、画面に異常がなければ心配ありません。

- 本体の上面や前面の一部が熱くなっている場合
- 本体から「ミシッ」という音がする場合
- 本体の内部から動作音が聞こえる場合
- 画面によっては色にじみが出る場合

■ 外部からの雑音やノイズにより正常に動作しなくなった場合、次の操作を行なってください。

- ① スタンバイ状態のときに電源プラグを1度抜いてから、再び差し込みます。
- ② 本体の電源ボタンを押して電源を入れ直します。

■ ランプが切れるときに音がすることがありますが、危険はありません。

■ D-ILA素子は高精度技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素があります。

電源が入らない		
電源コードがはずれていませんか？	電源コード(プラグ)をしっかり差し込んでください。	参考ページ:30
ランプカバーを正しく閉めましたか？	スタンバイ状態のときに電源プラグをはずし、ランプカバーを正しく閉めてください。その後、電源プラグを差し込んでください。	参考ページ:75
ランプが冷却中ではありませんか？	クールダウンモードが終了してから、もう1度電源を入れてください。	参考ページ:33

映像が出ない		
正しい外部入力を選んでいますか？	正しい外部入力を選んでください。	参考ページ:32
AV機器を正しく接続していますか？	AV機器を正しく接続してください。	参考ページ:24～29
AV機器の電源は入っていますか？	AV機器の電源を入れて、再生してください。	参考ページ:32
AV機器から正しい信号が出ていますか？	AV機器を正しく設定してください。	参考ページ:24～29
入力端子の設定は正しいですか？	設定メニューの「COMP.」や「HDMI」を入力信号に合わせて設定してください。	参考ページ:57～58
映像を一時的に消していませんか？	[HIDE] ボタンを押して、映像を出してください。	参考ページ:37

リモコンが働かない		
乾電池は正しく入っていますか？	乾電池の極性(⊕、⊖)を正しく入れてください。	参考ページ:17
乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池に交換してください。	参考ページ:17
リモコンとリモコン受光部との間に遮へい物はありませんか？	遮へい物を取り除いてください。	参考ページ:21
距離が離れすぎていませんか？	近づいて送信してください。	参考ページ:21

映像が投射されない		
HDMI入力映像がちらついたり、映らなくなっていないですか？	短いHDMIケーブルを使用してください。	参考ページ:25

HDMI 端子から映像が出ない		
HDMI機器制御はオフになっていますか？	「HDMI機器制御」を「オフ」にしてください。	参考ページ:58

●「HDMI機器制御」が「オン」のとき、一部の接続機器では映像が出なくなる場合があります。

色が出ない、おかしい		
映像調節は正しいですか？	設定メニューの「色のこさ」や「色あい」を調節してください。	参考ページ:50

映像がぼやける		
フォーカス(焦点)は合っていますか？	フォーカスを調整してください。	参考ページ:32
距離が近すぎたり、遠すぎたりしていませんか？	正しい距離に設置してください。	参考ページ:19,21


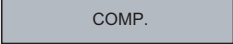
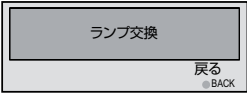
映像が欠ける		
画面マスクを設定をしていませんか？	設定メニューの「画面マスク」を「オフ」にしてください。	参考ページ:36,57
表示位置がずれていませんか？	設定メニューの「表示位置」の値を変えて、映像が欠けないようにしてください。	参考ページ:56

投写映像が暗い		
ランプの寿命が近づいていませんか？	情報メニューでランプ使用時間を確認してください。ランプの寿命が近いときは新しいランプユニットを準備するか、早めに交換してください。	参考ページ:74~77

電源を入れて投写するが、数分後に切れてしまう		
吸気口や排気口をふさいでいませんか？	スタンバイ状態のときに電源プラグをはずし、ふさいでいる物を取り除いてください。その後、電源プラグを差し込んでください。	参考ページ:4,11
フィルターが汚れていませんか？	フィルターを掃除してください。	参考ページ:78

突然電源が切れた		
オフタイマーを設定していませんか？	設定メニューの「オフタイマー」を「オフ」にしてください。	参考ページ:68

こんなメッセージが表示されたら

メッセージ	原因（内容）
	<p>入力端子に何も接続されていないとき 入力端子が接続されているが、信号がないとき</p> <p>➡ 映像信号を入力してください。</p>
	<p>本機で使用できない映像信号が入力されたとき</p> <p>➡ 使用できる映像信号を入力してください。</p> <p>(*)COMP. などの入力端子名は黄色で表示されます。</p>
	<p>ランプ使用時間が2900時間を過ぎると表示されます。 [BACK] ボタンを押すと、メッセージは消えます。</p> <p>➡ 新しいランプユニットを準備し、早めの交換をしたうえでランプ時間をリセットしてください。(参考ページ:74~77)</p>

保証とアフターサービス

保証書と補修用性能部品について

保証書(別添付)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

DLA-X90Rの保証期間はお買い上げの日から3年間です。

DLA-X70R、DLA-X30の保証期間はお買い上げの日から1年間です。

● 光源ランプの保証期間については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間は保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

80～82ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店及び、当社のサービス会社が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ


修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機械設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご連絡していただきたい内容

品名	D-ILA プロジェクター	お買い上げ日	年 月 日
型名	DLA-X90R、DLA-X70R、DLA-X30	故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所・お名前	付近の目印なども	電話番号	() -

愛情点検	● 長年ご使用の本機の点検をぜひ! 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。
------	---

	このような症状はありませんか？ <ul style="list-style-type: none">● 電源を入れても映像が出ない。● 上下、または左右の映像が欠けて映る。● 映像がときどき、消えることがある。● 変なおいがしたり、煙が出たりする。● 電源を切っても、映像が消えない。	ご使用を中止してください 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店に点検をご相談ください。
---	---	--

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、株式会社JVCケンウッドおよびJVCケンウッドグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

サービス窓口案内

製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

都府県名	窓口名	T E L	所在地	都府県名	窓口名	T E L	所在地	
北 海 道				近 畿				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29	愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋九之坪鶴田121-1	
	帯広S.T.				三河S.S.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23宝ビル101号室	
	旭川S.T.				豊橋S.T.		お問合せは名古屋S.C.にて承ります。	
	北見S.T.				三重	三重S.T.		お問合せは名古屋S.C.にて承ります。
	釧路S.T.				石川	金沢S.S.	(076)269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
	函館S.T.			富山	富山S.T.		お問合せは金沢S.S.にて承ります。	
東 北				中 国 ・ 四 国				
青森	青森S.S.	(017)723-2261	青森市緑一丁目5-1	岡山	岡山S.S.	(086)243-1566	岡山市北区野田五丁目17-19	
	八戸S.T.		お問合せは青森S.S.にて承ります。	広島	広島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17	
岩手	水沢S.T.		お問合せは仙台S.C.にて承ります。		福山S.T.		お問合せは広島S.C.にて承ります。	
秋田	秋田S.S.	(018)824-3189	秋田市八橋本町三丁目6-23 TMビル1F	山口	山口S.T.		お問合せは広島S.C.にて承ります。	
	大館S.T.			島根	松江S.T.		お問合せは広島S.C.にて承ります。	
	横手S.T.		お問合せは秋田S.S.にて承ります。	鳥取	鳥取S.T.		お問合せは高松S.S.にて承ります。	
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁目の西目町7-13	香川	高松S.S.	(087)866-1200	高松市田村町205-1	
山形	山形S.T.			愛媛	松山S.T.		お問合せは広島S.C.にて承ります。	
	酒田S.T.		お問合せは仙台S.C.にて承ります。		宇和島S.T.		お問合せは広島S.C.にて承ります。	
福島	郡山S.S.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3	徳島	徳島S.T.		お問合せは高松S.S.にて承ります。	
関 東 ・ 甲 信 越				九 州 ・ 沖 縄				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鏡一丁目5-23	福岡	福岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サイノスト福岡1F	
長野	長野S.S.	(026)221-6583	長野市大字川合新田962-1	北九州	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12	
	松本S.T.		お問合せは長野S.S.にて承ります。		久留米S.T.		お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
群馬	前橋S.S.	(027)255-5921	前橋市大渡町一丁目10-1 日本ビクター(株)前橋工場第2棟1F	長崎	長崎S.T.		お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
栃木	宇都宮S.S.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷三丁目5-22	熊本	熊本S.S.	(096)383-7750	熊本市水前寺六丁目46-21 星光交易ビル1F	
埼玉	大宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区宮原町一丁目202	宮崎	宮崎S.T.		お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
千葉	千葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16	鹿児島	鹿児島S.S.	(099)268-0030	鹿児島市小松原1-5-17	
			三井生命千葉中央ビル1F	沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目11-12 コモンズビル1F	
			柏市豊四季512-10-67					
	柏 S.C.	(047)175-4322	柏市豊四季512-10-67					
	木更津S.T.		お問合せは千葉S.C.にて承ります。					
茨城	水戸S.T.		お問合せは柏S.C.にて承ります。					
神奈川	横浜S.C.	(045)937-7185	横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル1F					
	平塚S.T.		お問合せは横浜S.C.にて承ります。					
【業務用機器専門】のご相談窓口：J&Kビジネスソリューション株式会社				【業務用機器専門】のご相談窓口：J&Kビジネスソリューション株式会社				
お客様サポートセンター (045)939-7320 横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル2F				お客様サポートセンター (045)939-7320 横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル2F				
山梨	甲府S.T.		お問合せは八王子S.C.にて承ります。	福岡	福岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サイノスト福岡1F	
東京	東京S.C.	(03)6381-8400	江東区平野3-2-6 木場パークビル1F	北九州	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12	
	大田S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F		久留米S.T.		お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
	八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2967-3 (株)ケンウッド八王子事業所A棟1階	長崎	長崎S.T.		お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
東 海 ・ 北 陸				九 州 ・ 沖 縄				
岐阜	岐阜S.T.		お問合せは名古屋S.C.および金沢S.S.にて承ります。	熊本	熊本S.S.	(096)383-7750	熊本市水前寺六丁目46-21 星光交易ビル1F	
静岡	静岡S.S.	(054)262-8941	静岡市葵区沓谷五丁目61-1	宮崎	宮崎S.T.		お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
	沼津S.T.			鹿児島	鹿児島S.S.	(099)268-0030	鹿児島市小松原1-5-17	
	浜松S.T.		お問合せは静岡S.S.にて承ります。	沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目11-12 コモンズビル1F	

(0411)

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※略号について S.C.はサービスセンター、S.S.はサービスステーション、S.T.はサテライト(出張修理拠点)の略称です。

●出張修理のご依頼およびビクター製品についてのご相談窓口

出張修理のご依頼、お買い物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター	(0120)2727-87 (フリーダイヤル)	携帯電話・PHS・一部のIP電話などからのご利用は下記の番号へおかけ願います。 (045)450-8950 〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3丁目12
---------------------------	-------------------------	--

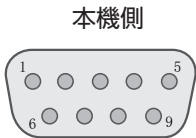
(注)発信者番号通知が非通知でフリーダイヤルへおかけの場合は、はじめに「186」を付けて、「186-0120-2727-87」とダイヤルしてください。

その他

RS-232C インターフェース

本機とパーソナルコンピュータをRS-232Cクロスケーブル(D-Sub9ピン)で接続すると、本機を制御できます。あるいはコンピュータネットワークを介して、LANケーブルで接続し、制御コマンドを送出することで本機を制御することもできます。システムの管理者に相談するか、専門書などを読んで、ご理解したうえでご利用ください。

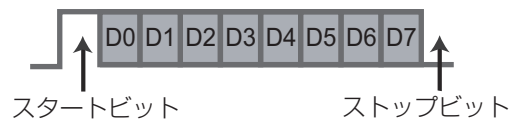
RS-232C 仕様



ピン No.	信号	動作	信号の方向
2	RxD	受信データ	PC → 本機
3	TxD	送信データ	本機 → PC
5	GND	シグナルグランド	-
1,4,6-9	N/C	-	-

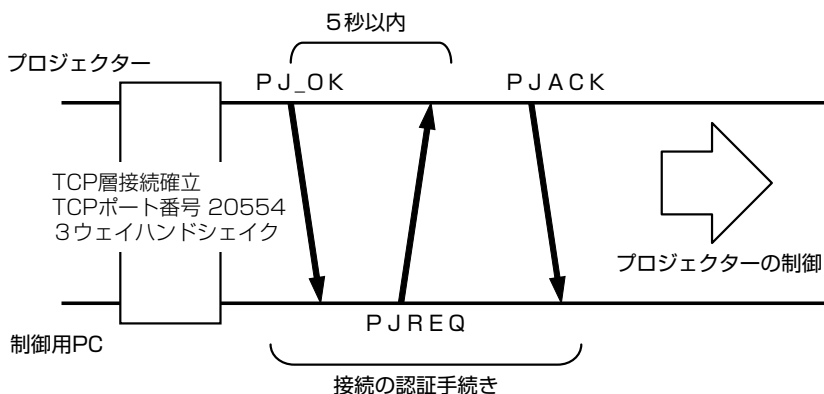
● PCは、パーソナルコンピュータなどのコントローラーの意味です。

モード	非同期
キャラクター長	8ビット
パリティ	なし
スタートビット	1
ストップビット	1
データ速度	19200 bps
データ形式	バイナリ



TCP/IP接続

LANで制御する前に、「3ウェイハンドシェイク(3way handshake)」でTCP層の接続を確立し、接続認証の為にプロジェクターからの「PJ_OK」の送信後5秒以内に「PJREQ」を送り「PJACK」を受信する必要があります。5秒以内に送信できなかったり「PJ_NG」「PJNAK」を受信した場合は、プロジェクターの動作状況などを確認したうえで再度、TCP層接続の確立から実施してください。



RS-232C インターフェース (つづき)

コマンドフォーマット

本機とパソコン間のコマンドは、「ヘッダー」「ユニット ID」「コマンド」「データ」「終了」の 5 種類で構成されています。

● ヘッダー (1 バイト)・ユニット ID (2 バイト)・コマンド (2 バイト)・データ (n バイト)・終了(1 バイト)

■ ヘッダー

通信の開始を示すバイナリコードです。

バイナリコード	種別	説明
21	操作コマンド	PC → 本機
3F	参照コマンド	PC → 本機
40	応答コマンド	本機 → PC
06	ACK	本機 → PC (コマンドを正常に受け付けたときに、PCへ返す)

■ ユニットID

本機を指定するコードです。バイナリコードは「8901」固定です。

■ コマンドとデータ

操作コマンドとデータ(バイナリコード)

コマンド	種類	データ説明
0000	接続確認	スタンバイ時に、本機とPC間で通信ができるかを確認します。
5057	電源	スタンバイ時 31：電源をオンにします。 電源オン時 30：電源をオフにします。(スタンバイ状態)
4950	入力	電源オン時 32：COMP. 33：PC 90 70 36：HDMI 1 37：HDMI 2
5243	リモコン	付属のリモコンと同じコードを送ります。 ● 「リモコンコード」(参考ページ；88)

参照コマンドとデータ(バイナリコード)

コマンド	種別	データの説明
5057	電源	スタンバイまたは電源オン時 30：スタンバイ状態 31：電源オン状態 32：クールダウンモード中 34：本機の異常時
4950	入力	電源オン時 32：COMP. 33：PC 90 70 36：HDMI 1 37：HDMI 2

■ 終了

通信の終了を示すコードです。バイナリコードは「0A」固定です。

■ リモコンコード

- 通信するときは、バイナリコードで送信します。
- リモコンコードが「A」の場合です。「B」の場合はコードの先頭を「36」にしてください。

リモコンボタン名称	バイナリコード	リモコンボタン名称	バイナリコード
▲	37 33 30 31	NATURAL	37 33 36 41
▼	37 33 30 32	THX 90 70	37 33 36 46
BACK	37 33 30 33	HDMI 1	37 33 37 30
ON	37 33 30 35	HDMI 2	37 33 37 31
STAND BY	37 33 30 36	PIC.ADJ.	37 33 37 32
HIDE	37 33 31 44	INFO 30	37 33 37 34
LENS.AP. 30	37 33 32 30	GAMMA	37 33 37 35
MENU	37 33 32 45	C.TEMP	37 33 37 36
OK	37 33 32 46	3D	37 33 38 37
LENS CONTROL	37 33 33 30	COLOR PROFILE	37 33 38 38
▶	37 33 33 34	C.M.D	37 33 38 41
◀	37 33 33 36	ANAMO	37 33 43 35
PC 90 70	37 33 34 36	COLOR SPACE 30	37 33 43 44
COMP.	37 33 34 44	LENS MEMORY	37 33 44 34
ANIME	37 33 36 36	3D SETTING	37 33 44 35
STAGE	37 33 36 37	3D FORMAT	37 33 44 36
CINEMA	37 33 36 38	USER	37 33 44 37
FILM	37 33 36 39		

RS-232C インターフェース (つづき)

RS-232C 通信例

RS-232C の通信例を示します。

■ 操作コマンド

種別	コマンド	説明
接続確認	PC→本機 : 21 89 01 00 00 0A 本機→PC : 06 89 01 00 00 0A	接続を確認
電源(オン)	PC→本機 : 21 89 01 50 57 31 0A 本機→PC : 06 89 01 50 57 0A	スタンバイ状態から電源をオンにしたとき
電源(オフ)	PC→本機 : 21 89 01 50 57 30 0A 本機→PC : 06 89 01 50 57 0A	電源オン状態から電源をオフ(スタンバイ状態)にしたとき
入力 (COMP.)	PC→本機 : 21 89 01 49 50 32 0A 本機→PC : 06 89 01 49 50 0A	映像入力をコンポーネントにしたとき
リモコン (MENU)	PC→本機 : 21 89 01 52 43 37 33 32 45 0A 本機→PC : 06 89 01 52 43 0A	リモコンの [MENU] ボタンを押したときと同じ動作をさせたとき

■ 参照コマンド

種別	コマンド	説明
電源(オン)	PC→本機 : 3F 89 01 50 57 0A 本機→PC : 06 89 01 50 57 0A 本機→PC : 40 89 01 50 57 31 0A	電源オン状態の情報を得たとき
入力 (HDMI 1)	PC→本機 : 3F 89 01 49 50 0A 本機→PC : 06 89 01 49 50 0A 本機→PC : 40 89 01 49 50 36 0A	HDMI 1入力の情報を得たとき

著作権とご注意



商標と著作権について

- HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LCC の商標また登録商標です。

使用上のご注意

素子の焼き付きについて

高輝度な画面や高コントラストな画面を持つ静止映像などを長い時間映さないでください。素子に画像が焼き付くことがあります。特にビデオゲームやコンピュータープログラム画面などの画像には注意してください。通常のビデオ再生映像などの動画では問題ありません。

長時間使わないときは

長時間使用しないと、機能に支障をきたすことがあります。ときどき電源を入れて動作させてください。

使用環境について

- スクリーンに直射日光や照明があたらないように、カーテンなどでさえぎってください。部屋を暗くすることにより、より良い映像でご覧いただけます。
- たばこを吸う部屋では、使用しないでください。故障の原因となります。

部品交換の目安について

本機には、機能を維持するために交換が必要となる部品(光学部品、冷却用ファンなど)が含まれています。部品交換の目安は、使用する頻度や環境によって大きく変わります。交換につきましては、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取扱をしてください。

お手入れのしかた

キャビネットの汚れは

- 柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でぬらした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。
 - ・シンナーやベンジンでふかない
 - ・殺虫剤など揮発性のものをかけない
 - ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

通気孔に付着した汚れは

- 掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときは、布でふき取ってください。ほこりが付着したまま放置すると、内部の温度調節ができなくなり、故障の原因となることがあります。

レンズの汚れは

- 市販のブローワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃用)でふき取ってください。液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因になります。(参考ページ:12)

主な仕様

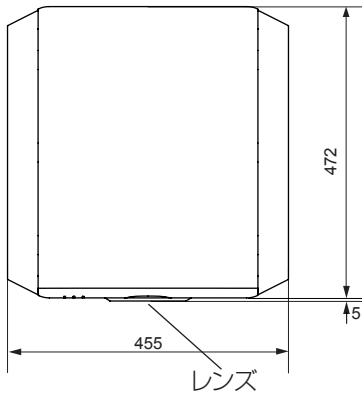
品名	D-ILAプロジェクター	
型名	DLA-X90R-B、DLA-X70R-B、DLA-X30-B、DLA-X30-W * 1	
表示パネル/サイズ	D-ILA 素子 *2*3 0.7型(1920画素 x 1080画素) x 3枚 (総画素: 約622万画素)	
投写レンズ	2.0 倍電動ズームレンズ (1.4:1 ~ 2.8:1) (ズーム・フォーカス: 電動)	
光源ランプ	220 W 超高压水銀ランプ [型番: PK-L2210U] 平均使用可能時間: 3000時間(標準モード)	
対応画面サイズ	約 60 型 ~ 約 200 型 (アスペクト比 16:9)	
投写距離	約1.8m~約12m	
入力対応信号	22、23ページをご覧ください。	
表示解像度	3840ドット×2160ドット 90 70 1920ドット×1080ドット 30	
入力端子	コンポーネント映像入力	1系統、RCAピンジャック×3 Y: 1.0Vp-p、75Ω Pb/Cb、Pr/Cr: 0.7Vp-p、75Ω (*R/G/B Sync on G)にも対応
	HDMI入力	2系統、HDMI 19ピン×2(HDCPIに対応) *4 HDMI 1.4a準拠 *5
	PC入力	1系統、D-sub15ピンVGA 90 70
出力端子	トリガー端子	1系統、Φ3.5mmDC Power Jack (⊖ ⊕) DC OUT 12V、0.1A
	3Dシンクロ	3Dシンクロエミッター専用端子(1系統、ミニDIN 3pin)
制御端子	RS-232C端子	1系統、D-sub 9ピン(オス)x1 (外部コントロール)
	リモート端子	1系統、ステレオミニジャックx1 (リモコン)
	LAN 端子	1系統、RJ-45プラグ x1
使用電源	AC 100V 50/60Hz	
消費電力	360W(最大3.5A)(待機時: 0.8W) 90 70 330W(最大3.2A)(待機時: 0.8W) 30	
使用環境	温度: 5℃ ~ 35℃ ; 湿度:20%~80%(非結露) ; (保存温度: -10℃~60℃)	
設置高度	5000ft(1524 m)以下	
外形寸法 (横幅x高さx奥行)	約 455mmx179mmx472mm (フット、レンズ、突起部除く)	
質量	15.4kg 90 70 / 14.9kg 30	
付属品	(3ページをご覧ください。)	

- *1 -Wは本体色が白色系です。 -Bは本体色が黒色系です。
- *2 D-ILAとは、 Direct drive Image Light Amplifier の略です。
- *3 D-ILA素子は非常に精度の高い技術で作られており、 99.99 % の有効画素がありますが、 0.01 % 以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、 あらかじめご了承ください。
- *4 HDCPとは、 High-bandwidth Digital Content Protection systemの略です。 HDCP規格変更などによりHDMI入力端子の映像が表示されないことがあります。
- *5 イーサネット(Ethernet)には対応していません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- このプロジェクターを使用できるのは日本国内のみで、 外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 写真や図は説明をわかりやすくするために、 誇張・省略・合成をしています。 実物とは多少異なりますのでご了承ください。
- 本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

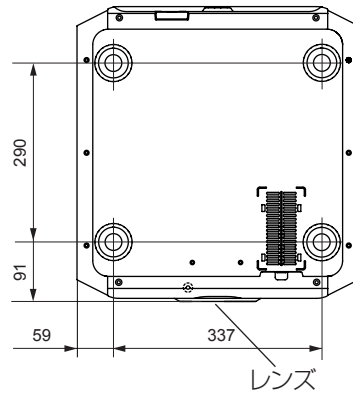
外形寸法

(単位：mm)

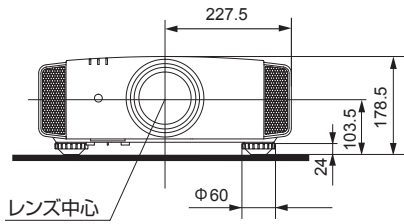
■ 上面



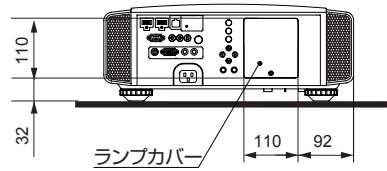
■ 底面



■ 前面



■ 後面



図の接続端子部は **90** **70** です。

索引

3D

- 「Three-dimensional」の略語
操作手引き(用語解説)..... Page 71
- 3D SYNCHRO端子でつなぐ..... Page 27
- [2-3]3D設定の3Dフォーマット Page 59
- [1]画質調整の画質モード..... Page 48
- [1]画質調整のカラープロファイル .. Page 48
- 注意事項 Page 8,68

HDMI

- 「High-Definition Multimedia Interface」
の略語
- 仕様..... Page 91
- 接続方法..... Page 25
- [2-1]HDMI Page 57
- (長さに関する注意) Page 25

THX

- THX認証..... Page 9
- [1]画質調整の画質モード..... Page 48

アナモフィックレンズ

- [3]設置のアナモフィック..... Page 60

色

- [1]画質調整のカラープロファイル ... Page 48
- [1]画質調整の色温度 Page 50
- [1]画質調整の色のこさ..... Page 50
- [1]画質調整の色あい Page 50
- [1-1]色温度 Page 51
- [1-2]アドバンストの
カラースペース..... Page 52
- [1-2-2]カスタムガンマ Page 54
- [1-2-3]カラーマネジメント Page 55

画面サイズ

- 距離表 Page 21
- [2]入力信号のアスペクト(Video)と
アスペクト(PC)..... Page 56
- [3-1]レンズコントロールのズーム .. Page 60

画面マスク

- [2]入力信号の画面マスク Page 57

画面メニュー

- メニュー構成表..... Page 38
- [1]画質調整 Page 38,39,40
- [2]入力信号..... Page 41,42
- [3]設置 Page 43
- [4]表示設定..... Page 44
- [5]機能 Page 44
- [6]情報 Page 45
- 操作手順..... Page 47

乾電池

- 種類 Page 3
- 電池の入れ方..... Page 17
- 注意 Page 8

ガンマ

- 用語解説..... Page 70
- [1]画質調整のガンマ Page 50
- [1-2-2]カスタムガンマ Page 54

交換部品

- 「フィルター」を参照
- 「ランプ」を参照

シフト

- シフト範囲..... Page 19
- 調整方法..... Page 33

ズーム

- 倍率 Page 91
- 調整方法..... Page 32

設置

- 角度 Page 19
- 設定方法..... Page 60
- 天吊り方法..... Page 7,20
- 注意 Page 18

設定メニュー

- 構成 Page 48
- メニュー操作方法 Page 47

投射距離

- 距離表 Page 21

索引(つづき)

入力信号

- アナログビデオ入力フォーマット Page 22
- 3D号対応表..... Page 22
- PC信号対応表.....Page 22,23
- [6]情報 Page 69

ノイズ

- [1-2]アドバンストのNR.....Page 52

フィルター

- 吸気口フィルターの場所..... Page 11
- 交換フィルター品番 Page 78
- 掃除と交換..... Page 78

メッセージ

- インジケーター (LED) 表示.....Page 13
- 意味 Page 82

ランプ

- 交換ランプ品番 Page 74
- 推奨使用時間..... Page 74
- [6]情報のランプ時間 Page 69
- 交換方法..... Page 74
- [1-2]アドバンストのランプパワー Page 53
- [5]機能のランプリセット..... Page 68
- ランプ時間のリセット方法..... Page 76,77
- 注意事項.....Page 6

リモコン

- ボタン配置..... Page 16
- 使用方法.....Page 21
- リモコンコード.....Page 68
- 「乾電池」を参照

レンズ

- [3-1]レンズコントロール..... Page 61
- [3-1]レンズコントロールの
フォーカス..... Page 61
- [3-1]レンズコントロールの
ズーム Page 61
- [3-1]レンズコントロールの
シフト Page 61
- (レンズ清掃)..... Page 90


製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては84ページをご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や一般的なご相談
<p>ビクターサービスエンジニアリング株式会社 85ページをご覧ください。</p>	<p><small>フリーダイヤル</small> JVCケンウッドカスタマーサポートセンター  0120 - 2727 - 87 携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなど からのご利用は 電話 (045) 450 - 8950 FAX (045) 450 - 2308</p>

ホームページ www3.jvckenwood.com

株式会社JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地

日本ビクター、ケンウッド、J&Kカーエレクトロニクス、
JVCケンウッドの4社は合併し、株式会社JVCケンウッド
になりました。